# 授業評価 2009

-平成21年度学生による授業評価報告書-【2009年度新規開設科目】

平成22年3月



# 授業評価 2009

# -平成21年度学生による授業評価報告書-【2009年度新規開設科目】

<u>I.「学生による授業評価 2009」の概要</u> 1	
I-1.目的 I-2.構成と内容 I-3.方法と期間 I-4.時系列分析 I-5.回答者の特性 I-6.評価結果の提供と公表 I-6-1.評価結果の提供	
I-6-2. 評価結果の公表	
Ⅱ. 評定尺度調査の分析結果1	9
<ul> <li>Ⅱ-1. 学部の分析結果</li> <li>Ⅱ-1-1. 項目平均から見た全体的傾向</li> <li>Ⅱ-1-2. 学習への取組姿勢</li> <li>Ⅱ-1-3. 学部の授業評価</li> <li>Ⅱ-1-4. 参考</li> <li>Ⅱ-2. 大学院の分析結果</li> <li>Ⅱ-1-1. 項目平均から見た全体的傾向</li> <li>Ⅱ-1-2. 学習への取組姿勢</li> <li>Ⅱ-1-3. 大学院の授業評価</li> <li>Ⅱ-1-4. 参考</li> </ul>	
Ⅲ. 自由記述のまとめ 1	17
Ⅲ-1. 総括 Ⅲ-2. 学部 Ⅲ-3. 大学院	
付録 1	61
平成 21 年度学生による授業評価集計結果の概要等について	

# Ⅰ.「学生による授業評価 2009」の概要

#### I-1.目的

本学では、学生の授業に関する理解の状況や満足感等を把握することによって、教育内容や教授方法及び学習支援システム等の改善に資することを目的とし、平成17年度より自己点検・評価の一環として学生による授業評価を導入している。第1回の平成17年度は試行的な意味を持たせた内容であったが、第2回の平成18年度からは本格的な授業評価調査として実施している。第5回目となる今年度は、調査内容を一部改善するとともに、評価の対象をこれまでと同じ開講2年目の科目(2008年度新規開設科目)に加え、開講1年目の科目(2009年度新規開設科目)も評価の対象とした。本報告書は、このうち開講1年目の科目(2009年度新規開設科目)の調査結果報告書である。

以下、その量的分析結果及び自由記述の内容を報告する。

学生による授業評価は、個々の科目に対する学習者の視点からの具体的で詳細なフィードバックを得ることを企図して実施される調査である。その主な目的は、次の通りである。

- (1) 個別授業科目の改善支援・・・・個々の科目を受講者がどのように学習し、どう評価 しているかを項目ごとに把握することにより、次の科目改訂等に際して改善すべ き点の発見を容易にするような資料を提供する。
- (2) カリキュラム全体の改善支援・・・・専攻または領域、プログラム(群)における、 より効果的なカリキュラム構成や水準のバランス等を検討する上での有効な資料を提供する。
- (3) 認証評価に関わる資料提供・・・・大学に対して社会的に強く求められている定期的な認証評価に際しての重要な資料を提供する。

しかし、一般の大学とは異なり、放送大学においては授業評価の結果をそうした目的にストレートに用いることが必ずしも容易ではない。そこには、次のようないくつかの放送大学に固有の条件と特殊事情があり、結果の利用には一定の留保が求められることになるからである。

第1に、放送大学では、収録された放送授業を4年間継続して放送する原則になっていることである。そのため、たとえ授業評価で改善点が明確に示唆されたとしても、即座にそれを改善する(つまり、評価の次年度に改訂版を収録する)ことが非常に難しいのである。

第2に、放送大学の主任講師は客員であることが多く、その場合、必ずしも科目の改訂を同一教員がするとは限らないことである。主任講師が交代すると、科目の内容や構成が変わってしまう場合があるため、前科目に対する評価は往々にして参考程度の意味しか持たないことになるのである。

第3に、放送大学は公開大学であり学部には入学試験がないこともあって、他の一般大学に比して学生集団は多様で流動的であり、そこに一定のまとまった特性を求めることは難しい。授業評価で得られた結果も他の大学よりはるかに分散が大きいことが容易に予想される。したがって、たとえ結果を得たとしても、どの層の学生をターゲットとして授業改善をしていったらよいのか、必ずしも明確ではないのである。事実、過去の数次にわたる授業調査で毎回見られることであるが、例えば、「放送授業と印刷教材はできるだけ同一の内容に」と「放送授業と印刷教材の内容が同じでは別の教材である意味がない」とは、常に同じくらい多く書かれる意見である。もちろん、そうした意見の平均や中間点を採用してもあまり意味がないことは言うまでもない。

そして、第4に、放送大学は教員の5年任期制を採っており、再任のためには5年ごとの内部審査の通過が必要とされることである。そのため、個々の教員の評価にストレートに結びつきがちな授業評価の実施に対しては、当初より慎重論も決して少なくなかった。したがって、上述した第3の特性を持つ授業評価に関しては、授業改善あるいはカリキュラム改善のためにのみ結果を用いる、という確たる合意が必要とされるのである。

#### Ⅰ-2. 構成と内容

今回の学生による授業評価調査は、大きく分けて3つの部分からなっている。

第1は、当該科目への取組姿勢、放送授業、印刷教材、単位認定試験等について4段階で評価する評定尺度質問である。その内容は、①当該科目にどれだけ熱心に取り組んだかを示す回答者自身の自己評価と、②授業の難易度・分量、放送授業、印刷教材、通信指導・単位認定試験および全体的に見た授業評価の2つに分かれる。

第2は、当該科目のよかった点、改善すべきだと感じた点、本学の教育システム全般 への意見に関する質問であり、自由に記述してもらう形態を採った。

そして、第3は回答者の属性に関する質問である。

実際に使用した調査票については 165、166 頁を参照されたい。

#### Ⅰ-3. 方法と期間

評価の対象としたのは、平成 21 年度第 1 学期に本学で開講していた放送授業のうち、新コース・新プログラムとして今年度に開設した科目 (開講 1 年目の科目)、学部 46 科目、大学院 19 科目、計 65 科目である (表 1 - 1 参照)。なお、前年度調査までは、開講

2年目の科目を対象としていたが、今年度より開講 1年目の科目を対象とすることとした(今年度のみ開講 2年目の科目も同時に実施)。またこのような選定システムにすることで、開設後 4年間継続して放送することとされている全科目が、開講期間中に必ず 1回授業評価の対象とされることになる。

表 1-1 新コース・新プログラム別の評価対象科目数および有効回答数

#### 【学部】

#### 科目数 有効回答 コース 平成21年度(2009) 平成21年度(2009) 全開設 評価対象 人数 構成比 基礎科目 4 383 10% 4 生活と福祉 4 338 9% 4 心理と教育 371 10% 5 5 社会と産業 11 11 782 20% 25% 人間と文化 9 9 974 自然と環境 9 613 16% 9 夏季集中 10% 4 4 375 全 体 46 3,836 100% 46

#### 【大学院】

F> ( )  >02				
	科目	目数	有効	回答
プログラム	平成21年	度(2009)	平成21年	度(2009)
	全開設	評価対象	人数	構成比
生活健康科学	5	5	335	28%
人間発達科学	3	3	188	16%
臨床心理学	1	1	41	3%
社会経営科学	4	4	251	21%
文化情報学	3	3	258	22%
自然環境科学	3	3	111	9%
全 体	19	19	1,184	100%

※構成比は、四捨五入しているため、各項目を合計しても100%にならない場合がある。

調査票の配布は、これら 65 科目の全受講登録者を母集団とし、学部科目では各 250 名(登録者がそれ未満の科目は全数)、大学院科目では各 200 名(同)をそれぞれ無作為抽出して得られた学部 10,882 名、大学院 2,826 名、計 13,708 名(いずれも延べ人数)に、回答すべき科目を予め指定した上で、郵送により行なった。

また、回収も郵送により行ない、調査期間は第1学期単位認定試験終了後の10月下旬旬から11月中旬までの約3週間とした。有効回答数は学部3,836票、大学院1,184票、計5,020票であった。無記名調査ながら、有効回答率は学部35.3%、大学院41.9%、全体で36.6%と低めであった(表1-2参照)。回収率の低さの要因はさまざまに考えられるが、昨年度と同様に科目登録者数や調査日程の関係から単位認定試験未受験者に対しても調査票を配付していることが回収率の低さの大きな要因の一つと思われる。なお、昨年度の有効回答率(学部37.0%、大学院45.0%、全体37.9%)と比較すると、学部・大学院とも有効回答率が下がっているが、これは調査時期が昨年度と異なること(昨年度までは単位認定試験直後の9月に実施)や、今年度は2008年度新規開設科目も同時に調査したため、複数の科目を依頼した学生が多かったことなどが影響しているものと考えられる。

表1-2 調査対象者数および有効回答率

	21年度(2	009年新規[	開設科目)	21年度(2	008年新規[	開設科目)	20年度(2	007年新規[	開設科目)
	対象者数	有効 回答者数	有効 回答率	対象者数	有効 回答者数	有効 回答率	対象者数	有効 回答者数	有効 回答率
学部	10,882	3,836	35.3%	17,671	5,543	31.4%	15,853	5,860	37.0%
大学院	2,826	1,184	41.9%	938	354	37.7%	2,107	949	45.0%
計	13,708	5,020	36.6%	18,609	5,897	31.7%	17,960	6,809	37.9%

#### I-4. 時系列分析

報告書の一部に第2回目(平成18年度)以降の調査との比較を掲載した。ただし、今年度は調査票の一部を修正したため、基本的に修正のなかった評価項目のみを時系列分析の対象とした。また、第1回目(平成17年度)の調査は、今回とは質問内容が異なる項目が多くあったため、時系列比較には入れていない。

さらに本調査は原則として開講2年目(本調査より1年目)の科目を対象とするため、 調査対象科目は年度ごとに異なっているという事情がある。本来ならば、時系列分析は 同一の科目同士あるいは同一科目から構成されるコース(プログラム)を比較対象とし てこそ、その意義が発揮されるであろう。しかし、対象科目は異なるとはいえ、年度ご とに開設された放送授業の全体的な傾向及びその方向性を見る上では参考になると思わ れる。

#### (1)回答者の属性分布と母集団との比較

回答者の属性分布は、次頁の表 1 - 3に示したとおりである。母集団(全受講登録者)の分布と比較すると、学部は、性別では男性、年齢階層では 50歳以上、学生種では選科履修生と科目履修生の比率が母集団と比べやや高くなっている。一方、大学院は、性別では男性、年齢階層では 60歳以上、学生種では修士全科生と修士科目生の比率が高くなっている。それぞれの属性別分析をする場合には問題はないが、全体の結果等を見る場合には、このような属性の偏りも考慮する必要があろう。なお、ここで比率が高いからと言っても、それらの属性の回答率が高いことをただちに意味するものではないので注意していただきたい。たとえば、たまたま今回は男性の比率が多い科目が対象になったため、男性に偏った属性分布になっているということもありうるからである。

表1-3 回答者の属性分布

#### 【学部】

		21年度(2	009年新規	開設科目)	21年度(2	008年新規[	開設科目)	20年度(2	007年新規	開設科目)
		回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団と の差	回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団と の差	回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団と の差
性	男性	47.6%	44.6%	3.0%	47.4%	44.6%	2.8%	44.9%	42.8%	2.1%
別	女性	49.0%	55.4%	<b>▲</b> 6.4%	49.3%	55.4%	▲6.1%	53.3%	57.2%	▲3.9%
	19歳以下	0.4%	1.5%	▲1.1%	0.4%	1.5%	▲1.1%	0.5%	1.0%	▲0.5%
	20~29歳	8.2%	20.6%	▲12.4%	10.2%	20.6%	▲10.4%	9.9%	18.3%	▲8.4%
年齢	30~39歳	16.0%	21.2%	▲5.2%	16.7%	21.2%	<b>▲</b> 4.5%	17.4%	23.9%	<b>▲</b> 6.5%
階層	40~49歳	20.6%	22.3%	<b>▲</b> 1.7%	18.9%	22.3%	▲3.4%	19.8%	22.0%	▲2.2%
階 層 別	50~59歳	18.5%	16.3%	2.2%	18.8%	16.3%	2.5%	20.5%	18.0%	2.5%
	60~69歳	24.3%	13.4%	10.9%	23.3%	13.4%	9.9%	21.6%	16.8%	14.1%
	70歳以上	11.5%	4.9%	6.6%	11.0%	4.9%	6.1%	9.3%		14.170
学	全科履修生	66.7%	80.8%	▲14.1%	74.5%	80.8%	▲6.3%	74.8%	76.0%	<b>▲</b> 1.2%
学 生 種	選科履修生	19.5%	16.7%	2.8%	16.3%	16.7%	▲0.4%	16.9%	18.0%	<b>▲</b> 1.1%
別	科目履修生	12.1%	2.5%	9.6%	7.4%	2.5%	4.9%	5.8%	5.9%	▲0.1%
	人数(N)	3,836	-	-	5,543	-	-	5,860	-	-

<sup>※</sup>回答者については、無回答があるため、合計は100%にはならない。

#### 【大学院】

		21年度(2	009年新規	開設科目)	21年度(20	008年新規[	開設科目)	20年度(20	007年新規	開設科目)
		回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団と の差	回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団と の差	回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団と の差
性	男性	60.8%	59.5%	1.3%	63.8%	59.5%	4.3%	58.3%	54.2%	4.1%
別	女性	35.4%	40.5%	▲5.1%	33.9%	40.5%	<b>▲</b> 6.6%	39.6%	45.8%	<b>▲</b> 6.2%
	20~29歳	3.0%	4.9%	<b>▲</b> 1.9%	12.4%	4.9%	7.5%	3.1%	5.5%	▲2.4%
年	30~39歳	13.8%	18.2%	<b>▲</b> 4.4%	15.0%	18.2%	▲3.2%	17.9%	20.6%	▲2.7%
· 齢 階	40~49歳	25.2%	28.9%	▲3.7%	25.7%	28.9%	▲3.2%	24.6%	29.1%	<b>▲</b> 4.5%
層	50~59歳	26.9%	27.2%	▲0.3%	24.0%	27.2%	▲3.2%	25.5%	27.3%	▲1.8%
別	60~69歳	22.1%	14.6%	7.5%	14.1%	14.6%	▲0.5%	17.5%	17.5%	10.2%
	70歳以上	8.4%	6.2%	2.2%	7.3%	6.2%	1.1%	10.2%	17.5%	10.2/0
学	修士全科生	30.7%	21.1%	9.6%	24.0%	21.1%	2.9%	24.3%	17.4%	6.9%
生種	修士選科生	59.0%	71.4%	<b>▲</b> 12.4%	49.7%	71.4%	▲21.7%	59.9%	70.0%	▲10.1%
別	修士科目生	8.9%	7.5%	1.4%	24.3%	7.5%	16.8%	14.0%	12.6%	1.4%
	人数(N)	1,184	-	-	354	-	-	949	-	-

※回答者については、無回答があるため、合計は100%にはならない。

以下、今回の評価結果を分析する上で、回答者の特性からみて留意すべき点を明らかにするために、回答者の属性についてさらに見ていくことにする。

#### (2)年齡階層別回答者(2009年新規開設科目)

年齢階層別に今年度(2009年新規開設科目)の回答者の分布を見ると(図1-1)、学部では30代~60代が中心であり、60歳代が最も多く24%、次いで40歳代が21%、50歳代が19%、30歳代が16%を占める。時系列で見ると60歳以上の高齢者の割合が増加し、40歳未満がやや減少傾向にある。

大学院では、40 歳代~60 歳代の割合が多く、50 歳代が 27%と最も多く、次いで 40 歳代 25%、60 歳代 22%と多くなっている。これまでの調査と比べると、学部と同様、40 歳未満の若い年代がやや少なくなっている。

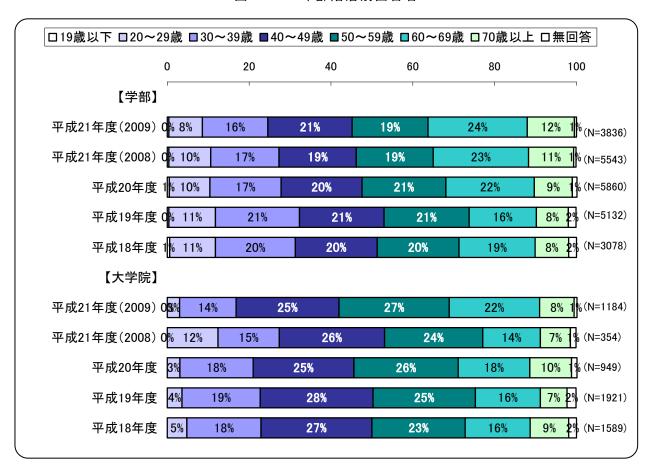


図1-1 年齢階層別回答者

#### (3)性別回答者(2009年新規開設科目)

回答者の性別(図 1-2)は、学部では男性 48%、女性 49%となっており、昨年までの調査に比べると男性の割合がやや増えている。また 30 歳代~50 歳代では女性が多く、60 歳以上では逆に男性が多くなっている。

大学院は、男性 61%、女性 35%と男性の比率が高い。大学院も昨年までの調査と比べると男性の割合がやや増えている。大学院の場合は、いずれの年齢階層でも男性の割合が多くなっている。

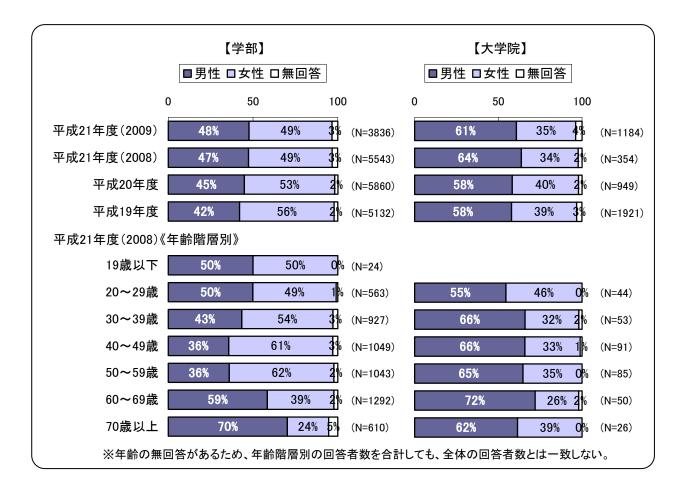


図1-2 性別回答者

#### (4) 職業別回答者(2009年新規開設科目)

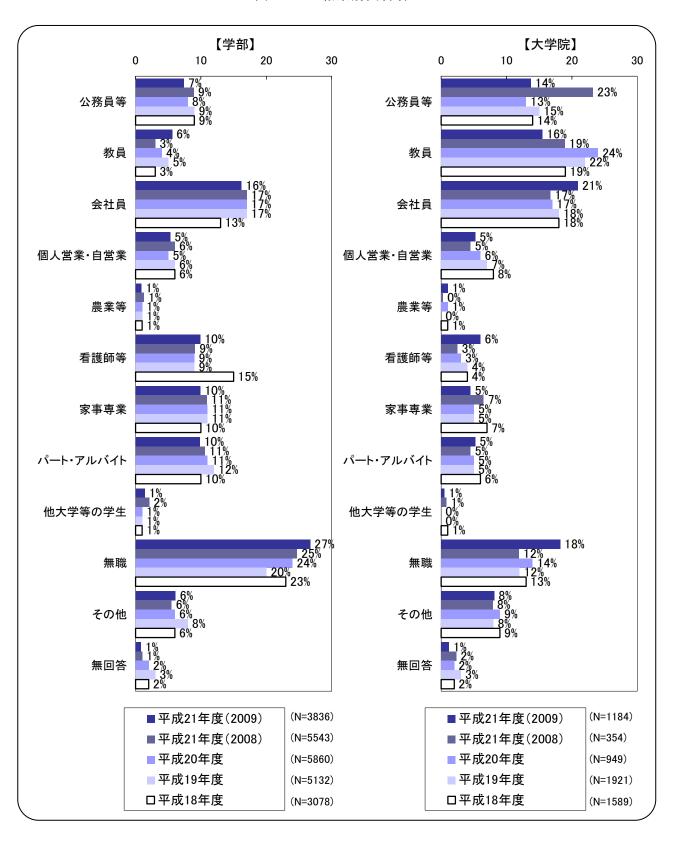
職業別に回答者の分布を見ると(図1-3)、学部では無職層が 27%と最も多く、次いで会社員 16%、看護師等 10%、家事専業 10%、パート・アルバイト 10%となっており、有職者(パート・アルバイト含む)は全体の 6 割程度を占めている。時系列で見ると、無職層の割合がやや増えている。

一方、大学院では、今回は会社員が 21%と最も多く、次いで無職 18%、教員 16%、

公務員等14%と多くなっており、有職者は7割程度を占める。

なお、ここでの年齢別、性別、職業別の回答者の割合は、調査対象年度の科目による 相違も影響しているので、放送大学の全学生の構成や時系列変化とは必ずしも同じでは ないことに注意されたい。

図1-3 職業別回答者



#### (5) 所属コース(プログラム) 別回答者(2009年新規開設科目)

次に学生の所属コース (プログラム) 別の分布を見ると (図1-4)、学部では全科履修生が 67%を占め、そのうち新コース所属が 42%、旧専攻所属が 25%となっている。 全科履修生の中では、新コース所属の「人間と文化」が 12%とやや多くなっている。

大学院では修士選科生が59%を占めており、修士全科生が31%、修士科目生が9%となっている。修士全科生の所属プログラムはかなりばらついている。

【学部】 【大学院】 0 10 20 30 40 50 60 70 0 10 20 30 新プログラム/修士全科生 新コース/全科履修生(生 8% 6% (生活健康科学) 活と福祉) 2% 8% 新プログラム/修士全科生 新コース/全科履修生(心 7% 2% 10% 理と教育) (人間発達科学) 新コース/全科履修生(社 新プログラム/修士全科生 9% 1% 会と産業) 13% (臨床心理学) 1% 新プログラム/修士全科生 新コース/全科履修生(人 12% 4% 4% (社会経営科学) 間と文化) 11% 新プログラム/修士全科生 新コース/全科履修生(自 6% 4% (文化情報学) 然と環境) 3% 5% 新プログラム/修士全科生 2% 旧専攻/全科履修生(生活 5% (自然環境科学) 5% と福祉) 5% 旧プログラム/修士全科生 2% 旧専攻/全科履修生(発達 4% (文化情報科学群) 3% と教育) 6% 旧プログラム/修士全科生 旧専攻/全科履修生(社会 3% 4% 6% (環境システム科学群) 1% と経済) 旧プログラム/修士全科生 3% 旧専攻/全科履修生(産業 3% 3% (政策経営) と技術) 旧プログラム/修士全科生 旧専攻/全科履修生(人間 1% (教育開発) 1% の探究) 旧プログラム/修士全科生 旧専攻/全科履修生(自然 0% 3% (臨床心理) 0% 2% の理解) 59% 20% 修士選科生 選科履修生 50% 16% 9% 12% 科目履修生 修士科目生 24% 7% 無回答 無回答 2% ■平成21年度(2009) ■平成21年度(2009) (N=3836)(N=1184)■平成21年度(2008) (N=5543)(N=354)■平成21年度(2008)

図1-4 学生の所属専攻(プログラム)別回答者

#### Ⅰ-6-1. 評価結果の提供

本授業評価は、先にも掲げたように「個別授業科目の改善支援」「カリキュラム全体の 改善支援」「認証評価に関わる資料提供」という三つの大きな目的のもとに企画され、実 施された。そのことを勘案した授業評価小委員会(以下「小委員会」という。)での検討 の結果、得られたデータは次のように資料提供されることとなった。

- (1) **当該科目を担当した主任講師への提供・・・・**担当科目の詳細な評価結果を主任講師 に提供する。担当科目の評価結果には、担当科目と比較可能な全科目平均等及び 自由記述部分が含まれる。
- (2) 専攻主任及びプログラム・コーディネーターへの提供・・・・全ての専攻・プログラムに対して、その関係する資料一式を提供する。
- (3)教授会及び教育課程編成委員会等関連委員会への提供・・・・大学全体のカリキュラム編成に関しての検討や意志決定に際しての資料とするため、教授会及び各委員会に提供する。

実際に主任講師等へ提供した個別科目に関する資料の内容は、13頁~18頁の「提供資料サンプル」に示した通りである。

#### Ⅰ-6-2. 評価結果の公表

さて、収集された授業評価の結果を授業改善の目的で用いるのはもちろんであるが、 それに加えて、現在では大学の社会的責務として評価結果の公表が強く求められている ところである。小委員会では、その問題に関しても詳細に検討した。その結果、以下の ような合意に達し、それを基本的な方針とすることが決められた。

#### (1)公表への基本姿勢

授業評価の結果については、基本的にできる限り広く社会に提示することが必要である。放送大学に課せられた社会的使命、教育体系全体における位置付け、そして納税者 国民への説明責任等を勘案するならば、言うまでもなくそれが理の当然である。そこで、 当面は以下に示す形態で公表していくこととする。

#### (2)公表する内容

以下のデータに関して公表することとする。

①調査の概要 :授業評価の目的、方法、実施時期、調査対象者数、調査票等

②回答者の概要 : 基本属性別に見た有効回答者数

③評点平均 : 全対象科目を総計した結果について、回答者の属性別、科目の分

野別、メディア別等の各設問の評点平均値

④自由記述の概略:特徴的・代表的な記述

# (3)公表の方法

(2)の内容について、放送大学ホームページ及び広報誌「On Air」紙上等で適宜公表することを基本とする。

## 提供資料サンプル【学部】

平成21年度学生による授業評価の調査結果【2009年度新規開設科目】(単純集計)

コース・プログラム等 〇〇〇〇

科目名(コード): OOOO (TV) 教員氏名: OOOO

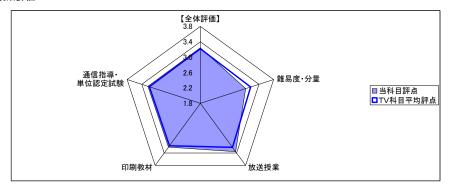
(注)平均評点は、「あてはまる:4点」「ややあてはまる:3点」「あまりあてはまらない:2点」「あてはまらない:1点」として算出。

#### 1. 取組み姿勢

#### 回答割合 平均評点 有効回答 設問内容 あてはまる ややあては あまりあて あてはまら 当科目評点 はまらない ない 全体平均 TV科目平 評点 均評点 全体として、この科目の学習に熱心に取り組ん A-1 127 39% 11% 2% 3.33 3.31 放送授業を十分に視聴した 127 40% 29% 17% 9% 3.06 2.94 3.01 印刷教材を熱心に学習した 127 44% 42% 9% 2% 3.31 3.38 3.31

# 【当科目評点と、TV科目平均評点 との差】 -1.0 -0.5 0.0 0.5 1.0 -0.06 0.05 0.05

#### 2. 授業評価



【当科目評点と、TV科目平均評点 との差】

B-1 放送授業の難易度は適切だった						回答	割合			平均評点				207	- 4	
Be 2 放送授業の内容は適切な分量であった 127 36% 32% 18% 4% 3.11 3.19 3.19 3.19 3.14 3.10 3.19 3.19 3.14 3.10 3.19 3.14 3.10 3.19 3.14 3.10 3.19 3.14 3.10 3.19 3.14 3.10 3.15 3.15 3.15 3.15 3.15 3.15 3.15 3.15			設問内容	有効回答	あてはまる		あまりあて はまらない	あてはまら ない	当科目評点		TV科目平 均評点	-1.0	-0.5	0.0	0.5	1.0
・分量       B-3       印刷教材の難易度は適切な分量であった       127       28%       40%       23%       6%       2.94       3.19       3.14       -0.20       -0.27         B-4       印刷教材の内容は適切な分量であった       127       31%       35%       28%       4%       2.94       3.24       3.21         B-5       講師の説明はポイントをおきえ、分かりやすかった       127       52%       32%       5%       2%       3.49       3.32       3.33         B-6       講師の熟意が十分に伝わった       127       52%       32%       5%       2%       3.49       3.32       3.33         アレース を表してよくできていると感じした。       127       43%       34%       12%       18       3.33       3.17       3.17         B-8       アレーの特性が十分に生かされていると感じした。       127       46%       30%       12%       2%       3.32       3.21       0.16         B-9       日かまなと数材との内容的な関連性       127       43%       35%       9%       2%       3.32       3.21       0.11         国際的教材       日の内容はのたった。       127       45%       34%       17%       5%       3.03       3.19       3.13       0.01         日ののをおするとなが適切に用いられ内容が適切に用いられ内容が適切に用いる内容を必要と感じるのできびきなが適切に用いる内容をあると思いまた。       127       45%       39%       12%<	難	B-1	放送授業の難易度は適切だった	127	36%	36%	14%	4%	3.16	3.18	3.16		'	0	.00	
分量       B-3 印刷教材の独唱房底は適切だった       127       28%       40%       23%       6%       2.94       3.19       3.14       -0.20         B-4 印刷教材の内容は適切な分量であった       127       31%       35%       28%       4%       2.94       3.24       3.21         b-5 演師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった       127       40%       38%       11%       2%       3.29       3.19       3.18         b-6 講師の熟意が十分に伝わった       127       52%       32%       5%       2%       3.49       3.32       3.33         D-7 だった       B-7 だった       127       43%       34%       12%       1%       3.33       3.17       3.17         B-8 たいとの特性が十分に生かされていると感じ 127       46%       30%       12%       2%       3.32       3.21       3.19         B-9 印刷教材の内容は明確で説明も分かりやす かった       127       43%       35%       9%       2%       3.32       3.21       0.11         B-10 のかった       B-10 のかった       127       45%       34%       17%       5%       3.03       3.19       3.13       -0.10         数数 を	易度	B-2	放送授業の内容は適切な分量であった	127	36%	32%	18%	4%	3.11	3.19	3.19		-0.0	08		
B-4   印刷飲材の内容は適切な分量であった   127   31%   35%   28%   4%   2.94   3.24   3.21   3.21   3.25   3.29   3.19   3.18   3.25   3.29   3.19   3.18   3.20   3.29   3.19   3.18   3.20   3.29   3.29   3.29   3.29   3.29   3.29   3.29   3.29   3.29   3.29   3.29   3.29   3.29   3.29   3.29   3.29   3.29   3.29   3.29   3.20		B-3	印刷教材の難易度は適切だった	127	28%	40%	23%	6%	2.94	3.19	3.14		-0.20			
B-6   講師の熱意が十分に伝わった	亜			127	31%	35%	28%	4%	2.94	3.24	3.21		-0.27			
B-8   万元との特性が十分に生かされていると感じ   127   46%   30%   12%   2%   3.32   3.12   3.19   0.13   12%   2%   3.32   3.21   3.19   0.11   12%		B-5		127	40%	38%	11%	2%	3.29	3.19	3.18				0.11	
B-8   万元との特性が十分に生かされていると感じ   127   46%   30%   12%   2%   3.32   3.12   3.19	放送	B-6	講師の熱意が十分に伝わった	127	52%	32%	5%	2%	3.49	3.32	3.33				0.16	
B-3   た   127   46%   30%   12%   2%   3.32   3.12   3.19   3.13   3	授 業	B-7	放送授業は教材としてよくできていると感じ た	127	43%	34%	12%	1%	3.33	3.17	3.17				0.16	
B-9   は適切だった		B-8	テレビの特性が十分に生かされていると感じた	127	46%	30%	12%	2%	3.32	3.12	3.19				0.13	
B-10 かった		B-9	は適切だった	127	43%	35%	9%	2%	3.32	3.25	3.21				0.11	
B-12 印刷教材は教材としてよくできていると感じたたける。       127 45% 35% 17% 2% 3.26 3.23 3.19         通信指導のコメントは、納得のいくものだったまで導致験単位を対象の理解に役立った 127 45% 39% 12% 2% 3.28 3.29 3.23         B-14 通信指導は学習内容の理解に役立った 127 42% 39% 12% 2% 3.28 3.32 3.25         B-15 単位認定試験の問題は科目内容の理解度を占はかるのにふさわしい内容だった 127 29% 39% 21% 1% 3.07 3.14 3.10         B-16 授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った 127 31% 47% 18% 2% 3.10 3.20 3.15         B-16 デ習意欲や興味・関心が高まる授業内容 127 49% 34% 13% 2% 3.33 3.29 3.27         B-18 新しい知識が身につき視野が広がった 127 61% 33% 5% 0% 3.57 3.43 3.44	印刷	B-10	かった	127	30%	45%	17%	5%	3.03	3.19	3.13		-0.1	0		
B-12   た	教 材	B-11	図表や写真などが適切に用いられ内容の 理解に役立った	127	45%	34%	17%	2%	3.23	3.06	3.14				0.09	
図指 定導車 位     B-14 通信指導は学習内容の理解に役立った     127 42%     39%     12%     2%     3.28     3.32     3.25       B-15 単位認定試験の問題は科目内容の理解度 をはかるのにふさわしい内容だった     127 29%     39%     21%     1%     3.07 3.14     3.10       B-16 世位認定試験の問題は科目内容の理解度 をはかるのにふさわしい内容だった     127 29%     39%     21%     1%     3.07 3.14     3.10       B-16 で役に立った で役に立った     127 31%     47%     18%     2%     3.10     3.20     3.15       B-17 だった     B-18 新しい知識が身につき視野が広がった     127 49%     34%     13%     2%     3.33     3.29     3.27       B-18 新しい知識が身につき視野が広がった     127 61%     33%     5%     0%     3.57     3.43     3.44		B-12	t	127	45%	35%	17%	2%	3.26	3.23	3.19				0.07	
世	通っっ	B-13	通信指導のコメントは、納得のいくものだった	127	45%	39%	8%	2%	3.36	3.29	3.23				0.13	
世	定試	B-14		127	42%	39%	12%	2%	3.28	3.32	3.25			C	0.03	
B-16 授業科目案内はこの科目の内容を知る上 で役に立った     127     31%     47%     18%     2%     3.10     3.20     3.15       B-17 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容 だった     127     49%     34%     13%     2%     3.33     3.29     3.27       B-18 新しい知識が身につき視野が広がった     127     61%     33%     5%     0%     3.57     3.43     3.44	駵 単 位	B-15	をはかるのにふさわしい内容だった	127	29%	39%	21%	1%	3.07	3.14	3.10		-0	.03		
全体評価     B-18 新しい知識が身につき視野が広がった     127 49% 34% 13% 2% 3.33 3.29 3.27       0.00     0.00			授業科目案内はこの科目の内容を知る上 で役に立った	127	31%	47%	18%	2%	3.10	3.20	3.15		-0.	.05		
	全	B-17		127	49%	34%	13%	2%	3.33	3.29	3.27				0.06	
	体評	B-18	新しい知識が身につき視野が広がった	127	61%	33%	5%	0%	3.57	3.43	3.44				0.13	
<sup>***</sup> B-19 二の科目の内容を全体としてよく理解できた 127 28% 43% 23% 4% 2.98 3.11 3.06 -0.08	価	B-19		127	28%	43%	23%	4%	2.98	3.11	3.06		-0.0	08		
B-20 この科目の内容には全体として満足してい 127 43% 36% 17% 2% 3.24 3.23 3.18 0.06		B-20	この科目の内容には全体として満足している	127	43%	36%	17%	2%	3.24	3.23	3.18				0.06	

#### 3. 回答者の属性 (単位:人)

		全科履行	修生(新コース	ス所属)				全科履修生(	旧専攻所属)			全科履修生	湿到层放开	科目履修生	無回答	計
学生種別	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	自然と環境	生活と福祉	発達と教育	社会と経済	産業と技術	人間の探求	自然の理解	【小計】	选符腹形工	行日报修工	無凹台	āl
	10	4	9	43	0	5	2	2	1	16	1	93	27	5	2	127
	m te										15					
性別	男性	女性	無回答	計		年 齢	19歳以下	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	無回答	計	
וית בו	66	56	5	127		十節	0	2	17	15	30	41	21	1	127	
職業	公務員等	教員	会社員	個人営業・ 自営業	農業等	看護師等	家事専業	パート・アル バイト	他大学等の 学生	無職	その他	無回答	計			
1.2	9	5	21	4	0	3	12	12	0	52	7	2	127			
	W /L =71					i										
通信指導·単	単位認		通信指導	無回答	計		単位認定の ための学習	ほとんど放送	整教材の学	ほとんど印刷	別教材の学	放送教材と	印刷教材の	無回答	計	
位認定試験	受 験	未受験	未提出				ための学習	省にげで臨り	v15	習だけで臨ん	ひ/こ	両方の学習	じ脳んた		The second second	
过能是武贵	110	10	2	5	127		方法		9		30		80	8	127	

平成21年度学生による授業評価の調査結果[2009年度新規開設科目](学生種別、通信指導提出状況・単位認定試験出席状況別クロス集計) [全体一覧]

小部

			A-1	全体として、この科	د, ده		学習に熱	目の学習に熱心に取り組んだ	組んだ	_	A-2 放	<b>美授業を</b>	放送授業を十分に視聴した	聴した				A-3	믒	刷教材を熱心に学習した	いに学習し	Jt=			
			回答数	選折	選択肢別の回	回答割合	·回答	数	背定計	評点 回	回答数	選択肢	選択肢別の回答割合・	<b>芩割合</b>	回答数	#	肯定 評	山四名	数	選択肢別の	の回答割合	合·回答数	数	肯定	評点
				4	3	2	1	無回答	自	乜		t	3 2		1 無回	~	計	乜	4	3	2	1	無回答	評価	
	4	今計(全体)	3836	48%	37%	11%	3%	2%	85% 3	3.33	3836	36%	30% 1	. %61	12%		66% 2.	.94 3836		20% 37%	10%	2%	2%	81%	3.38
	<u> </u>	(# J#)		1835	1422	413	97	69			_	391	155 7	710	457 1	23			1931	1403	366	70	99		
		4 年 7 加 対	321	39%	43%	14%	2%	3%	82% 3.	23	321	28%		52%	17%	2%	56% 2.	2.70 321		51% 39%	%8	1%	1%	%06	3.41
		十一日間は		125	138	44	5	6				90	89	71	26	15			16	164 124		3	3		
	4+	い苗と粉布	263	21%	34%	13%	2%	1%	85% 3.	35	263	39%		22%	%6	3%	66% 2.	.99 263		25% 35%	%8	1%	1%	91%	3.47
	献	心理の教員		134	89	33	5	2				103	70	57	24	6			14	145 93		2	3		
	(	様はしくな	351	20%	37%	%6	3%	1%	86% 3	35	351	36%	32% 1	. 2%	13%	2%	68% 2.	.93 351		48% 37%	11%	2%	1%	%98	3.33
	п-	七式C 体来		175	128	31	12	2				127	112	09	45	7			1	170 131	38	∞	4		
	- K	イヤー目	449	49%	37%	10%	3%	2%	86% 3.	34	449	38%	33% 1	%9	%6		71% 3.	.06 449		48% 38%	%6	2%	2%	%98	3.35
	)	人間に入れ		220	165	45	12	7				172	147	70	39	21			21	216 170		Ξ	=		
		日発し間本	210	21%	35%	11%	2%	1%	86% 3	3.36	210	44%	37% 1	2%	%9	1%	81% 3.	210		46% 37%	13%	3%	1%	82%	3.27
		日然C環境		106	74	24	4	2				95		25	13	3			٠, -	77 96	28	9	3		
		千年し指述	192	42%	43%	11%	2%	3%	84% 3	.27	192	28%	29% 2	50%	21%	3%	57% 2.	.65 192		49% 39%	%8	2%	3%	%88	3.38
	'	エカム神仙		80	82	21	4	5				53	26	38	40	5			3,	94 74		4	5		
<b>[</b>		交法し歩ち	191	48%	35%	14%	1%	7%	83% 3.	.33	191	40%	28% 2	22%	%6	1%	.8% 3.	3.01 16	_	50% 40%	%8	1%	1%	%06	3.41
Ͱ₩	<	光泽CX日		78	26	22	2	က				65	45	36	4	_				81 64	12	2	2		
種品	主	** ** ◇ ト & **	118	44%	39%	11%	4%	7%	83% 3	25	118	42%		. %81	12%	%/	64% 3.	.00 118		46% 33%	14%	3%	4%	%6/	3.27
Ę	( 🛚	工芸の性が		52	46	13	2	2				49	26	21	14	8			.,	54 39	16	4	2		
	中	中華と社会	111	45%	38%	15%	1%	1%	83% 3.	28	111	33%	ľ	%LI	14%	4%	65% 2.	111		46% 38%	12%	%0	2%	84%	3.36
	权)	压来CtX™		50	42	17	-	_				37	35	19	16	4				51 42	13	0	5		
	١	お母の間(	265	49%	34%	12%	2%	3%	83% 3	3.34	265	38%	26% 2	50%	13%	3%	64% 2.	91 265		56% 31%	11%	1%	1%	81%	3.44
	'	人間の抹光		130	91	32	5	7				100	69	54	35	7			17	149 82		2	2		
		白然の神経	119	46%	36%	14%	1%	3%	82% 3	31	119	36%	30% 1	%6	%6	%9	66% 2.	99 119		44% 35%	16%	2%	3%	%6/	3.25
		1 mm C 1 mm t		55	43	17	-	3				43	36	22	11	7			.,	52 42	19	2	4		
	₩	全科履修生	2560	47%	37%	12%	2%	2%	84% 3.	32	2560	36%	30%	%6	12%	%	66% 2.	.94 2560		50% 37%	10%	2%	2%	%98	3.37
		[小計]		1205	954	299	26	46				931	762 4	473	307	87			1272	7 938	259	44	47		
	PH.	選乳層條件	748	47%	39%	10%	%	2%	86% 3	31	748			%6	11%		67% 2.	.96 748		48% 39%	_	%1	%1	%88	3.36
	ą	1110¢   0 1		350	291	74	22	=				275	229 1	141	85	21			36	362 293	75	10	8		
	#	日階條件	463	54%	34%	%	%	2%	88%	14.	463	37%		. 1%	12%	2%	68% 2.	.96 463		58% 32%	%9	%	%	%06	3.47
	-	1		251	155	35	15	7				171	146	79	26	11			26	268 148		13	9		
Ņ		盆	3329	20%	38%	%6	2%	1%	88% 3	33	3329	38%	30% 1	%8	11%		68% 2.	.98 3329		23% 36%		1%	1%	%68	3.43
単価	異			1678	1248	303	22	45			_	277		286	376	93			17.	773 1195	280	35	46		
計画	盤	盤空半	240	28%	39%	26%	2%	%	67% 2.	93	240	25%		29%	14%	2%	55% 2.	.68 240		28% 47%	19%	4%	2%	75%	3.02
盤.				67	93	62	=	7				29			33	2				68 113	46	6	4		
凸鉛		通信指導未提出	130	21%	27%	25%	22%	%9	48% 2.	20	130	15%		72%	25%	, %6	42% 2.	.35 130		33%	7	18%	%9	52%	2.57
!		18-27-17-18-1		27	35	32	28	8		=	_	19	36	32	32	=		_	_	25 43	31	23	8		
					:																				

(注)1.「選択肢別の回答割合」は、少数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合もある。
 2.「肯定評価」は、調査票の選択肢「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計である。
 3. 評点については、選択肢「あてはまる・4点」「ややあてはまる・3点」「あまりあてはまらない・2点」「あてはまらない・1点」として算出した。

- Ⅱ. 次の点について、ご自由にお書きください。
- (1) この科目を受講してよかったと思う点をお書きください。

日常の生活がいかに社会と関わりをもっているか、経済や政治や法律など等、広く深く考える手がかりが得られ、有意義な講義だった。

(2) この科目を受講して改善すべきだと感じた点をお書きください。

説明が哲学的で平易な言葉ではなかったのでやや難解であったので、初学者でも理解できるように注釈など工夫が必要に思う。引っ掛け問題の様な通信指導問題や単位認定試験問題は何を意図しているか分からず、本質的な理解を試しているとは思えず、検討の余地あり。

(3) <u>この科目に限らず</u>、本学の教育内容や教育方法等についてご意見やご感想があれば、 どんなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。

私は卒業するのに十年かかりました。病気、入院でも先生方のご指導で卒業することが出来 ました。卒業論文のご指導、今も感謝しております。先生は年賀状を毎年下さって励まして 下さいました。本当に大学に感謝しております。

- Ⅲ. <u>この科目の</u>通信指導と単位認定試験についてお答えください。(該当する番号に○を付けてください。)
  - 1. 通信指導を提出し、単位認定試験を受験した。
  - 2. 通信指導を提出したが、単位認定試験は受験しなかった。
  - 3. 通信指導を提出しなかった。
- Ⅳ. あなたご自身についてお答えください。(該当する番号にそれぞれ〇を付けてください。)

(1) 学生種別	〔全科履修生 新コース所属の方〕
	1. 生活と福祉 2. 心理と教育 3. 社会と産業 4. 人間と文化 5. 自然と環境
	〔全科履修生 旧専攻所属の方〕
	6. 生活と福祉 7. 発達と教育 8. 社会と経済 9. 産業と技術 10. 人間の探究
	11. 自然の理解
	[選科履修生·科目履修生] 12. 選科履修生 13. 科目履修生
(2) 性別	1. 男性 2. 女性
(3) 年齢	1. 19歳以下 2. 20~29歳 3. 30~39歳 4. 40~49歳
	5. 50~59歳 6. 60~69歳 7. 70歳以上
(4) 職業	1. 公務員等 2. 教員 3. 会社員 4. 個人営業・自営業
	5. 農業等 6. 看護師等 7. 家事専業 8. パート・アルバイト
	9. 他大学等の学生 10. 無職 11. その他 ( )

どうもありがとうございました。

# 提供資料サンプル【大学院】

#### 本学院 平成21年度学生による授業評価の調査結果【2009年度新規開設科目】(単純集計)

コース・プログラム等	0000	
科目名(コード):	OOOO(R)	数員氏名・○○○○

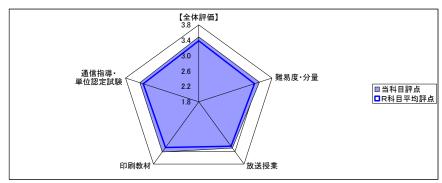
(注)平均評点は、「あてはまる:4点」「ややあてはまる:3点」「あまりあてはまらない:2点」「あてはまらない:1点」として算出。

#### 1. 取組み姿勢

						回答	割合	平均評点					
			設問内容	有効回答	あてはまる	ややあては まる	あまりあて はまらない	あてはまら ない	当科目評点	全体平均 評点	R科目平均 評点		
	取	A-1	全体として、この科目の学習に熱心に取り組ん だ	66	55%	36%	9%	0%	3.45	3.42	3.43		
	組姿勢	A-2	放送授業を十分に視聴した	66	41%	24%	17%	15%	2.94	3.03	2.97		
	勢	A-3	印刷教材を熱心に学習した	66	53%	38%	8%	2%	3.42	3.45	3.48		

# 【当科目評点と、R科目平均評点 との差】 -1.0 -0.5 0.0 0.5 1.0 -0.02 -0.03

#### 2. 授業評価



【当科目評点と、R科目平均評点

					回答	割合			平均評点							
		設問内容	有効回答	あてはまる	ややあては まる	あまりあて はまらない	あてはまら ない	当科目評点	全体平均 評点	R科目平均 評点	-1.0	-0.5	0.0	0.5	1.0	
難	B-1	放送授業の難易度は適切だった	66	47%	39%	0%	3%	3.46	3.29	3.27		·		0.19		
易度	B-2	放送授業の内容は適切な分量であった	66	41%	47%	0%	2%	3.42	3.34	3.31				0.11		
分量	B-3	印刷教材の難易度は適切だった	66	53%	44%	2%	2%	3.48	3.31	3.32				0.16		
重		4 印刷教材の内容は適切な分量であった		50%	49%	2%	0%	3.48	3.37	3.39				0.09		
	B-5	講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	66	38%	46%	0%	3%	3.37	3.32	3.28				0.09		
放送授業	B-6	講師の熱意が十分に伝わった	66	42%	38%	2%	5%	3.37	3.43	3.40		=	0.03			
授 業	B-7	放送授業は教材としてよくできていると感じ た	66	38%	39%	6%	3%	3.30	3.27	3.23			C	0.07		
	B-8	テレビの特性が十分に生かされていると感じた	66	29%	41%	11%	5%	3.11	3.12	3.00				0.11		
	B-9	印刷教材と放送教材との内容的な関連性 は適切だった	66	47%	41%	0%	0%	3.53	3.34	3.33				0.20		
印刷教材	B-10	印刷教材の内容は明確で説明も分かりやす かった	66	47%	46%	8%	0%	3.39	3.29	3.29				0.10		
教 材	B-11	図表や写真などが適切に用いられ内容の 理解に役立った	66	41%	44%	11%	3%	3.25	3.15	3.11				0.14		
	B-12	印刷教材は教材としてよくできていると感じ た	66	52%	42%	5%	0%	3.48	3.34	3.35				0.13		
通物信	B-13	通信指導のコメントは、納得のいくものだった	66	49%	44%	5%	2%	3.42	3.34	3.34			C	0.08		
認定試験通信指導・単	B-14	通信指導は学習内容の理解に役立った	66	59%	35%	5%	2%	3.52	3.35	3.36				0.16		
<sup>験</sup> 単位	B-15	単位認定試験の問題は科目内容の理解度 をはかるのにふさわしい内容だった	66	39%	46%	6%	3%	3.29	3.24	3.25			0.	.04		
	B-16	授業科目案内はこの科目の内容を知る上 で役に立った	66	50%	41%	9%	0%	3.41	3.31	3.32			(	0.09		
수	B-17	学習意欲や興味・関心が高まる授業内容 だった	66	52%	41%	6%	0%	3.46	3.41	3.42			0.	.04		
全 体 評	B-18	新しい知識が身につき視野が広がった	66	59%	32%	9%	0%	3.50	3.53	3.54		-1	0.04			
価	B-19	この科目の内容を全体としてよく理解できた	66	56%	42%	2%	0%	3.55	3.25	3.27				0.28		
	B-20	この科目の内容には全体として満足している	66	56%	41%	3%	0%	3.53	3.37	3.38				0.15		

#### 3. 回答者の属性 (単位:人)

		(-12.70)															
		修:	士全科生(新	プログラム所	属)			修士全科	生(旧プログ・	ラム所属)		收十分制件					
学生種別	生活健康 科学	人間発達 科学	臨床心理学	社会経営 科学	文化情報 学	自然環境 科学	文化情報科 学群	環境システ ム科学群	政策経営	教育開発	臨床心理	【小計】	修士選科生	修士科目生	無回答	計	
	17	2	0	1	0	2	0	3	1	0	0	26	34	6	0	6	
M. Di	男性	女性	無回答	計		4- 40	19歳以下	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	無回答	計		
性 別	34	32	0	66		年 齢	0	4	16	25	11	8	2	0	66		
				100 1 244 AF				.2 1 70	14 L 24 7 A					1			
職業	公務員等	教員	会社員	個人営業・ 自営業	農業等	看護師等	家事専業	バイト	他大学等の 学生	無職	その他	無回答	計				
	6	10	15	2	0	11	2	7	1	7	5	0	66				
	NA /4 = TI	<b>∴</b> =≥ FΔ	17 (= 16 16)			l		1= 1 / 10±6.50	44.11.0.24	UT 1 / 1000	74 44 AA 00 AV	TE 28 WE TT 1 6	'n Dukk tit o				
通信指導・単	単位認 受験	正試験 未受験	通信指導 未提出	無回答	計		単位認定の ための学習	はとんど放送習だけで臨り	≦教材の字 んだ	ほとんど印刷 習だけで臨り		放送教材と 両方の学習		無回答	計		
位認定試験	62	3	0	1	66		方法		3	20			33	1	66		

平成21年度学生による授業評価の調査結果【2009年度新規開設科目】(学生種別、通信指導提出状況・単位認定試験出席状況別クロス集計)【全体一覧】

大学院

	司	: 京 京	3.45		3.44		3.50		3.58		3.50		3.46		3.56		3.67		3.39		3.42		3.69		3.20		3.48		3.44		3.43		3.50		3.20		2.67	
	(): 40	加	%06		%76		%96		95%		95%		94%		%96		%96		%98		%06		100%		100%		93%		%68		%68		%76		83%		21%	_
	F	回	2%	21	%0	0	%0	0	%0	0	%0	0	2%	-	4%	-	%0	0	2%	_	2%	7	%0	0	%0	0	%	2	7%	10	2%	5	2%	17	%0	0	3%	-
.,	-回答数	1 #	2%	18	1%	-	%	0	%8	-	2%	-	%0	0	%0	0	%0	0	%0	0	2%	7	%0	0	%0	0	%	2	%	12	%	0	1%	8	%	2	19%	٢
学習した	選択肢別の回答割合・回答数	2	%/	79	%2	2	4%	-	%0	0	%9	က	4%	2	%0	0	4%	_	12%	2	%0	0	%0	0	%0	0	2%	17	%8	22	7%	7	%9	57	15%	12	22%	c
対心で	支別の旧	၈	36%	426	38%	27	45%	Ξ	17%	2	32%	16	45%	23	45%	Ξ	26%	7	36%	15	40%	16	31%	4	%08	4	38%	136	34%	239	41%	43	32%	367	43%	34	30%	-
印刷教材を熱心に学習した	選択月	4	24%	640	24%	38	24%	14	%2/	6	%09	30	49%	52	24%	14	%0/	19	%09	21	%09	70	%69	6	20%	-	22%	200	22%	383	48%	20	%29	587	40%	32	27%	Ç
A-3 印	Þ	<u>                                       </u>	1184		71		56		12		20		51		56		27		42		40		13		2		363		669		105		9801		80		37	-
_	+	計 ( ( (	3.03		.82		3.19		2.83		3.04		3.10		3.12		.37		3.05		2.82		.27		3.00		3.02		3.06		88		3.07		2.62		.54	_
	$\vdash$	二 年 日	71% 3		61% 2.		81% 3		67% 2		72% 3		80% 3		81% 3		82% 3.		79% 3		53% 2		77% 3.		80%		71% 3		73% 3		57% 2.		73% 3		53% 2		54% 2.	_
	40	回る	3%	33		0	%0	0	%0	0	%0	0	2%	_	4%	_	%0	0	2%	_	2%	7	15%	2	%0	0	2%	7	%%	18	7%	7	3%	28	%	1	%0	_
	回答数	#	10%	121	%O1	7	%	2	%8	1	12%	9	%8	4	%8	2	4%	_	10%	4	15%	9	%0	0	%0	0	%6	33	%01	72	11%	12	%O I	98	<b>16</b> %	13	22%	α
聴した	選択肢別の回答割合・回答数	2	. %91	192		21	12%	က	25%	3	. 16%	<b>∞</b>	10%	2	%8	2	15%	4	. %01	4	. %87	=	%8	1	40%	7	%	64		00	. 22%	26	2%	53	30%	24	24%	a
放送授業を十分に視聴した	別の回	-	32% 1	375 1		21	35% 1	6	42% 2	2	28% 1	4	45% 1	23	46%	12	22% 1	9	45% 1	19	13% 2	2	46%	9	7 %07	-	33% 1	121		227 1	21%	22	32% 1	334 1	28%	22	32%	1.0
授業を	選択肢		39% 3	463 3		22	46% 3	12	25% 4	3	44% 2	22	35% 4	18	35% 4	6	59% 2	16	33% 4	4	1 40%	16	31% 4	4	40% 2	2		138		282 2	36% 2	38	41% 3	423 3	25% 2	20	22% 3	α
		4		4	71 3		26 4		12 2		50 4		51 3		26 3		27 5		42 3		40 4		13 3		5 4		.,	1		2	105 3			4	80 2		37 2	_
A-2	<u> </u>	€ 전 [ [	1184																		.53 4				0		5 363		2 699				8 1036				.58	_
が	祖	計	89% 3.42		86% 3.37		3.54		92% 3.25		92% 3.54		92% 3.42		3.35		89% 3.48		91% 3.49		93% 3.5		3.62		3.40		92% 3.45		90% 3.42		83% 3.35		92% 3.48		78% 3.10		54% 2.5	
取り組ん	41	型 工工	1% 86	16		0	100%	0	Z6 %0	0	6 %0	0	2% 92	_	96 %0	0	38 %0	0	2% 91	_	e %0	0	0% 100%	0	0% 100%	0	1%	2		6	83	4	1% 92	12	3/ %0	0	3% 27	<u>_</u>
瀬つに	<b>松</b>	無回衆	2% 1	20		0	0 %0	0	0 %8	_	2% 0	_	0%	0	0 %0	0	0 %0	0	0%	0	2% 0	2	0 %0	0		0	1%	4		12	3%	3	1%	8	4%	3		œ
の学習に	割合·回答数	-	20		0	0	20	0	%	0	20	က	20	က	%	_	0 %	ဗ	%	က	20	_	20	0	) %	0			20	2	8	1	200	4		2	22%	~
の科目の	の回答		88	3 89	14%	1	0	2	50 %	9	9 %	4	9 %	8	<b>4</b>	10	11	∞	7 7	10	36	_	90	2	50 %	ဗ		7 24		7 5	11.	5 1	9 %	9 (	19%	3	22%	_
全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ	選択肢別の回答	က	37%	3 436	3	3 25	46%	4 12	%09	2	% 28%	14	45%	4 23	%89	15	%08 %		%9E %	3 15	% 28%	3 11	%68 %		)9	.,		3 137		9 257	33%	2 35	37%	380	41%	33	30%	11
全体と		4	53%	623	21%	36	54%	14	45%	٠,	64%	32	47%	24	39%	10	29%	16	22%	23	%59	26	62%	8	40%	- 4		196		369	20%	52	22%	572	36%	29	24%	_
A-1	回答数	l I	1184		71		26		12		20		51		26		27		42		40		13		2		363		669		105		1036		80		37	
			<b>◇=+(◇/★)</b>	(#J#)	生活健康科	ዙ	人間発達科	孙	会胜少书知	十年心と語	社会経営科	孙	믔꺜좪겏쑤	大に消散子	自然環境科	朴	文化情報科	推	環境システ	人科学群	岩谷本牡	以下	を 目 字 作	教員開光	超化少组		士全科生	[小計]	修十彈赵牛	1 1 2 1	<b>依十</b> 對日生		褐垣	<b>发</b>	组出	***	话作标准生性	エキイドロ
			4	<u>a</u>		,	<	王科	(∦	ずプ	ロヤ	/ IV	( ۱								⊒'n	ロヤ	ノル	<b>1</b> )			物		<b>*</b>	Ī.	<b>秦</b>	Ū		B 試位	盤			
																	1	计刊	軍司	Ę														画信	試	inia 15		

(注)1.「選択肢別の回答割合」は、少数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合もある。 2.「肯定評価」は、調査票の選択肢「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計である。 3. 評点については、選択肢「あてはまる・4点」「ややあてはまる・3点」「あまりあてはまらない・2点」「あてはまらない・1点」として算出した。

- Ⅱ. 次の点について、ご自由にお書きください。
- (1) この科目を受講してよかったと思う点をお書きください。

1つ1つを深く考えることなく生活していることが多い。今回の受講で、例えば1つの生活用製品について、深く考え、理解する過程があった。生活する中で本来なら、きちんと向い合うことで、生活の方法を理解し、生活することができる。生活スタイルの形成に役立った。

(2) この科目を受講して改善すべきだと感じた点をお書きください。

それぞれの研究の立場からの講義であり、1つの科目として行う事は興味深かったが、全体としての統一した目的がいま一歩見出せなかった。全てではないが、関連科目の寄せ集めの感も否定できない。主題に関する双方のアプローチの違いの意味と課題をより深く考察できる為の工夫が必要と感じた。

(3) <u>この科目に限らず</u>、本学の教育内容や教育方法等についてご意見やご感想があれば、 どんなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。

TVでの学習のインターネット配信が、少しずつ進んでいる点は、とてもありがたい。大学での自習室などのサポートも万全で、意欲を持てば、学習できる場を十分つくってくれていると思っている。

- Ⅲ. <u>この科目の</u>通信指導と単位認定試験についてお答えください。(該当する番号に○を付けてください。)
  - 1. 通信指導を提出し、単位認定試験を受験した。
  - 2. 通信指導を提出したが、単位認定試験は受験しなかった。
- 3. 通信指導を提出しなかった。
- Ⅳ. あなたご自身についてお答えください。(該当する番号にそれぞれ〇を付けてください。)

(1) 学生種別	[修士全科生 新プログラム所属の方] 1. 生活健康科学 2. 人間発達科学
	3. 臨床心理学 4. 社会経営科学 5. 文化情報学 6. 自然環境科学
	<b>〔修士全科生 旧プログラム所属の方〕</b> 7. 文化情報科学群 8. 環境システム科学群
	9. 政策経営 10. 教育開発 11. 臨床心理
	<b>〔修士選科生·修士科目生〕</b> 12. 修士選科生 13. 修士科目生
(2) 性別	1. 男性 2. 女性
(3) 年齢	1. 19歳以下 2. 20~29歳 3. 30~39歳 4. 40~49歳
	5. 50~59歳 6. 60~69歳 7. 70歳以上
(4) 職業	1. 公務員等 2. 教員 3. 会社員 4. 個人営業・自営業
	5. 農業等 6. 看護師等 7. 家事専業 8. パート・アルバイト
	9. 他大学等の学生 10. 無職 11. その他 ( )

どうもありがとうございました。

# Ⅱ. 評定尺度調査の分析結果

#### 【評定尺度調査の分析にあたって】

今回用いた評定尺度は、「あてはまる」「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」の4段階評価である。本報告書においては、データの理解のしやすさや分析のしやすさを考慮し、便宜的に4段階のカテゴリーに4~1の点数を振り、その平均値を算出することによって、データの代表値とした。ただし評定尺度の各カテゴリーに振られた「数字」を「数値」として加減乗除の演算をすることは、厳密に言えば統計処理として適切でない。3が2よりもあてはまる程度が大きいことは言えても、4と3の間と3と2の間が等距離(つまり1の間隔)だという保証はどこにもないからである。しかし4つのカテゴリーごとの相対度数(パーセント)を見て、そこから何らかの傾向を把握することは必ずしも容易ではないため、平均値を回答の傾向を推察するための目安の1つとして用いていくことにしたい。

また、ここでの平均値は何らかの単位を持つものではないので、データ同士の相対比較でしかその傾向をつかみにくいという性格を持っている。仮にある項目の平均値が、他の項目より低かったとしても、大部分の回答者がその項目に対して肯定的な評価をしていれば、その項目の評価は低いと簡単に断言できるものではないからである。つまり絶対的な評価が把握しにくいと言える。そこで、「あてはまる」もしくは「ややあてはまる」と回答した対象者の割合を同時に提示した。これによって、その評価項目に対して肯定的な評価をしている学生がどれくらいの割合で存在するかを推測する目安となろう。

さらに回答者の属性ごとの回答者数を提示しておく。本来ならば、グラフ等のデータごとに回答者数を示すべきであるが、データの構造上、全てのデータに回答者数を掲載すると非常に煩雑になるため、ここに一括して掲載することにした(次頁表 2 - 1)。以下、本章においては、常に次頁の回答者数を念頭においてデータを見る必要がある。特に回答者数の少ない層は誤差も大きく出る可能性があるので、注意が必要である。たとえば、学部の職業別「農業等」、大学院の年齢階層別「20~29歳」等の場合である。なお、学部の年齢階層別の「19歳以下」および大学院の職業別の「農業等」「他大学の学生」は、極端に回答者数が少ないため、本報告書の分析からはずした。

表 2 - 1 回答者数一覧

【学部】 【大学院】

全体	3836		(単位:人)	全体	1184		(単位:人)
メディア	メディア		層	メディア		年齢階層	
テレビ科目(TV)	1,927	19歳以下	16	テレビ科目(TV)	414	19歳以下	0
ラジオ科目(R)	1,909	20~29歳	314	ラジオ科目(R)	770	20~29歳	36
職業		30~39歳	614	職業		30~39歳	163
公務員等	283	40~49歳	790	公務員等	162	40~49歳	298
教員	216	50~59歳	709	教員	183	50~59歳	318
会社員	620	60~69歳	934	会社員	248	60~69歳	262
個人営業・自営業	204	70歳以上	440	個人営業·自営業	61	70歳以上	99
農業等	36	コース	ζ	農業等	12	プログラム	
看護師等	381	基礎科目	383	看護師等	71	生活健康科学	335
家事専業	379	生活と福祉	338	家事専業	53	人間発達科学	188
パート・アルバイト	376	心理と教育	371	パート・アルバイト	62	臨床心理学	41
他大学等の学生	53	社会と産業	782	他大学等の学生	6	社会経営科学	251
無職	1,024	人間と文化	974	無職	216	文化情報学	258
その他	233	自然と環境	613	その他	96	自然環境科学	111
		夏季集中	375				

<sup>※</sup>職業及び年齢には無回答があるため、職業及び年齢階層の回答者数をそれぞれ合計しても、全体の回答者数とは一致しない。

### Ⅱ-1. 学部の分析結果

#### Ⅱ-1-1. 項目平均から見た全体的傾向

学部の回答者全体について、評価項目の内容ごとにその平均を算出したのが図 2-1 である。まずこれによって評価の全体的傾向を把握しておくこととする。

今回の調査における項目平均は、いずれもまずまずの高さの評価と言える。

『学習への取組姿勢の項目平均』は平均値 3.22、肯定的評価(「あてはまる」+「ややあてはまる」)79%、同様に『授業評価に関わる項目平均』も平均値 3.22、肯定的評価 79%とまずまずの高い値を示している。比較的熱心に学習に取り組んだと同時に、授業に対する評価も比較的高いということが言える。

『授業評価に関わる項目平均』をさらに内容ごとにみると、『全体評価』と『通信指導・単位認定試験』が他の項目平均より若干高めになっており、特に『全体評価』は肯定的評価 83%と高い。逆に『放送授業』は肯定的評価をしている人が、他の項目平均よりやや少なくなっている。

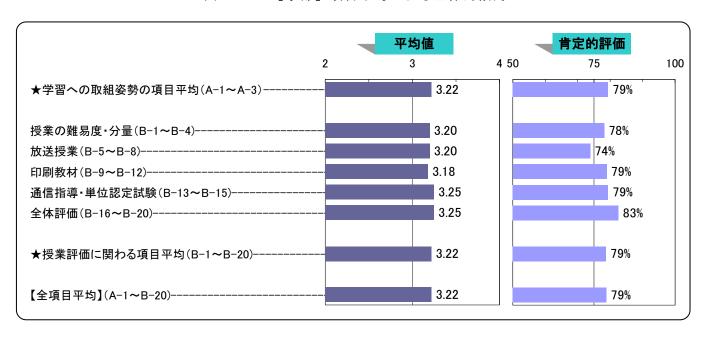


図2-1 【学部】項目平均による全体的傾向

評価項目平均を科目の開設年度で比較してみると(図2-2)、2009 年度新規開設科目は、2008 年度新規開設科目に比べ、いずれの内容でも評価が上がっている。特に『全体評価』の値が最も上がっている。2009 年度新規開設科目は、2008 年度新規開設科目に比べ授業内容改善の効果が出てきていると言えよう。(なお、今回の調査では調査項目の一部修正があったため、評価項目内容ごとの平均においては、2007 年度以前の新規開設科目との比較はできない)

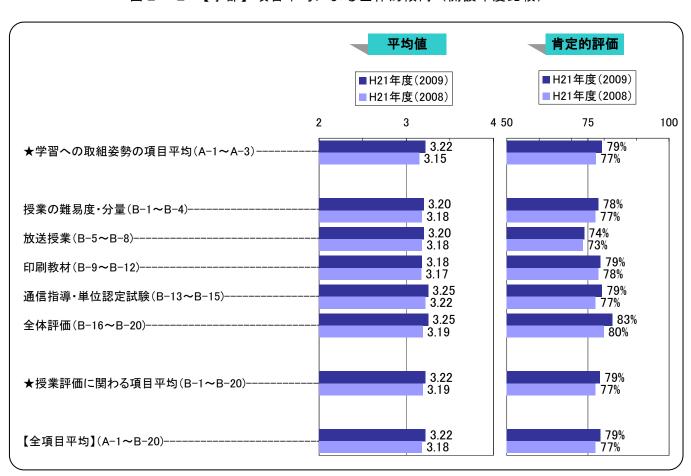


図2-2 【学部】項目平均による全体的傾向(開設年度比較)

メディア別に 2009 年度新規開設科目の評価項目の平均を見ると (図 2 - 3)、『学習への取組姿勢の項目平均』は、テレビ科目とラジオ科目で差は見られない。

一方、『授業評価に関わる項目平均』はラジオ科目の方が、値が高くなっている。特に 『通信指導・単位認定試験』と『全体評価』でラジオ科目の評価が高くなっている。 さ らに過去の調査で評価が低かったラジオ科目の『放送授業』も、テレビ科目と差がない レベルまで評価が上がってきており、改善の効果が現れてていると言えよう。

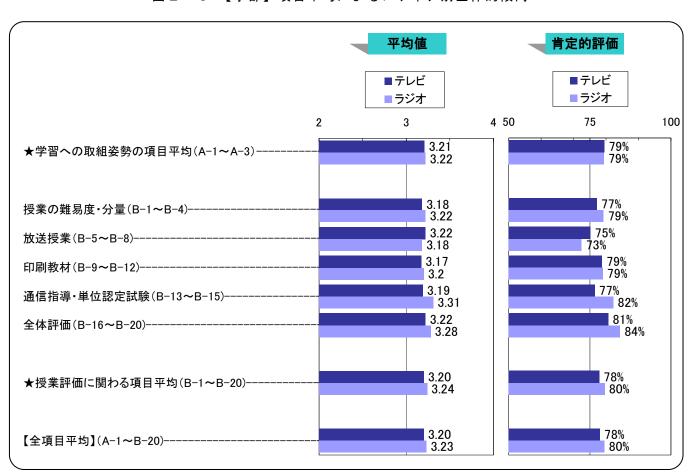


図2-3 【学部】項目平均によるメディア別全体的傾向

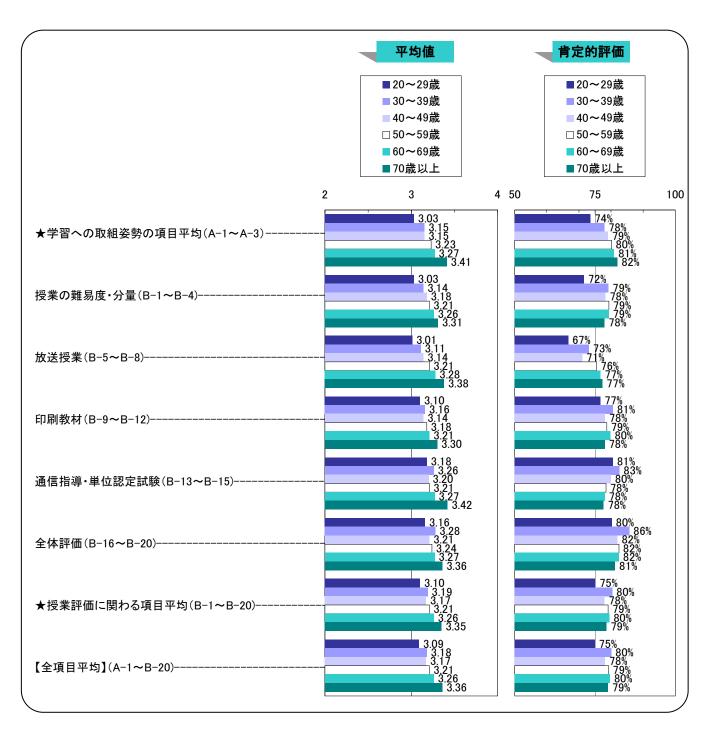
次にメディア別の項目平均を科目の開設年度で比較してみると(図2-4)、テレビ科目は2008年度と2009年度の差がほとんどなく、あまり改善の効果が現れていないのに対し、ラジオ科目は、いずれの項目平均でも2009年度の方が高い値となっている。このことから先に見た両年度間の改善の効果は、主にラジオ科目の改善の効果が大きいことが分かる。

図2-4 【学部】項目平均によるメディア別全体的傾向 (開設年度比較)



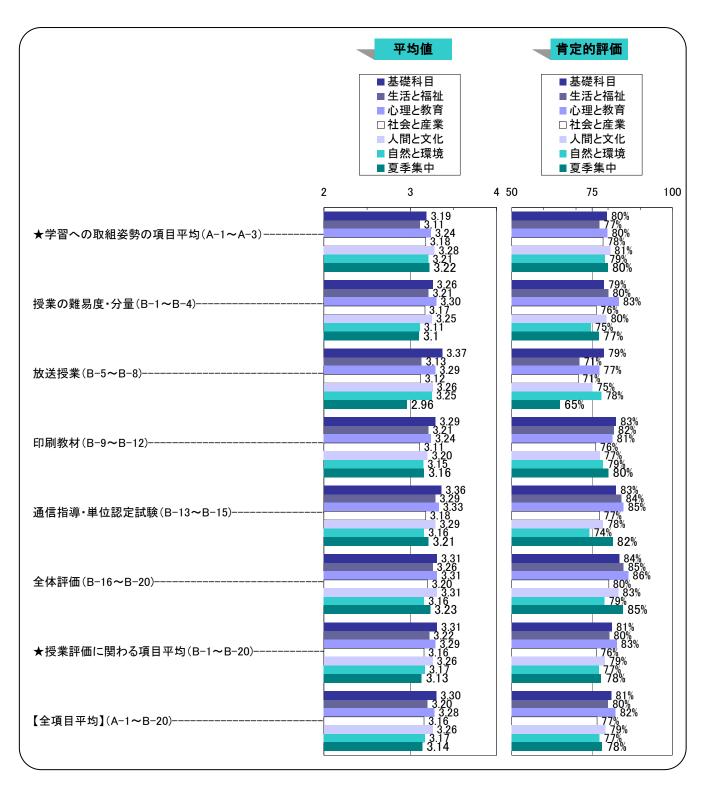
回答者の年齢階層別に 2009 年度新規開設科目の項目平均を見ると (図 2 - 5)、いずれの項目平均も年配層ほど評価が高くなる傾向にある。なお、取組姿勢では、平均値、肯定的評価とも年配層ほど高い評価となっているが、授業評価の項目平均では、平均値は年配層ほど評価が高いが、肯定的評価では年齢階層の差は少ない (これは評価がある程度高く、多くの人が「あてはまる」もしくは「ややあてはまる」と回答しているが、「あてはまる」の割合で年齢階層別の差が出ているためと思われる)。

図2-5 【学部】項目平均による年齢階層別全体的傾向



科目の所属コース別に項目平均を見ると(図2-6)、『学習への取組姿勢の項目平均』ではコース間の差は少ない。一方、『授業評価に関わる項目平均』では、「基礎科目」「生活と福祉」「心理と教育」「人間と文化」の評価がやや高く、「社会と産業」「自然と環境」「夏季集中」の評価がやや低い。また『放送授業』ではコース間の差が大きく、「生活と福祉」「社会と産業」「夏季集中」の評価が低く、改善が求められる。

図2-6 【学部】項目平均による所属コース別全体的傾向



回答者の職業別に見ると(次頁図2-7)、『学習への取組姿勢の項目平均』は、教員、家事専業、無職の人で高い値となっているが、逆に看護師等は低い値となっている。『授業評価に関わる項目平均』もほぼ同様の結果となっており、取組姿勢に対応した結果となっている。

図2-7 【学部】項目平均による職業別全体的傾向



ここからはそれぞれ評価項目ごとに調査結果を見ていく。

学習への取組姿勢(図 2 - 8)では、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ (熱心度)」は、平均値 3.33、肯定的評価 85%と熱心に学習されている。同様に (A-3)「印刷教材を熱心に学習した」も平均値 3.38、肯定的評価 87%と高い。しかしこれらに比べると、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は、平均値 2.94、肯定的評価 66%と低く、学習は印刷教材中心という傾向が見られる。

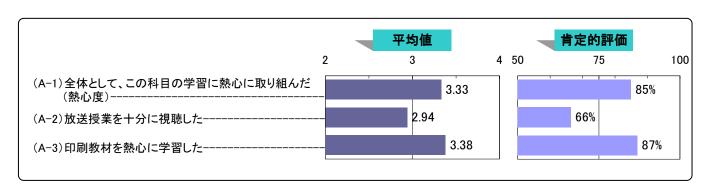
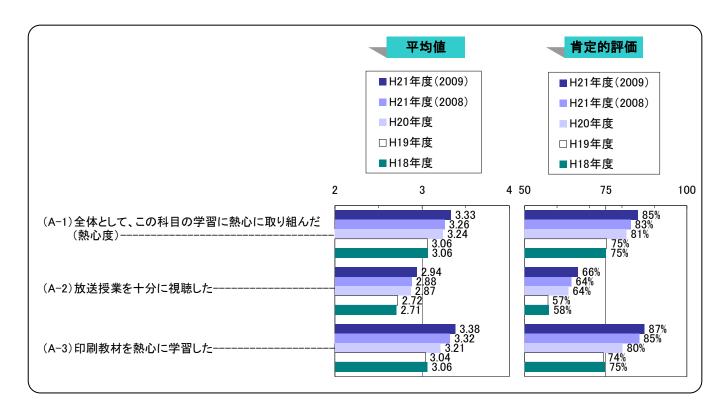


図2-8 【学部】回答者全体の取組姿勢

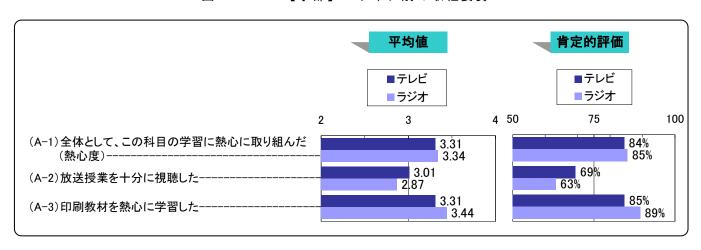
取組姿勢を時系列で見ると(次頁図2-9)、年ごとに取組姿勢が良くなっていることが分かる。これは単に学生の意識が高まっただけでなく、授業内容や教材が改善され、分かりやすく興味や関心がもてる科目が増えていることが大きく関係していると考えられる(取組姿勢と授業評価の関係については後述)。そのため取組姿勢があまり良くない放送授業についても、さらなる授業内容の改善に注力することによって取組姿勢も向上するものと考えられる。また、インターネットなどでの番組提供を増やすことによって、時間に制約されない視聴環境を作っていくことも必要であろう。

図2-9 【学部】回答者全体の取組姿勢 (時系列)



次にメディア別に取組姿勢を見ると(図 2 - 1 0)、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)」は、テレビ科目とラジオ科目で大きな差はない。しかし(A-2)「放送授業を十分に視聴した」という学生は、テレビ科目の方が多く、(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」という人は、ラジオ科目の方が多くなっている。ラジオ科目は、特に印刷教材を中心に学習している学生が多いことが分かる。

図2-10 【学部】メディア別の取組姿勢



メディア別の取組姿勢を時系列で見ると(図 2-1 1)、テレビ科目、ラジオ科目とも年々取組姿勢が良くなっている。特にラジオ科目の(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)」と(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」の改善度合いが最も大きい。一方、テレビ科目の(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は、平成 20 年度調査(2007 年新規開設科目)以降、ほとんど改善されていない。

テレビ 平均值 肯定的評価 ■H21年度(2009) ■H21年度(2009) ■H21年度(2008) ■H21年度(2008) ■H20年度 ■H20年度 □H19年度 □H19年度 ■H18年度 ■H18年度 2 4 50 75 100 (A-1)全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ (熱心度) (A-2)放送授業を十分に視聴した-(A-3)印刷教材を熱心に学習した-3.01 73% ラジオ 平均值 肯定的評価 ■H21年度(2009) ■H21年度(2009) ■H21年度(2008) ■H21年度(2008) ■H20年度 ■H20年度 □H19年度 □H19年度 ■H18年度 ■H18年度 4 50 100

図2-11 【学部】メディア別の取組姿勢(時系列)

80% 72% 80%

(A-1)全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ

(熱心度)-

(A-2)放送授業を十分に視聴した-

(A-3)印刷教材を熱心に学習した-

年齢階層別に取組姿勢を見ると(図 2-1 2)、(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」はどの年齢階層も多くなっているが、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は年配層ほど多くなっている。放送授業については、50 歳未満の視聴が少なく、若い年代での視聴を増やす工夫が必要であろう。

(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)」はやや年配層の方が多い。

平均値 肯定的評価 ■20~29歳 ■20~29歳 30~39歳 ■30~39歳 ■40~49歳 ■40~49歳 □50~59歳 □50~59歳 ■60~69歳 ■60~69歳 ■70歳以上 ■70歳以上 4 50 3 75 100 (A-1)全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ (熱心度)-54% 59% 64% 70 (A-2)放送授業を十分に視聴した-(A-3)印刷教材を熱心に学習した-

図2-12 【学部】年齢階層別の取組姿勢

所属専攻別に取組姿勢を見ると(図 2 - 1 3)、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は、「基礎科目」「自然と環境」でやや多くなっているが、他の科目は少ない。特に「生活と福祉」「夏季集中」の視聴度合いがよくない。そのかわり「夏季集中」は (A-3)「印刷教材を熱心に学習した」が非常に多く、印刷教材中心の学習者が多い。

(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)」は、コースによる 差は少なく、いずれのコースも高い値となっている。

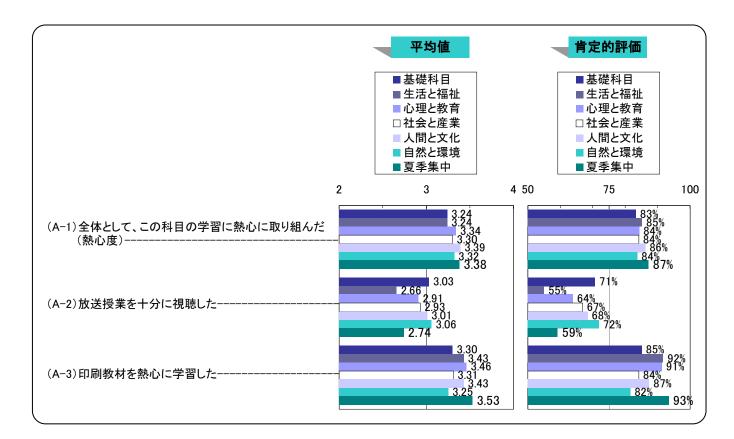


図2-13【学部】所属コース別の取組姿勢

職業別で見ると(次頁図 2-14)、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)」および(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」は、どの職業も高い値を示している。

しかし (A-2)「放送授業を十分に視聴した」は、看護師等が非常に少なく、教員、家事専業、無職以外の人もあまり視聴していない。

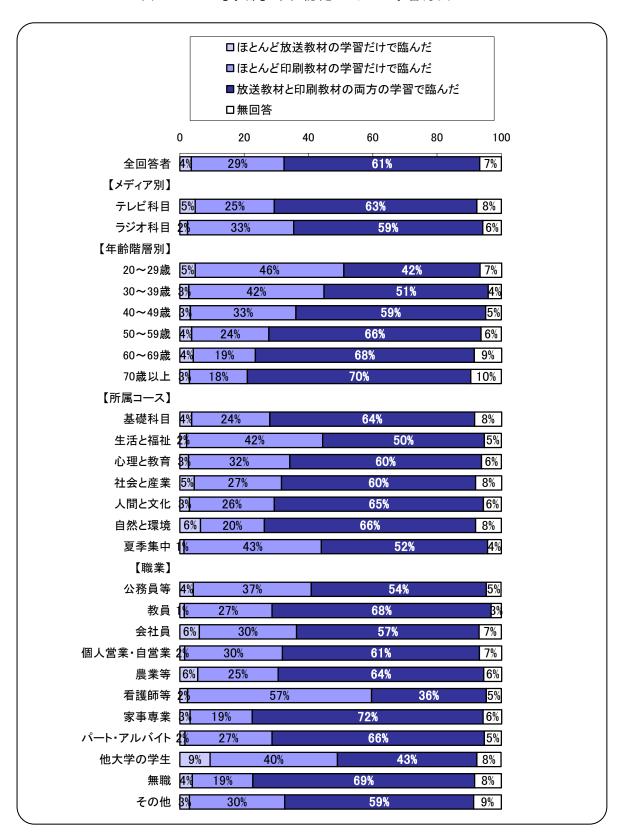
学生の取組姿勢は、本人の意識の高さや関心度、仕事や日常生活の時間的制約の程度、 さらに科目(授業や印刷教材)の出来栄えなどによって左右されていると考えられる。

図2-14【学部】職業別の取組姿勢



単位認定のための学習方法(図 2 - 1 5)は、全体では「放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ」が 61%を占め、また「ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ」も 29% を占める。「放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ」は、年齢階層別では年配層ほど 多くなっているが、職業別の看護師等と他大学等の学生では少なくなっている。

図2-15【学部】単位認定のための学習方法



# (1) 全体評価

ここからは学部の授業評価について、評価項目ごとに見ていくこととする。

まず全体評価の各項目を見ると(図2-16)、(B-18)「新しい知識が身につき視野が広がった」は平均値3.43、肯定的評価89%とかなり高い評価を得ている。また(B-17)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」も平均値3.29、肯定的評価83%と高くなっている。

さらに(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」は平均値 3.11、 肯定的評価 79%、(B-20)「この科目の内容には全体として満足している (満足度)」も 平均値 3.23、肯定的評価 81%と、比較的高い評価と言える。ただ満足度に比べると理解 度がやや低いため、興味や関心の高まる授業だけでなく、分かりやすい授業をさらに心 がけるべきであろう。

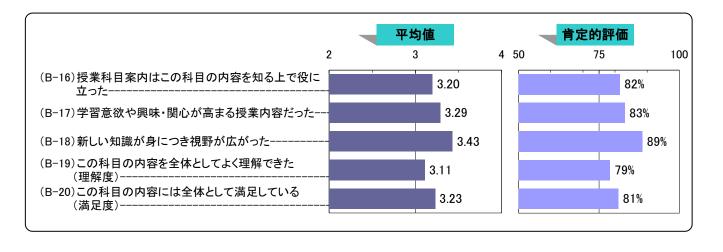
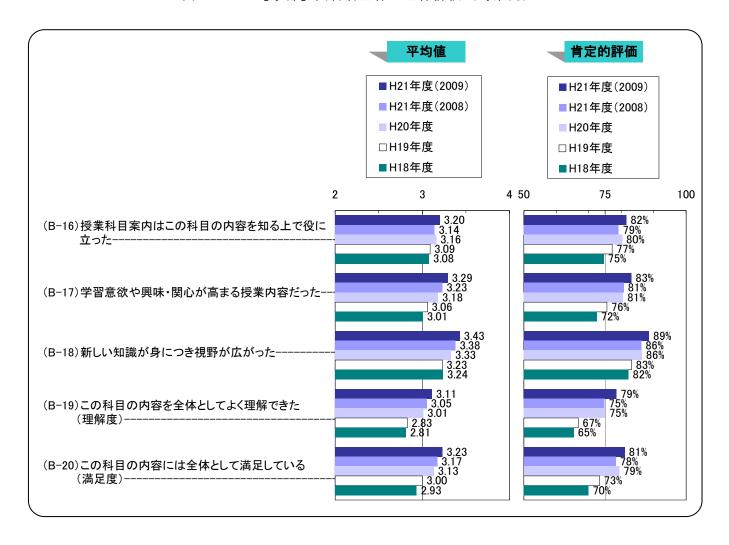


図2-16【学部】回答者全体の全体評価

全体評価を時系列で見ると(図2-17)、いずれも年々評価が上がっており、授業改善の効果が出ていると言えよう。また、科目の総合評価とも言うべき理解度と満足度も年々向上しているが、今後、さらに向上させていく必要があろう。

図2-17【学部】回答者全体の全体評価 (時系列)



メディア別に全体評価を見ると(図 2-1 8)、(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」と (B-20)「この科目の内容には全体として満足している(満足度)」は、テレビ科目よりラジオ科目の方が高くなっている。テレビ科目は映像という特性を生かし、さらに理解度を高める工夫が求められる。

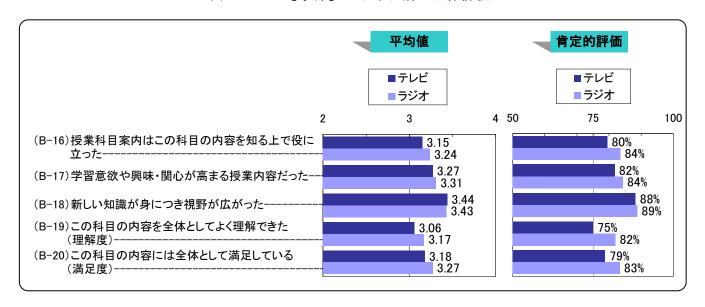
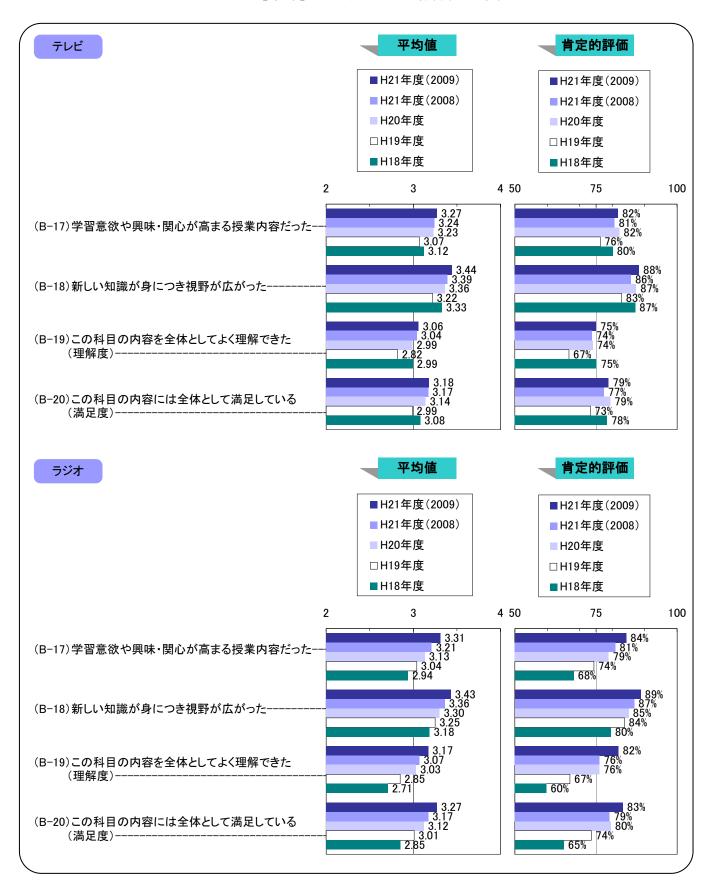


図2-18【学部】メディア別の全体評価

メディア別の全体評価を時系列で見ると(次頁図2-19)、テレビ科目はいずれの評価も年々高くなってはいるが、その変化はわずかである。(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」などは、ほとんど変化がないと言ってもよい。

一方、ラジオ科目はいずれの評価項目も年々確実に高くなっている。もともとラジオ科目は全体評価が低く、平成 18 年度時点では、いずれの評価もテレビ科目より低くなっている。しかし今年度調査(2009 年度新規開設科目)では、理解度、満足度において逆転し、テレビ科目より高い評価を得ている。テレビ科目においてもさらなる工夫が求められるところである。

図2-19【学部】メディア別の全体評価(時系列)



年齢階層別に全体評価を見ると(図 2-20)、(B-17)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」、(B-18)「新しい知識が身につき視野が広がった」、(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」、(B-20)「この科目の内容には全体として満足している(満足度)」は、平均値では年配層ほど評価がやや高くなっている。一方、肯定的評価では 30 歳代がやや高く、20 歳代が相対的に評価が低い。

平均値 肯定的評価 ■20~29歳 ■20~29歳 ■30~39歳 ■30~39歳 ■40~49歳 ■40~49歳 □50~59歳 □50~59歳 ■60~69歳 ■60~69歳 ■70歳以上 ■70歳以上 4 50 75 100 (B-16)授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に 立った-(B-17)学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった-(B-18)新しい知識が身につき視野が広がった-(B-19)この科目の内容を全体としてよく理解できた (理解度)-(B-20)この科目の内容には全体として満足している (満足度)-

図2-20【学部】年齢階層別の全体評価

所属コース別に全体評価を見ると(図 2-21)、(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」は、「自然と環境」が低く、理解度の向上に努めるべきであろう。

(B-20)「この科目の内容には全体として満足している(満足度)」は、「基礎科目」「心理と教育」「夏季集中」の評価が高い。

(B-17)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」と (B-18)「新しい知識が身につき視野が広がった」は、いずれのコースも評価が高くなっている。

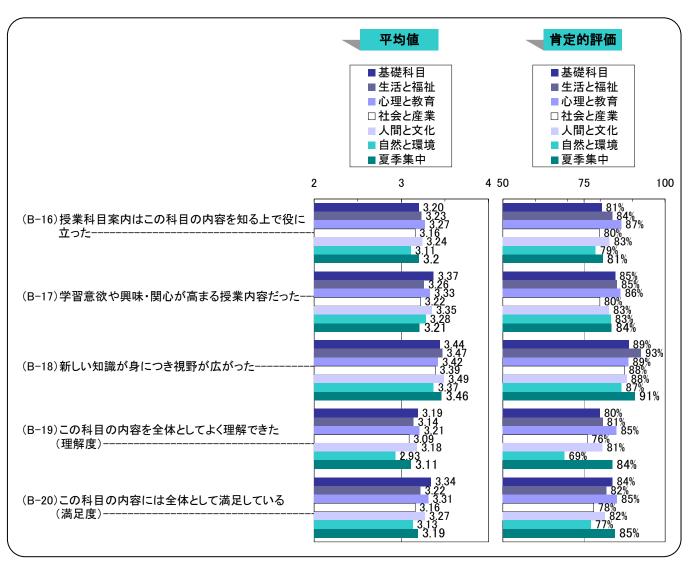
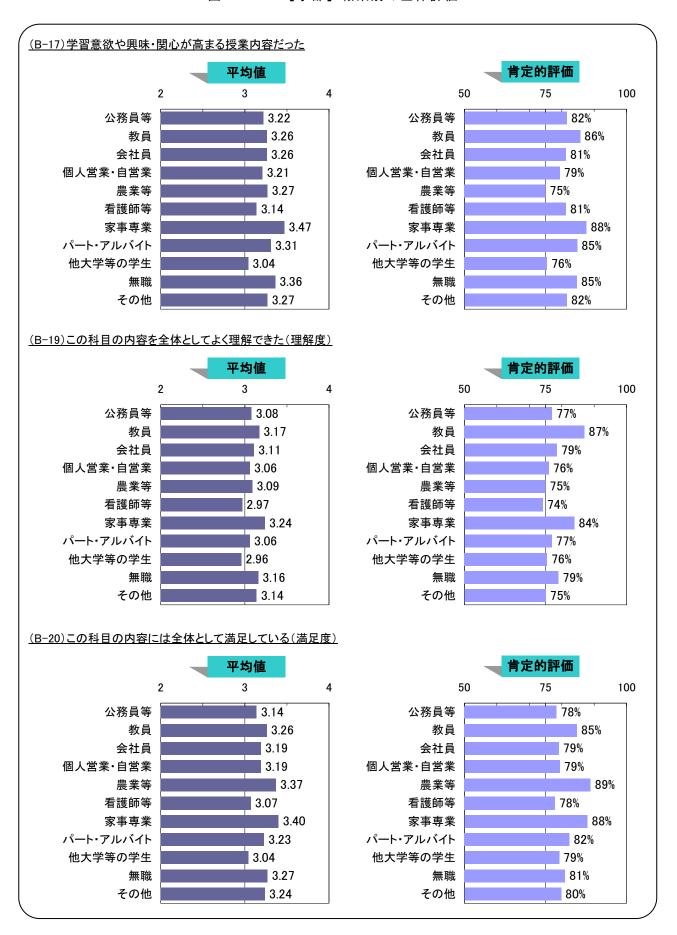


図2-21【学部】所属コース別の全体評価

職業別に全体評価を見ると(次頁図2-22)、(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」は、教員、家事専業の評価が高く、(B-20)「この科目の内容には全体として満足している(満足度)」も、教員、家事専業、農業等で評価が高くなっている。取組姿勢のよくない看護師等や他大学等の学生も理解度と満足度は比較的高くなっている。

#### 図2-22【学部】職業別の全体評価



### (2)授業の難易度・分量

次に授業の難易度・分量について、評価項目ごとに見ていく。

難易度・分量については(図2-23)、放送授業・印刷教材とも比較的高い評価となっている。特に印刷教材については、難易度・分量とも肯定的評価の割合が高い。今後は放送授業の難易度と分量についてさらに改善すべきであろう。

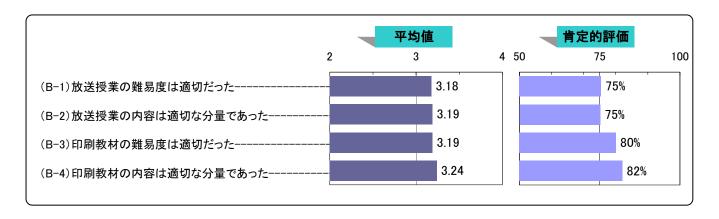


図2-23【学部】回答者全体の授業難易度・分量の評価

授業の難易度・分量を開設年度で比較すると(図2-24)、ほとんど変化はないものの、2009年度新規開設科目は、2008年度新規開設科目に比べ、いずれの評価項目においても、若干評価が上がっている。

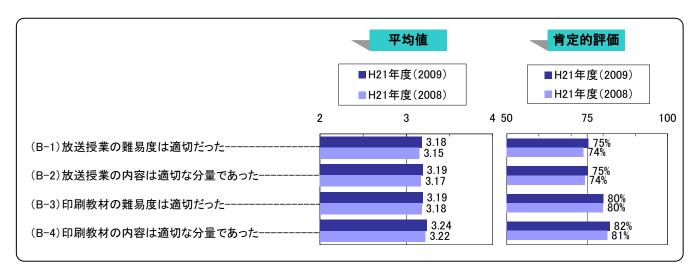


図2-24【学部】回答者全体の授業難易度・分量の評価(開設年度比較)

メディア別に授業の難易度・分量を見ると(図 2-25)、放送授業は難易度・分量ともほとんど差がない。

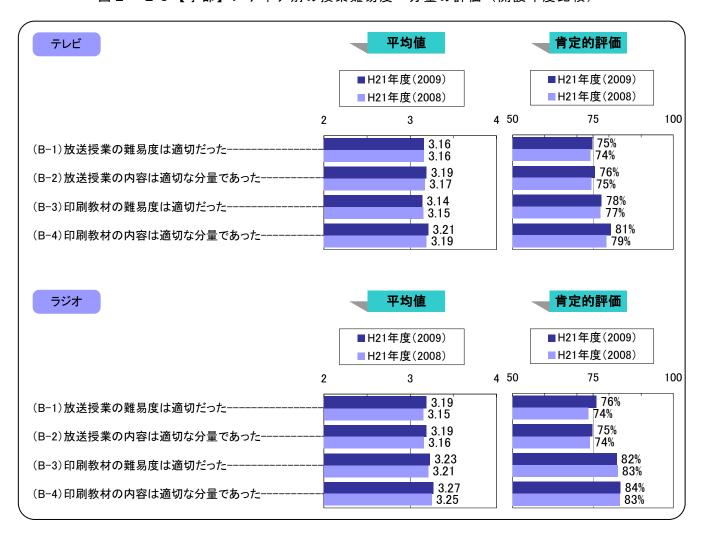
一方、印刷教材については、難易度・分量ともラジオ科目の方が、やや評価が高くなっている。テレビ科目についても、印刷教材の分かりやすさや分量を工夫する必要があろう。

平均值 肯定的評価 ■テレビ ■テレビ ■ラジオ ■ラジオ 4 50 75 100 2 3 75% 76% 3.16 3.19 (B-1)放送授業の難易度は適切だった---76% 3.19 (B-2)放送授業の内容は適切な分量であった-3.19 75% 78% 82% 3.14 3.23 (B-3)印刷教材の難易度は適切だった----3.21 81% (B-4)印刷教材の内容は適切な分量であった-84%

図2-25【学部】メディア別の授業難易度・分量の評価

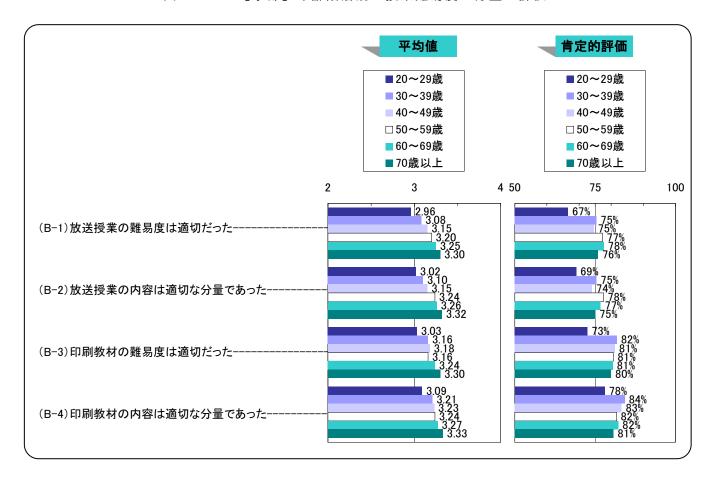
メディア別の授業の難易度・分量を開設年度で比較すると(図 2 - 2 6)、テレビ科目、 ラジオ科目とも大きな変化は見られないが、2009 年度新規開設科目は、2008 年度新規開 設科目に比べ、若干評価が向上している。特にラジオ科目の方が評価が上がっており、 (B-1)「放送授業の難易度は適切だった」、(B-2)「放送授業の内容は適切な分量であっ た」など、放送授業での改善が見られる。

図2-26【学部】メディア別の授業難易度・分量の評価 (開設年度比較)



年齢階層別に授業の難易度・分量を見ると(図2-27)、放送授業・印刷教材の難易度・分量とも、平均値では年配層ほど評価が高くなっている。肯定的評価では20歳代の評価が低いが、30歳代以上ではあまり大きな差は見られない。

図2-27【学部】年齢階層別の授業難易度・分量の評価



所属コース別に授業の難易度・分量を見ると(図2-28)、放送授業の難易度と分量は、「基礎科目」「心理と教育」「人間と文化」で評価が高くなっている。

一方、印刷教材の難易度は、「自然と環境」「社会と産業」の評価が低く、他のコース は評価が高い。印刷教材の分量は「生活と福祉」「心理と教育」の評価が高くなっている。

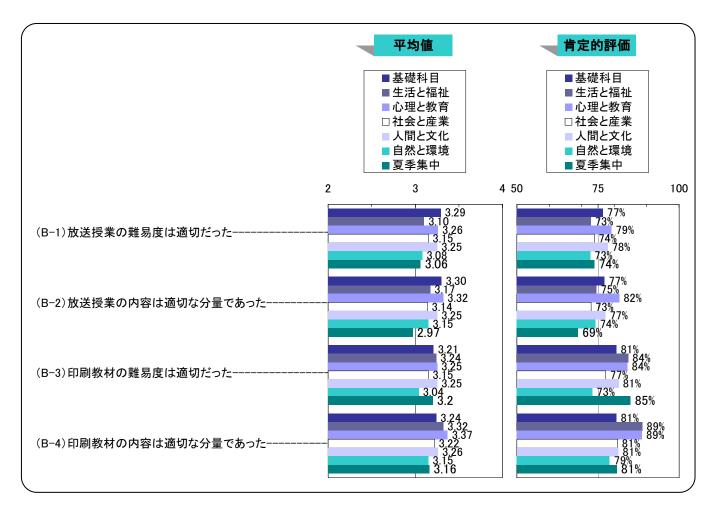
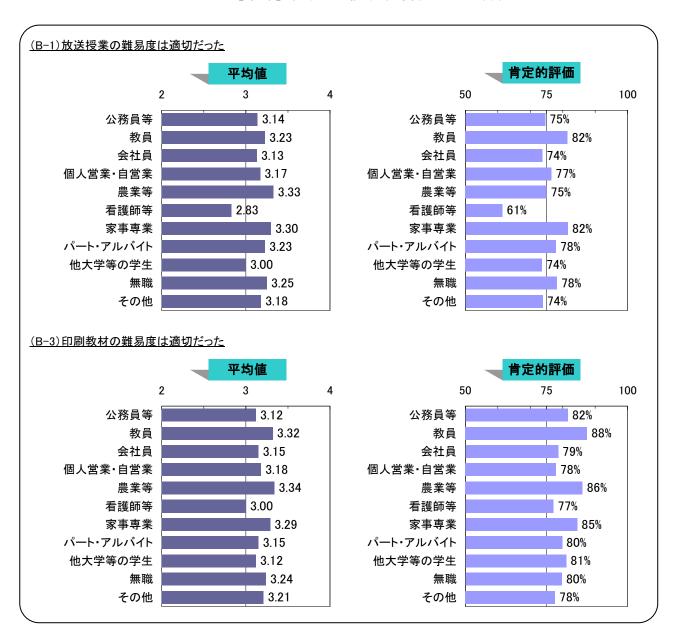


図2-28【学部】所属コース別の授業難易度・分量の評価

職業別に授業の難易度を見ると(図2-29)、放送授業の難易度は、取組姿勢のよくない看護師等で評価が低くなっているが、逆に教員や家事専業の評価は高い。印刷教材の難易度は、教員、農業等、家事専業の評価が高くなっている。

授業の難易度は、科目の内容的な難易度、授業方法、さらに学生の取組姿勢、学習意欲などと関連していると考えられるが、これらが相互に影響しつつ、難易度の評価が形成されていると見るのが妥当であろう。したがって、授業方法を工夫することによって、難易度の評価をあげる効果は高いと考えられ、今後も改善に注力すべきであろう。

図2-29【学部】職業別の授業難易度・分量の評価



### (3) 放送授業

ここからは放送授業について、評価項目ごとに見ていく。

放送授業に関する評価項目で最も評価が高いのは(図 2-30)、(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」であり、平均値 3.32、肯定的評価 78%となっている。しかし、放送授業の総合評価でもある(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」は、平均値 3.17、肯定的評価 72%と特に高いわけではない。講師の説明や熱意は比較的評価が高いものの、総合評価はそれほど高くなっていない。なお、(B-8)「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた/【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」も、平均値 3.12、肯定的評価 71%にとどまっている。

平均値 肯定的評価 2 3 4 50 75 100 3.19 75% (B-5)講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった-3.32 78% (B-6)講師の熱意が十分に伝わった---72% 3.17 (B-7)放送授業は教材としてよくできていると感じた-(B-8)【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた 3.12 71% 【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた-

図2-30【学部】回答者全体の放送授業の評価

放送授業の評価を時系列で見ると(図2-31)、いずれの評価項目も年々評価が向上している。特に (B-5) 「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」と (B-8) 「TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた/T 限】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」は、過去5 年間で評価が大きく向上しており、講師の説明方法や映像の特性を生かした授業、映像がなくても理解できる説明方法などの改善効果があったものと言えよう。

ただ (B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」、(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」、(B-8)「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた/【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」の肯定的評価は、平成 20 年度調査(2007年度新規開設科目)以降、あまり伸びていないため、さらに改善を工夫する必要があろう。

平均値 肯定的評価 ■H21年度(2009) ■H21年度(2009) ■H21年度(2008) ■H21年度(2008) ■H20年度 ■H20年度 □H19年度 □H19年度 ■H18年度 ■H18年度 3 4 50 75 100 2 (B-5)講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった-2.97 2.90 2.80 62% (B-6)講師の熱意が十分に伝わった-699 3.01 (B-7)放送授業は教材としてよくできていると感じた-69 66%

2.72

∃66%

(B-8)【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた 【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた--

図2-31【学部】回答者全体の放送授業の評価 (時系列)

メディア別に放送授業の評価を見ると(図2-32)、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」、(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」、(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」の評価は、テレビ科目とラジオ科目であまり差はない。

しかしラジオ科目の(B-8)「【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」の評価が低く、さらなる工夫が求められる。

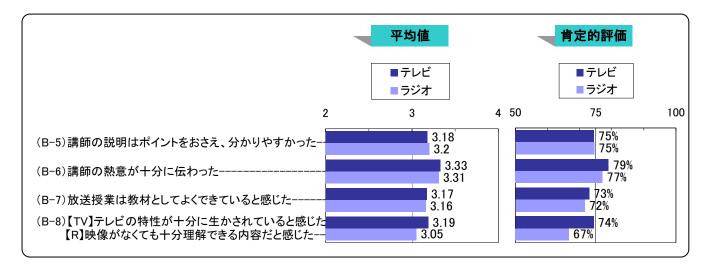
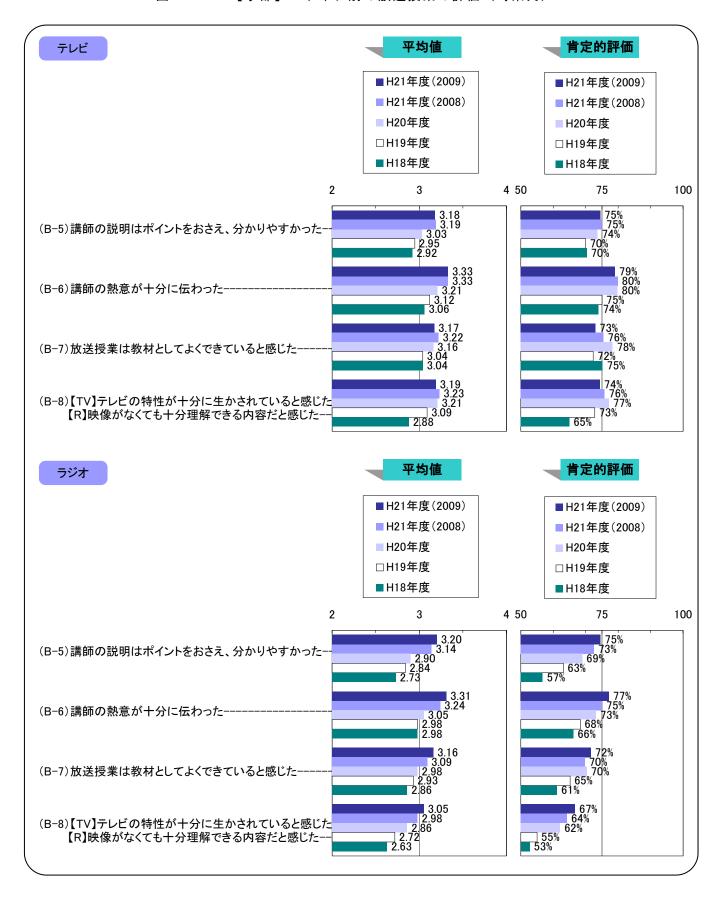


図2-32【学部】メディア別の放送授業の評価

また、メディア別の放送授業の評価を時系列で見ると(次頁図2-33)、テレビ科目では、いずれの項目も平成20年度調査(2007年新規開設科目)までは、年々評価が上がってきていたが、それ以降はあまり向上していない。特に(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」いう総合評価や、(B-8)「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた」は、評価が下がりつつあり、今後改善に注力する必要がある。

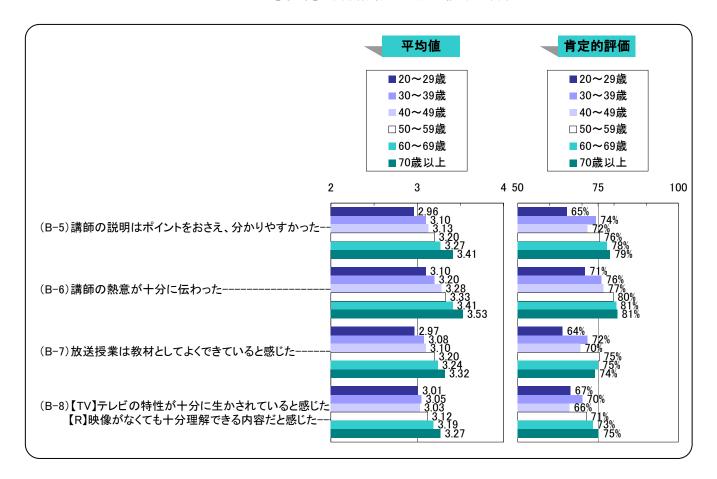
一方、ラジオ科目は、いずれの項目も年々評価が上がっている。

図2-33【学部】メディア別の放送授業の評価 (時系列)



年齢階層別に放送授業の評価を見ると(図2-34)、いずれの項目も、年配層ほど評価が高くなっており、20歳代の評価は、依然として低い状態のままである。

図2-34【学部】年齢階層別の放送授業の評価



所属コース別に放送授業の評価を見ると (図2-35)、各項目とも「基礎科目」「心 理と教育」「人間と文化」「自然と環境」の評価が比較的高く、「基礎科目」の評価が低い。

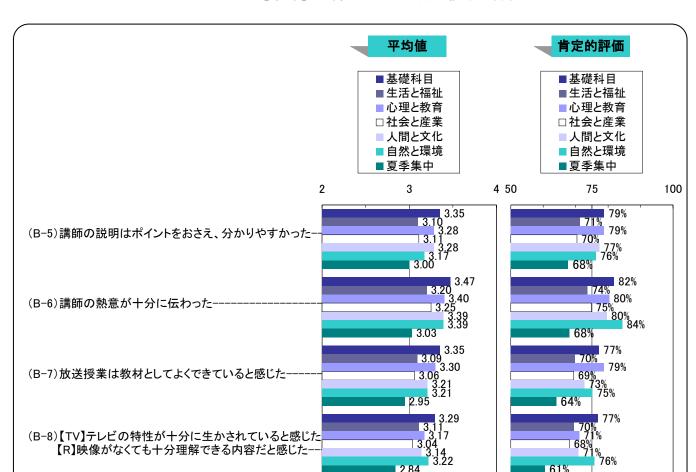
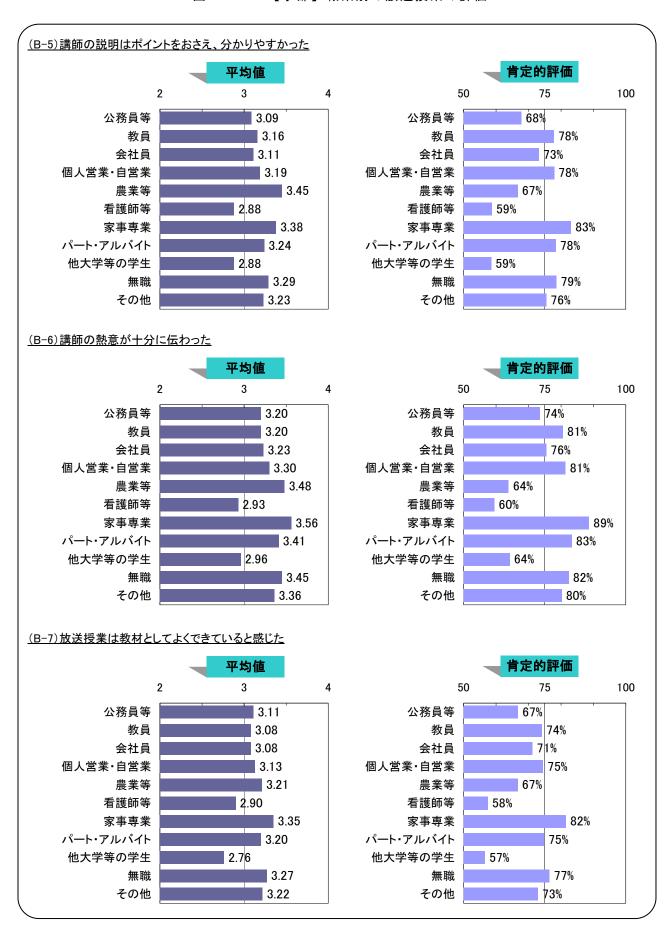


図2-35【学部】所属コース別の放送授業の評価

職業別に放送授業の評価を見ると(次頁図2-36)、教員、個人営業・自営業、家事 専業、パート・アルバイト、無職などの評価が高く、看護師等、他大学等の学生の評価 が低くなっている。

2.84

図2-36【学部】職業別の放送授業の評価



### (4) 印刷教材

ここからは印刷教材について、評価項目ごとに見ていく。

印刷教材の評価項目では(図 2-37)、印刷教材の総合評価とも言うべき (B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」が平均値 3.23、肯定的評価 82% と高い評価となっている。また (B-9)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」と (B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」も高い評価であるが、 (B-11)「図表や写真などが適切に用いられ内容の理解に役立った」は他の項目に比べるとやや評価が低い。さらに図表や写真などを有効に取り入れ、理解しやすい教材を目指すべきであろう

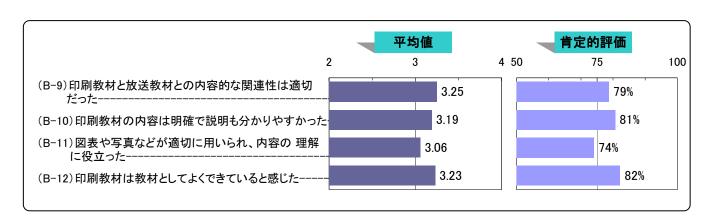
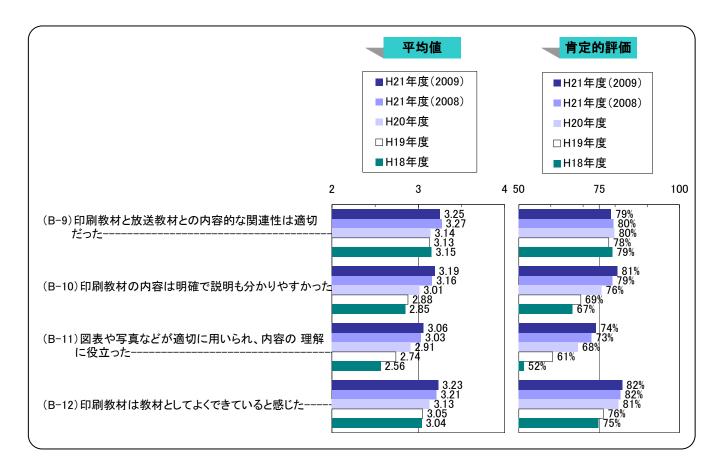


図2-37【学部】回答者全体の印刷教材の評価

印刷教材の評価を時系列で見ると(次頁図 2-38)、(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」と (B-11)「図表や写真などが適切に用いられ内容の理解に役立った」は、年々評価が高まっており、改善の効果が現れてている。そのため総合評価の (B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」も徐々に評価が上がっている。しかし (B-9)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」は、もともと評価が高かったこともあり、評価はあまり変化していない。

図2-38【学部】回答者全体の印刷教材の評価 (時系列)



印刷教材の評価をメディア別に見ると(図 2-39)、総合評価の(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」および (B-9)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」、(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」は、テレビ科目よりラジオ科目の方が、評価が高くなっている。逆に (B-11)「図表や写真などが適切に用いられ内容の理解に役立った」は、ラジオ科目の評価が低くなっている。ラジオ科目は、放送授業を補完するためにも、さらに多くの図表や写真を有効活用していく必要があろう。またテレビ科目は、印刷教材の分かりやすさを、さらに研究していくことが大切である。

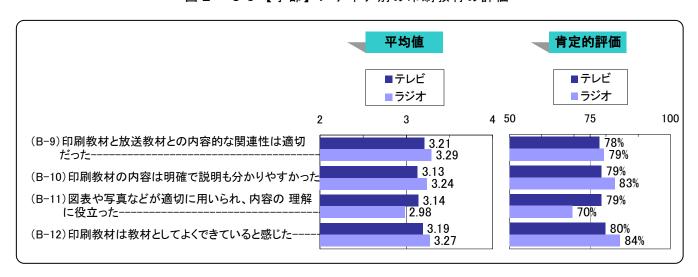
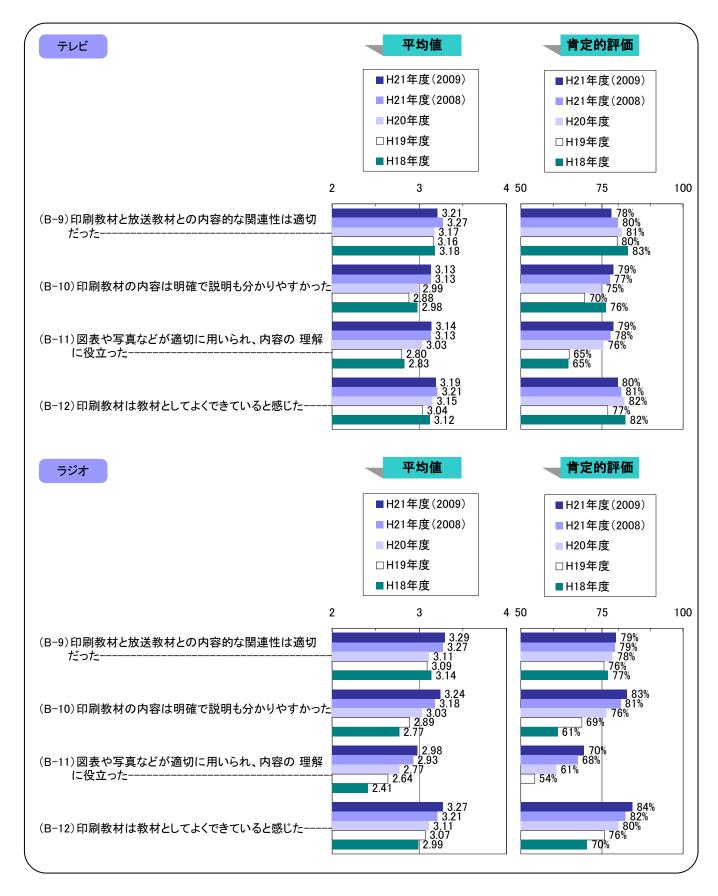


図2-39【学部】メディア別の印刷教材の評価

メディア別の印刷教材の評価を時系列で見ると(次頁図 2-40)、テレビ科目では、 (B-11)「図表や写真などが適切に用いられ内容の理解に役立った」の評価が年々向上しているが、総合評価の (B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」はあまり変化がなく、評価は改善されていない。(B-9)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」と (B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」についても同様である。

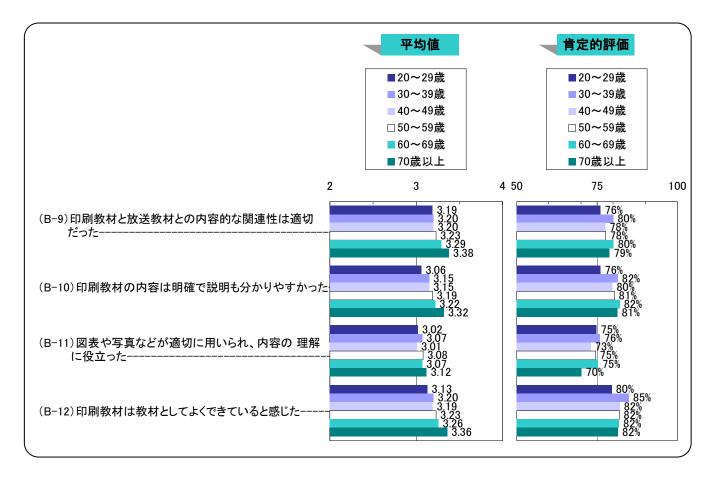
一方、ラジオ科目はいずれの項目も年々評価が高まっており、改善の効果が出ていると言える。とはいえ、(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ内容の理解に役立った」はまだまだ評価が低い状態にあり、さらなる改善が求められる。

図2-40【学部】メディア別の印刷教材の評価 (時系列)



年齢階層別に印刷教材の評価を見ると(図2-41)、いずれの評価項目も、平均値では年配層ほど評価がやや高くなっている。肯定的評価では年齢階層間の差は少ない。

図2-41【学部】年齢階層別の印刷教材の評価



所属コース別に印刷教材の評価を見ると(図 2 - 4 2)、総合評価の(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」は、「基礎科目」「生活と福祉」「心理と教育」「夏季集中」などの評価が高く、「自然と環境」「社会と産業」が他のコースに比べやや低い。「人間と文化」は、(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ内容の理解に役立った」の評価が低く、改善が求められる。

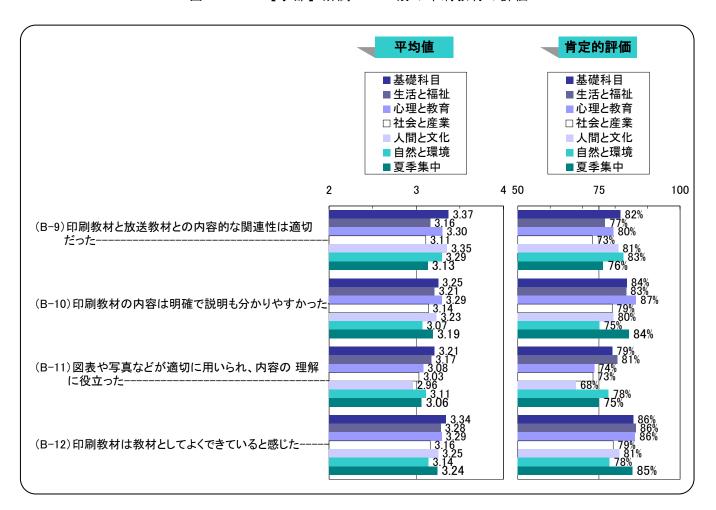
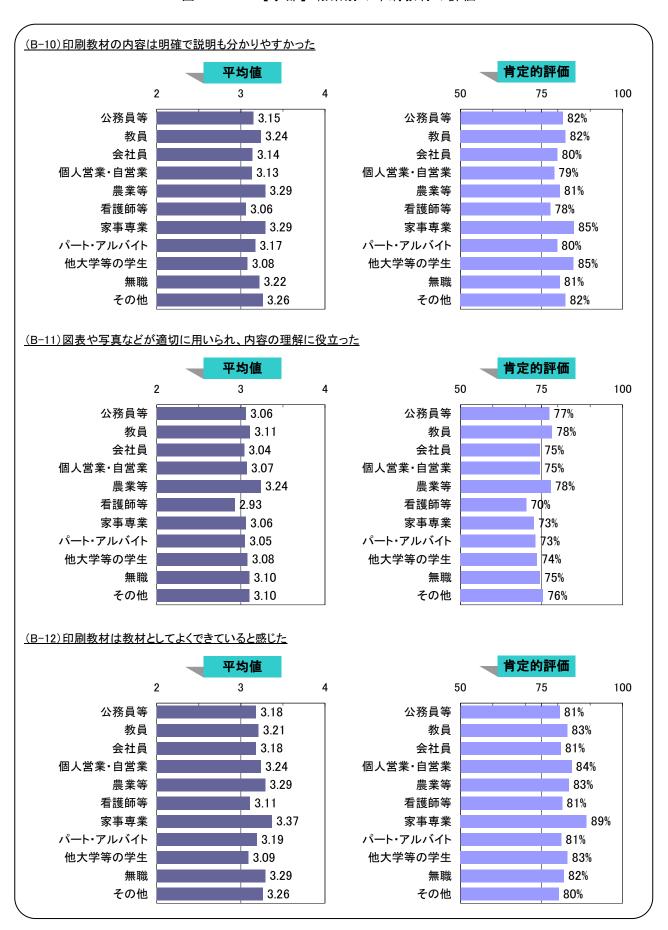


図2-42【学部】所属コース別の印刷教材の評価

職業別に印刷教材の評価を見ると(次頁図2-43)、印刷教材の評価に関しては職業間の評価差が比較的小さい。総合評価の(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」は、どの職業でも評価が高いが、特に家事専業の評価が高くなっている。

図2-43【学部】職業別の印刷教材の評価



## (5) 通信指導・単位認定試験

最後に通信指導・単位認定試験の評価について、項目ごとに見ていく。

通信指導については(図 2-44)、(B-13)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」が平均値 3.29、肯定的評価 82%、(B-14)「通信指導は学習内容の理解に役立った」が平均値 3.32、肯定的評価 83%と、いずれも高い評価を得ている。

単位認定試験についても、(B-15)「単位認定試験の問題は科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった」が平均値 3.14、肯定的評価 74%と比較的評価が高くなっている。

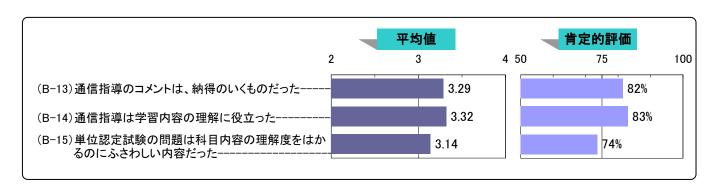


図2-44【学部】回答者全体の通信指導・単位認定試験の評価

通信指導・単位認定試験の評価を時系列で見ると(図2-45)、いずれの評価項目も 年々評価が上がっており、改善の効果が現れてている。

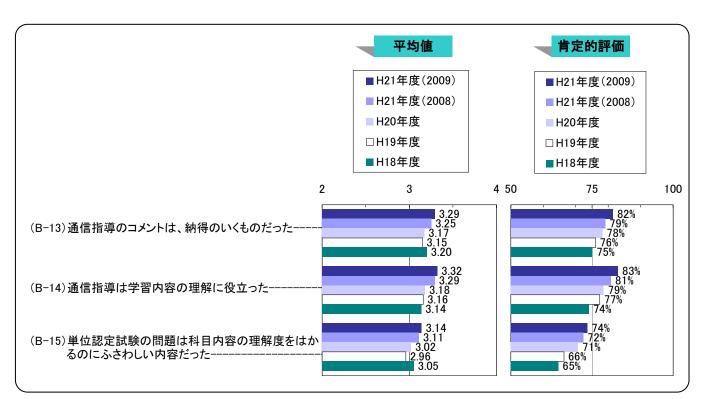
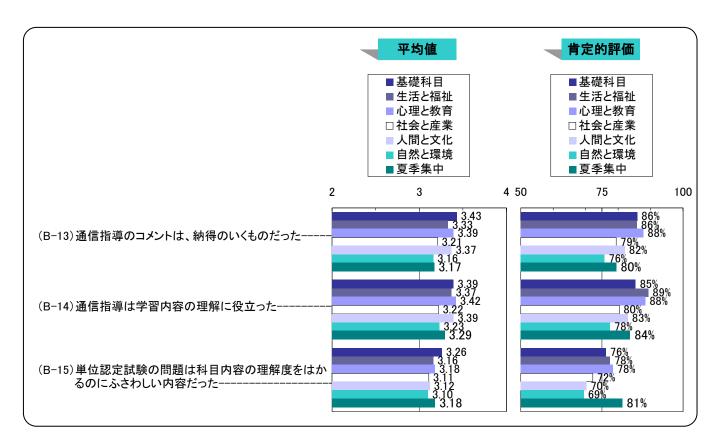


図2-45【学部】回答者全体の通信指導・単位認定試験の評価(時系列)

所属コース別に通信指導・単位認定試験の評価を見ると(図2-46)、通指指導の(B-13)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」と(B-14)「通信指導は学習内容の理解に役立った」については、「基礎科目」「生活と福祉」「心理と教育」「人間と文化などの評価が高く、「社会と産業」「自然と環境」は他のコースより低くなっている。

単位認定試験の(B-15)「単位認定試験の問題は科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった」については、評価差は少ないものの、「基礎科目」や「夏季集中」の評価が他のコースより高い。「自然と環境」「人間と文化」「社会と産業」の評価は低く、単位認定試験について改善が求められる。

図2-46【学部】所属コース別の通信指導・単位認定試験の評価



ここでは評価項目間の相関を見ることによって、より深く授業改善の糸口を探っていくことにする。分析には主にピアソンの単相関係数(以下、相関係数)を用いた。相関係数は 1.0 から-1.0 までの値をとり、二つの変数間の変化のいわば「足並み」を示す指標である。それらが共変する場合(つまり片方の値が高ければもう一方も高く、低ければ低いという場合)は 1.0 に近づき、逆の変化をする場合は-1.0 に近づく。両者の変化に関係性がない場合は 0 に近づく。ただし、相関係数による分析では、変数間の共変関係は分かっても、因果関係(つまりどちらが原因となる変数で、どちらが結果かということ)は分からないのが普通である。以下の分析ではそのことを十分留意していただきたい。ただ、総合的な評価は個別の評価を考慮し、総合してなされるであろうことは想像に難くない。そのことを前提として、総合評価と個別評価との関係を見ていくことにしよう。

表2-2は、放送授業の各評価項目と(A-2)「放送授業を十分に視聴した」(放送授業への取組姿勢)及び(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」(放送授業の総合評価)の相関係数である。

	(A2)放送授 業を十分に視 聴した	(B7)放送授 業は教材とし てよくできてい ると感じた
(A2) 放送授業を十分に視聴した	1.000	0.375
(B1)放送授業の難易度は適切だった	0.382	0.605
(B2)放送授業の内容は適切な分量であった	0.404	0.633
(B5)講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	0.380	0.762
(B6)講師の熱意が十分に伝わった	0.421	0.694
(B7)放送授業は教材としてよくできていると感じた	0.375	1.000
(B8)【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた 【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた	0.366	0.688

表2-2 【学部】放送授業と各項目との単相関係数

これを見ると、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」(放送授業への取組姿勢)と(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」(放送授業の総合評価)の相関係数は0.375と、相関は見られるものの、弱い相関となっている。つまり放送授業の視聴度合いと放送授業の評価は、決して強くはないが、やや関連性があると言ってよい。

また(A-2)「放送授業を十分に視聴した」(放送授業への取組姿勢)は、放送授業の各評価項目である(B-2)「放送授業の内容は適切な分量であった」、(B-6)「講師の熱意が

十分に伝わった」などと相関係数 0.400 以上と相関が見られ、放送授業の取組姿勢のよい人は放送授業の評価がよく、逆に放送授業の評価がよいと取組姿勢もよくなることが推測される。

一方、(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」(放送授業の総合評価) と放送授業の各評価項目との間では、いずれも強い相関が見られるが、特に(B-5)「講 師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」が相関係数 0.762、(B-6)「講師の熱 意が十分に伝わった」が相関係数 0.694 と、相関が強くなっている。したがって、放送 授業の総合評価を高めるには、いずれの評価項目もよく改善することが重要であるが、 特に講師の説明の分かりやすさや講師の熱意が大切だと言える。

次に、印刷教材の各評価項目と、(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」(印刷教材への取組姿勢)及び(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」(印刷教材の総合評価)の相関係数を見たのが表 2-3である。

表2-3 【学部】印刷教材と各項目との単相関係数

	(A3)印刷教 材を熱心に学 習した	(B12)印刷教 材は教材とし てよくできてい ると感じた
(A3) 印刷教材を熱心に学習した	1.000	0.290
(B3)印刷教材の難易度は適切だった	0.304	0.607
(B4) 印刷教材の内容は適切な分量であった	0.317	0.598
(B9) 印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった	0.258	0.575
(B10)印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	0.315	0.769
(B11)図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った	0.238	0.688
(B12)印刷教材は教材としてよくできていると感じた	0.290	1.000

これを見ると、(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」(印刷教材への取組姿勢)は、(B-12) 「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」(印刷教材の総合評価)および印刷教材の各評価項目との間に、あまり強い相関は見られない。

一方、(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」(印刷教材の総合評価) と印刷教材の各評価項目とでは相関が強く、特に (B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」は相関係数 0.769、(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ内容の理解に役立った」が 0.688 と相関が強くなっている。そのため印刷教材の総合評価を高めるためには、いずれの評価項目もよく改善することが重要であるが、特に説明の分かりやすさと図表や写真を有効利用することが大切であると言える。

最後に(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ (熱心度)」、(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた (理解度)」及び(B-20)「この科目の内容には全体として満足している (満足度)」と各評価項目の相関係数を見たのが次頁表 2-4である。

表2-4 【学部】取組姿勢・全体評価と各項目との単相関係数

		(A1)全体として、この科目 の学習に熱心 に取り組んだ (熱心度)	(B19)この科 目の内容を全 体としてよく理 解できた (理解度)	
取組姿勢	(A1)全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)	1.000	0.463	0.418
	(A2)放送授業を十分に視聴した	0.572	0.275	0.261
	(A3) 印刷教材を熱心に学習した	0.688	0.423	0.359
授業	(B1)放送授業の難易度は適切だった	0.343	0.539	0.559
の難易度・分	(B2)放送授業の内容は適切な分量であった	0.336	0.513	0.557
	(B3)印刷教材の難易度は適切だった	0.308	0.580	0.596
	(B4)印刷教材の内容は適切な分量であった	0.311	0.519	0.573
放送授業	(B5)講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	0.355	0.541	0.626
	(B6)講師の熱意が十分に伝わった	0.335	0.418	0.528
	(B7)放送授業は教材としてよくできていると感じた	0.319	0.500	0.609
	(B8)【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた 【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた	0.288	0.451	0.518
印刷教材	(B9)印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった	0.324	0.452	0.533
	(B10)印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	0.333	0.612	0.647
	(B11)図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った	0.273	0.455	0.508
	(B12)印刷教材は教材としてよくできていると感じた	0.295	0.553	0.649
位置	(B13)通信指導のコメントは、納得のいくものだった	0.267	0.438	0.507
位認定試験通信指導・単	(B14)通信指導は学習内容の理解に役立った	0.282	0.475	0.533
	(B15)単位認定試験の問題は科目内容の理解度をはかるのに ふさわしい内容だった	0.277	0.522	0.583
全体評価	(B16)授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った	0.337	0.533	0.599
	(B17)学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	0.446	0.623	0.742
	(B18)新しい知識が身につき視野が広がった	0.427	0.601	0.678
	(B19)この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)	0.463	1.000	0.748
	(B20)この科目の内容には全体として満足している(満足度)	0.418	0.748	1.000

まず、全体的な熱心度(取組姿勢)と科目の理解度、満足度との関係を見ると、熱心

度は理解度と 0.463、満足度と 0.418 の相関係数であり、熱心度と理解度・満足度との間に相関が見て取れる。また理解度と満足度の相関係数は 0.748 と強い相関が見られ、理解度が高いと満足度も高いと言える。

(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)」と各評価項目の相関を見ると、(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」が相関係数 0.688 と最も相関が高く、次いで(A-2)「放送授業を十分に視聴した」が相関係数 0.572、さらに全体評価の (B-17)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」、(B-18)「新しい知識が身につき視野が広がった」とも相関が見られる。全体的な熱心度は、印刷教材や放送授業への取組姿勢と、授業内容が興味や関心の高まるものであり、視野が広がるものであったかどうかとも関係していると言える。

(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」と各評価項目は、いずれも相関が見られる。特に(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」、(B-17)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」、(B-18)「新しい知識が身につき視野が広がった」と強い相関が見られる。理解度は、教材の分かりやすさだけでなく、授業内容が興味や関心の高まるものであったかどうか、新しい知識が身につき視野が広がるものであったかどうかと特に関係していることが分かる。

(B-20)「この科目の内容には全体として満足している (満足度)」と各評価項目の相関係数を見ると、取組姿勢以外の各評価項目と相関が見られ、満足度を高める上でいずれの評価項目も影響していることが分かる。なかでも特に相関が強いのは、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」、(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」、(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」、(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」、(B-17)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」、(B-18)「新しい知識が身につき視野が広がった」である。科目の満足度を高める上で、講師の説明や放送授業の分かりやすさ、印刷教材の難易度や分かりやすさ、興味・関心のもてる授業内容、視野が広がるような知識の習得などが特に重要なポイントと言える。

## Ⅱ-2. 大学院の分析結果

### Ⅱ-2-1. 項目平均から見た全体的傾向

ここからは大学院科目の評価結果を見ていく。大学院の回答者全体について、評価項目の内容ごとにその平均を算出したのが図2-47である。まずこれによって評価の全体的傾向を把握しておくこととする。

項目平均を全体的に見ると、学部生よりも取組姿勢がよく、授業評価も高いのが特徴である。

『学習への取組姿勢の項目平均』は平均値 3.30、肯定的評価(「あてはまる」+「や やあてはまる」)83%であり、『授業評価に関わる項目平均』も平均値 3.32、肯定的評価 84%と高い値を示している。熱心に学習に取り組んだと同時に、授業に対する評価も高 いと言える。

『授業評価に関わる項目平均』を内容ごとにみると、『全体評価』は平均値 3.37、肯定的評価 88%と評価が高くなっている。逆に『放送授業』は肯定的評価が、他の項目平均より少なく、改善ポイントとなっている。

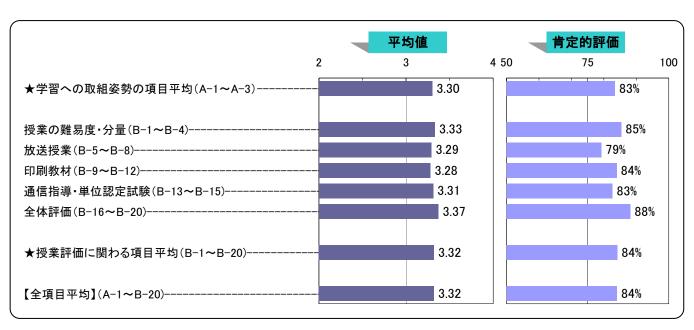


図2-47 【大学院】項目平均による全体的傾向

項目平均を科目の開設年度で比較してみると(図2-48)、『通信指導・単位認定試験』を除いて、2009年度新規開設科目は、2008年度新規開設科目に比べ、いずれの内容でも僅かずつ評価が上がっている。特に『授業評価』の平均が最も向上しており、改善の効果が見られる。

平均値 肯定的評価 ■H21年度(2009) ■H21年度(2009) ■H21年度(2008) ■H21年度(2008) 2 4 50 100 3.30 83% ★学習への取組姿勢の項目平均(A-1~A-3)---3.26 80% 3.33 85% 授業の難易度·分量(B-1~B-4)--3.3 84% 3.29 79% 放送授業(B-5~B-8)-----3.18 75% 3.28 84% 印刷教材(B-9~B-12)-----3.21 81% 83% 3.31 通信指導·単位認定試験(B-13~B-15)----3.33 83% 3.37 88% 全体評価(B-16~B-20)----3.31 87% 3.32 84% ★授業評価に関わる項目平均(B-1~B-20)----82% 3.26 3.32 84% 【全項目平均】(A-1~B-20)------

図2-48 【大学院】項目平均による全体的傾向(開設年度比較)

メディア別に 2008 年度新規開設科目の項目平均を見ると (図 2 - 4 9)、『学習への取組姿勢の項目平均』、『授業評価に関わる項目平均』ともテレビ科目の方が、若干評価が高いが、その差はほとんどない。

『授業評価に関わる項目平均』の内容ごとに見ると、『放送授業』はラジオ科目の評価がテレビ科目に比べ低くなっている。『放送授業』以外の項目平均ではほとんど差がないと言ってよい。

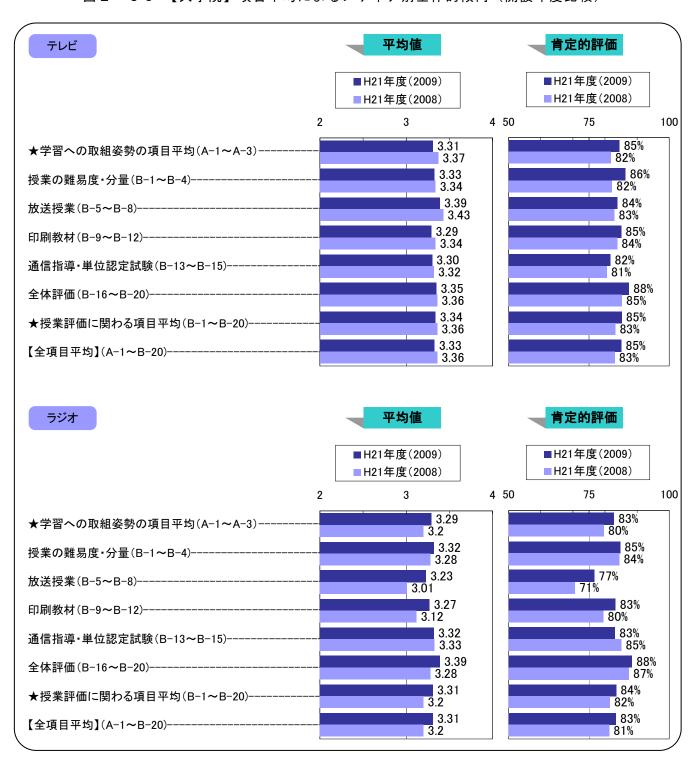
平均值 肯定的評価 ■テレビ ■テレビ ■ラジオ ■ラジオ 2 3 4 50 75 100 3.31 3.29 85% ★学習への取組姿勢の項目平均(A-1~A-3)----83% 3.33 3.32 86% 授業の難易度・分量(B-1~B-4)-----85% 3.39 84% 放送授業(B-5~B-8)-----77% 3.23 3.29 85% 印刷教材(B-9~B-12)-----3.27 83% 3.30 82% 通信指導·単位認定試験(B-13~B-15)----83% 3.32 3.35 88% 全体評価(B-16~B-20)-----88% 3.39 3.34 85% ★授業評価に関わる項目平均(B-1~B-20)-3.31 84% 3.33 85% 【全項目平均】(A-1~B-20)---83%

図2-49 【大学院】項目平均によるメディア別全体的傾向

メディア別の項目平均を科目の開設年度で比較すると(図 2 - 5 0)、テレビ科目は、 『学習への取組姿勢の項目平均』、『授業の難易度・分量』、『全体評価』の肯定的評価が 向上しているが、それ以外の変化は少ない。

一方、ラジオ科目では、『学習への取組姿勢の項目平均』や、評価の低い『放送授業』、 『印刷教材』の評価が向上している。

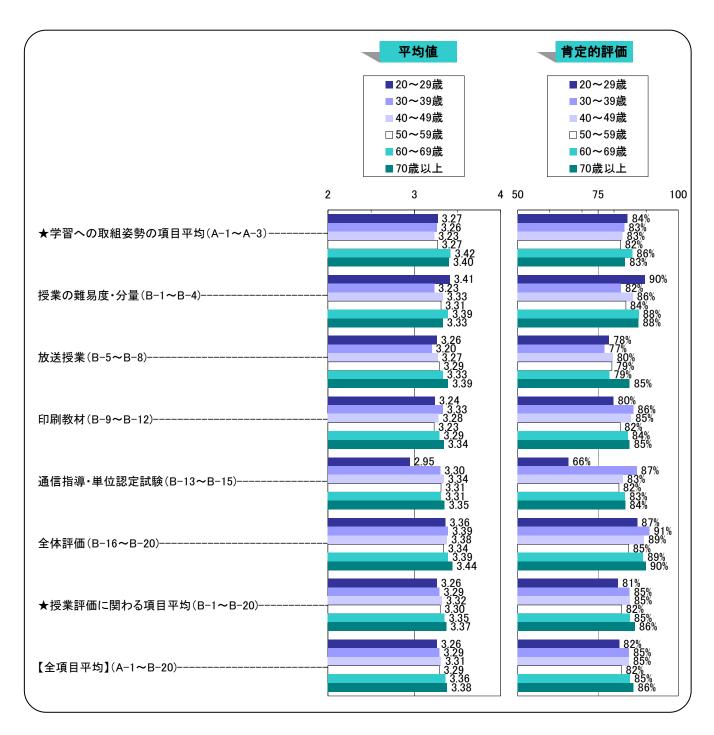
図2-50 【大学院】項目平均によるメディア別全体的傾向 (開設年度比較)



回答者の年齢階層別に 2009 年度新規開設科目の項目平均を見ると (図 2 - 5 1)、『学習への取組姿勢の項目平均』は、60歳代、70歳以上の評価がやや高くなっているが、年齢階層間の差はあまり大きくない。

『授業評価に関わる項目平均』も年配層ほど評価が高いが、やはり年齢階層間の差は小さいと言えよう。なお『通信指導・単位認定試験』では20歳代の評価が低くなっているが、20歳代は回答者数が少ないため、注意が必要である(誤差が大きい可能性もある)。

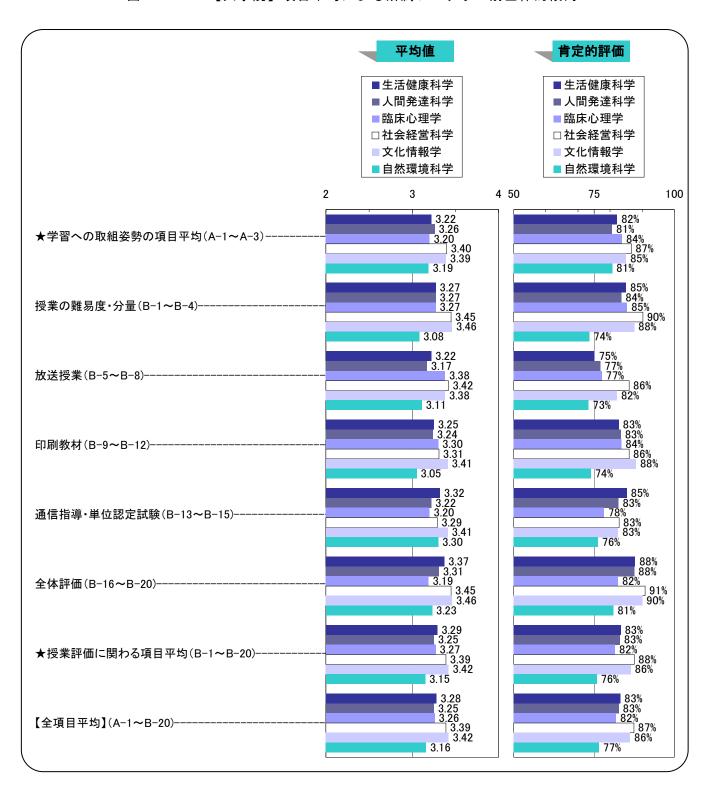
図2-51 【大学院】項目平均による年齢階層別全体的傾向



科目の所属プログラム別に項目平均を見ると(図2-52)、『学習への取組姿勢の項目平均』は「社会経営科学」と「文化情報学」の値が高くなっている。

『授業評価に関わる項目平均』も「社会経営科学」と「文化情報学」の評価が高いが、他のプログラムに比べ「自然環境科学」の評価が低い。「自然環境科学」は、授業の難易度、放送授業、印刷教材のいずれも評価が低くなっており、改善が求められる。

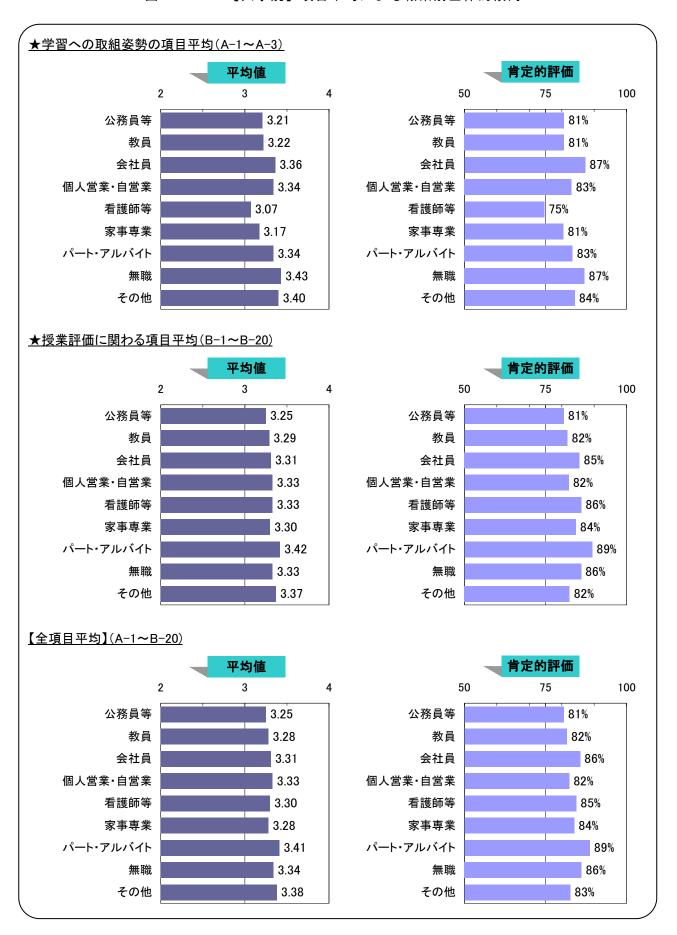
図2-52 【大学院】項目平均による所属プログラム別全体的傾向



職業別に項目平均を見ると(次頁図2-53)、『学習への取組姿勢の項目平均』は無職、会社員、個人営業・自営業、パート・アルバイトなどで高く、看護師等で低くなっている。

『授業評価に関わる項目平均』は、パート・アルバイトの評価がやや高いが、職業間の評価の差は比較的小さく、いずれの職業でも高い評価となっている。

図2-53 【大学院】項目平均による職業別全体的傾向



ここからはそれぞれ評価項目ごとに調査結果を見ていく。

学習への取組姿勢(図 2 - 5 4)では、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)」は、平均値 3.42、肯定的評価 89%で、熱心に学習されている。同様に (A-3)「印刷教材を熱心に学習した」も平均値 3.45、肯定的評価 90%と非常に高い。しかしこれらに比べると、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は、平均値 3.03、肯定的評価 71%と低くなっている。学部と同様、全体としては熱心に学習に取り組んでいるものの、学習は印刷教材が中心となっている。印刷教材に比べ放送授業の視聴度合いがよくないのは、時間的な制約などもあろうが、放送授業そのものの出来栄えも関係していると考えられるので、今後もより改善努力を進めるべきであろう。

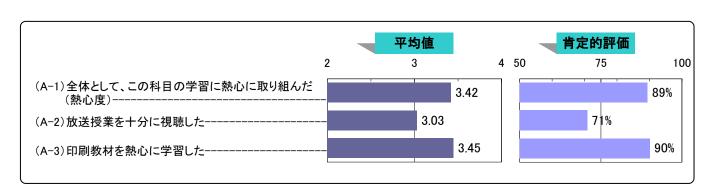
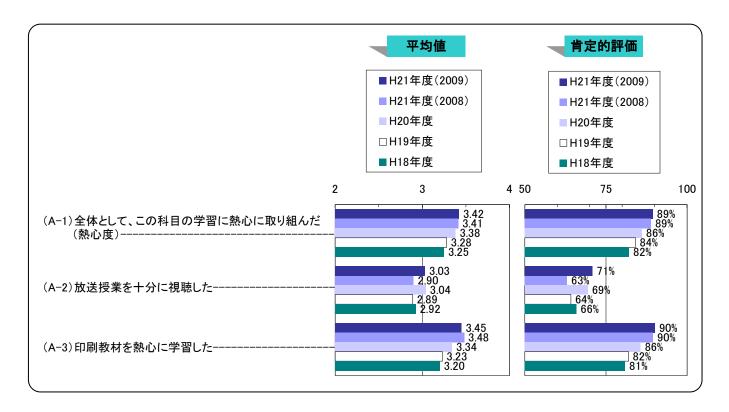


図2-54 【大学院】回答者全体の取組姿勢

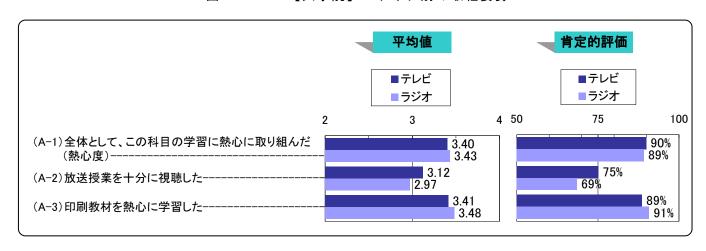
学習への取組姿勢を時系列で見ると(次頁図 2 - 5 5)、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)」と(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」は年々向上している。(A-2)「放送授業を十分に視聴した」も年によって変動はあるものの、今回調査(2009年度新規開設科目)はまずまずの値となっている。取組姿勢は授業の出来栄えによっても変化するが、調査年度によって上下動があるのは、大学院の調査対象の科目数が少ないため、特定の科目の影響が大きいことも影響していると考えられる。

図2-55 【大学院】回答者全体の取組姿勢(時系列)



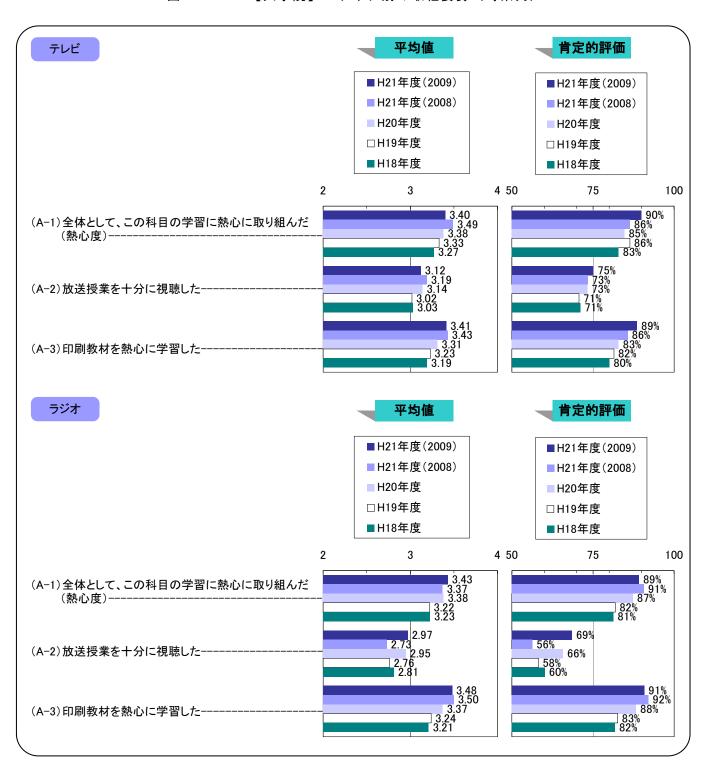
メディア別の取組姿勢を見ると(図2-56)、(A-1)「全体としてこの科目の学習に 熱心に取り組んだ(熱心度)」は、テレビ科目とラジオ科目で大きな差はないが、(A-2) 「放送授業を十分に視聴した」ではラジオ科目がやや低くなっている。テレビ科目はま ずまずの視聴度と言えるが、印刷教材の取組姿勢に比べるとよくない。今後もテレビ科 目、ラジオ科目ともに授業の改善等によって、ラジオ科目の放送授業の視聴を上げてい く必要があろう。

図2-56 【大学院】メディア別の取組姿勢



メディア別の取組姿勢を時系列で見ると(図 2-57)、全体的にはテレビ科目、ラジオ科目とも年々取組姿勢が良くなる傾向にある。テレビ科目、ラジオ科目とも (A-1) 「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)」と (A-3) 「印刷教材を熱心に学習した」は、非常に高いレベルまで改善されているが、(A-2) 「放送授業を十分に視聴した」は、まだまだ不十分なレベルにあると言えよう。

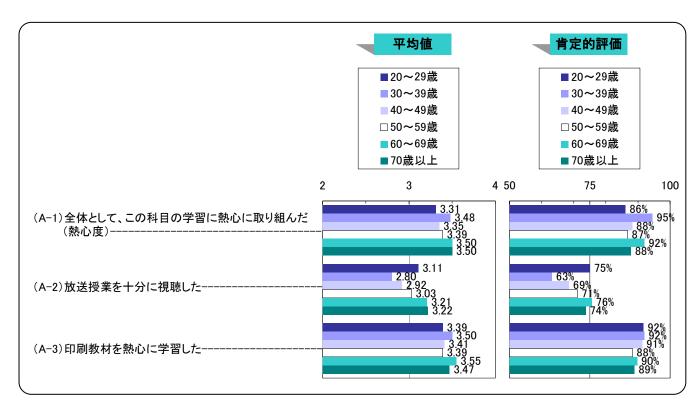
図2-57 【大学院】メディア別の取組姿勢 (時系列)



年齢階層別に取組姿勢を見ると(図2-58)、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は、20歳代と年配層で熱心に取り組んでいる人が多く、30歳代は少ない。

だが、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)」と(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は、年齢階層に関係なく熱心に取り組んだ人がかなり多くなっている。

図2-58 【大学院】年齢階層別の取組姿勢



所属プログラム別に取組姿勢を見ると(図 2-59)、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)」と(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」ではどのプログラムも高い値を示している。

(A-2)「放送授業を十分に視聴した」では、「社会経営科学」が比較的よく視聴されているが、「生活健康科学」と「人間発達科学」は特に視聴度合いがよくない。

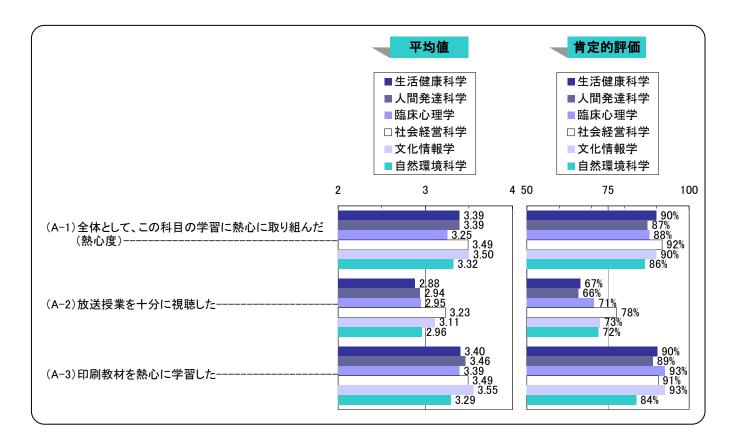


図2-59【大学院】所属プログラム別の取組姿勢

職業別に取組姿勢を見ると(次頁図 2-60)、こちらも(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)」と(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」ではどの職業の人も取組姿勢は高い値を示している。

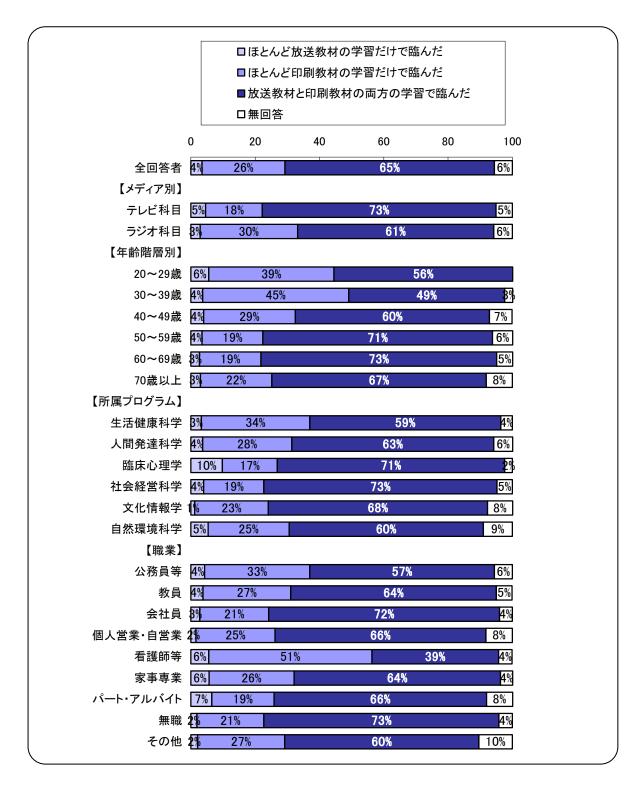
(A-2)「放送授業を十分に視聴した」では、会社員、個人営業・自営業、パート・アルバイト、無職の人が比較的よく視聴しているが、看護師等が非常に悪く、公務員等、教員もあまりよくない。

#### 図2-60【大学院】職業別の取組姿勢



単位認定のための学習方法(図 2 - 6 1)は、全体では「放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ」が 65%と約 2/3 を占め、「ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ」が 26%となっている。「放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ」が少ないのは、年齢階層別の 20 歳代、30 歳代、それに職業別では看護師等である。

図2-61【大学院】単位認定のための学習方法



# (1) 全体評価

ここからは大学院の授業評価について、評価項目ごとに見ていくこととする。

まず全体評価を見ると(図 2-62)、いずれの項目も高い評価となっている。特に (B-18) 「新しい知識が身につき視野が広がった」は、平均値 3.53、肯定的評価 92% と 非常に高くなっている。

(B-20)「この科目の内容には全体として満足している(満足度)」も平均値 3.37、肯定的評価 89%と高い満足度を示している。ただ(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」は、平均値 3.25、肯定的評価 85%と、満足度に比べるとやや低い。

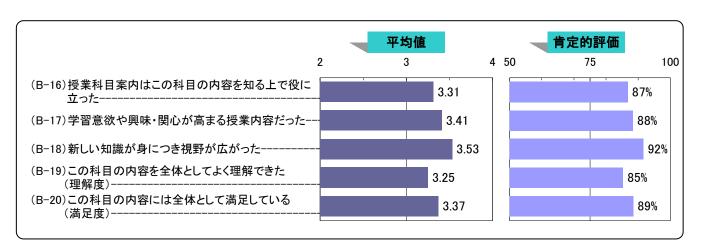
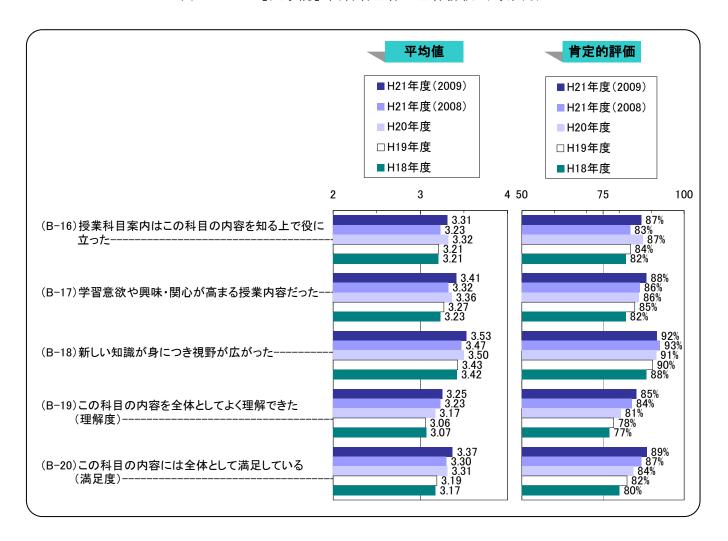


図2-62【大学院】回答者全体の全体評価

全体評価を時系列で見ると (図 2-6 3)、いずれの項目も評価が上昇傾向にあると言える。特に (B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた (理解度)」と (B-20)「この科目の内容には全体として満足している (満足度)」の上昇度合いが大きい。

図2-63【大学院】回答者全体の全体評価 (時系列)



メディア別に全体評価を見ると(図2-64)、いずれの項目も、テレビ科目よりラジ オ科目の方が若干評価が高いが、ほとんど差はないと言ってよい。

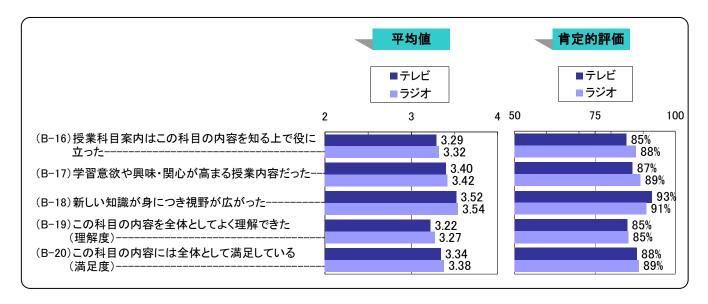
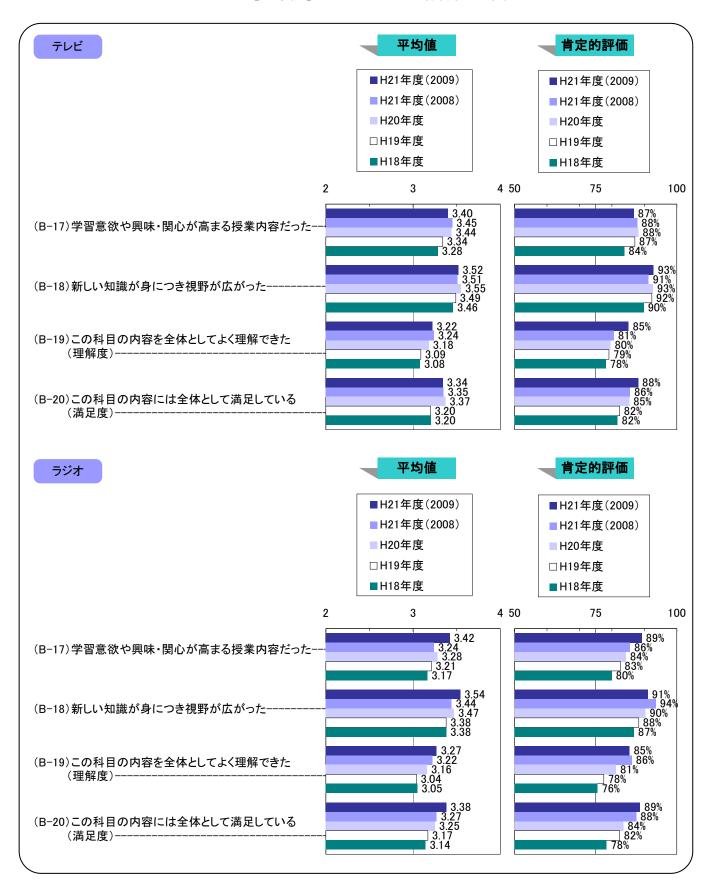


図2-64【大学院】メディア別の全体評価

メディア別の全体評価を時系列で見ると(次頁図2-65)、テレビ科目は、いずれの項目も平成20年度調査(2007年新規開設科目)以降、評価がほぼ横ばいで、やや伸び悩んでいる。

一方ラジオ科目は、(B-17)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」、(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」、(B-20)「この科目の内容には全体として満足している(満足度)」で、年々評価が上昇している。(B-18)「新しい知識が身につき視野が広がった」は、もともと評価が非常に高いため、やや横ばい傾向である。

図2-65【大学院】メディア別の全体評価 (時系列)



年齢階層別に全体評価を見ると(図2-66)、全体的には年齢階層間の差は比較的少ないと言える。

(B-17)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」と (B-18)「新しい知識が身につき視野が広がった」では、30歳代と 70歳以上の評価がやや高い。また (B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた (理解度)」と (B-20)「この科目の内容には全体として満足している (満足度)」では 50歳代が他の年齢階層よりやや評価が低いのが特徴である。

平均值 肯定的評価 ■20~29歳 ■20~29歳 ■30~39歳 ■30~39歳 ■40~49歳 ■40~49歳 □50~59歳 □50~59歳 ■60~69歳 ■60~69歳 ■70歳以上 ■70歳以上 4 50 100 (B-16)授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に 立った-(B-17)学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった-(B-18)新しい知識が身につき視野が広がった-

79%

84%

(B-19)この科目の内容を全体としてよく理解できた

(B-20)この科目の内容には全体として満足している

(理解度)-

(満足度)-

図2-66【大学院】年齢階層別の全体評価

所属プログラム別に全体評価を見ると(図2-67)、(B-18)「新しい知識が身につき 視野が広がった」は、どのプログラムでも評価が非常に高く、(B-17)「学習意欲や興味・ 関心が高まる授業内容だった」は、「社会経営科学」と「文化情報学」で非常に評価が高 くなっている。(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」と(B-20) 「この科目の内容には全体として満足している(満足度)」は、「生活健康科学」「人間発 達科学」「社会経営科学」「文化情報学」の評価が高く、「臨床心理学」と「自然環境科学」 の評価が他のプログラムより低くなっている。

平均値 肯定的評価 ■生活健康科学 ■生活健康科学 ■人間発達科学 ■人間発達科学 ■臨床心理学 ■臨床心理学 □社会経営科学 □社会経営科学 ■文化情報学 ■文化情報学 ■自然環境科学 ■自然環境科学 2 4 50 100 3.33 88% 89% 85% 86% (B-16)授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に 3.30 .18 3.35 3.34 立った-88% 3.14 78% 3.38 3.31 3.31 86% 87% (B-17)学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった-83% ີ 92% 3.48 3.53 84% 3.49 89% 3.46 3.49 90% (B-18)新しい知識が身につき視野が広がった-3.53 3.66 3.49 93% 95 90% 3.26 3.20 2.93 86% 86% (B-19)この科目の内容を全体としてよく理解できた 73% 3.40 3.31 91% 86% (理解度) 2.97 71% 3.37 3.28 3.02 90% 86% (B-20)この科目の内容には全体として満足している 78% □ 92% | 90% 3.47 3.44 3.25 (満足度)-

図2-67【大学院】所属プログラム別の全体評価

職業別に全体評価を見ると(次頁図2-68)、(B-17)「学習意欲や興味・関心が高ま る授業内容だった」は、会社員、個人営業・自営業、看護師等、パート・アルバイトな どの評価が非常に高い。また(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理 解度)」、(B-20)「この科目の内容には全体として満足している(満足度)」とも評価が高 いのは、会社員、看護師等、パート・アルバイトなどである。通常、評価の低い看護師 等がここでは非常に評価が高くなっているが、これは印刷教材の評価が高いこと(後述)

82%

図2-68【大学院】職業別の全体評価



#### (2)授業の難易度・分量

次に授業の難易度・分量について、評価項目ごとに見ていく。

授業の難易度・分量の評価は(図2-69)、いずれも高い評価となっている。ただし、 印刷教材に比べ、放送授業は肯定的評価において難易度・分量ともやや低く、改善が求 められる。

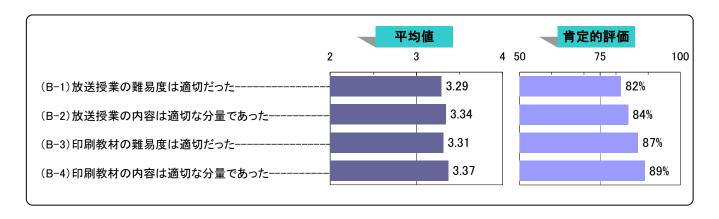


図2-69【大学院】回答者全体の授業難易度・分量の評価

授業の難易度・分量の評価を開設年度で比較すると(図2-70)、放送授業、印刷教材とも分量に関しては評価がやや向上しているが、難易度はほぼ横ばいである。

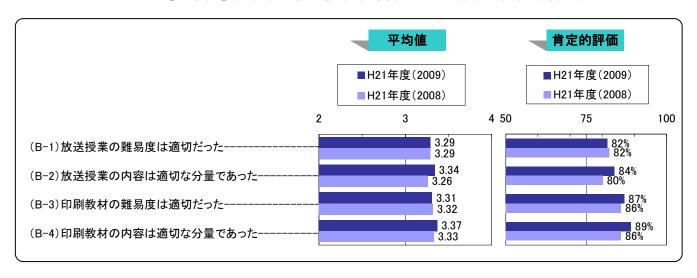
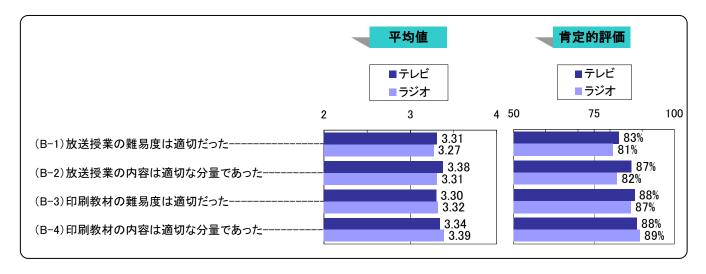


図2-70【大学院】回答者全体の授業難易度・分量の評価 (開設年度比較)

メディア別に授業の難易度・分量を見ると(図 2-71)、(B-2)「放送授業の内容は適切な分量であった」では、テレビ科目の方がやや評価が高くなっている。それ以外の難易度・分量においてはあまり大きな差は見られない。

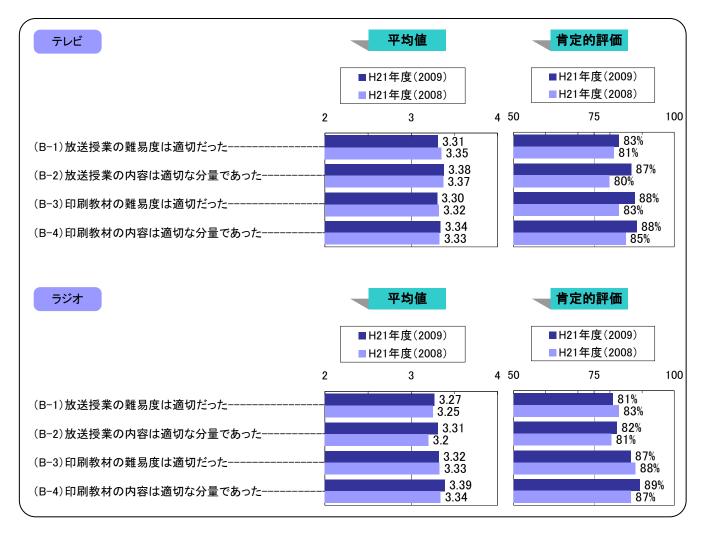
図2-71【大学院】メディア別の授業難易度・分量の評価



メディア別の授業の難易度・分量を開設年度で比較すると(図2-72)、テレビ科目は平均値ではほとんど変化はないが、肯定的評価ではいずれも評価が向上している。

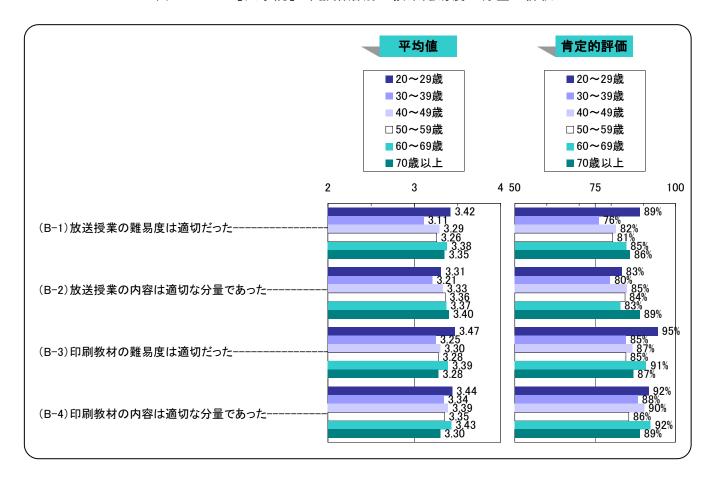
ラジオ科目は、放送授業、印刷教材とも分量は評価が若干上がっているが、難易度は ほぼ横ばいである。

図2-72【大学院】メディア別の授業難易度・分量の評価(開設年度比較)



年齢階層別に授業の難易度・分量を見ると(図2-73)、放送授業の難易度と分量は20歳代と年配層の評価が高くなっている。また印刷教材の難易度と分量は、20歳代と60歳代の評価が非常に高い。

図2-73【大学院】年齢階層別の授業難易度・分量の評価



所属プログラム別に授業の難易度・分量を見ると(図2-74)、いずれも、「社会経営科学」と「文化情報学」の評価が高く、「自然環境科学」の評価が低くなっている。「自然環境科学」は特に難易度の評価が低く、説明方法などの工夫が必要であろう。

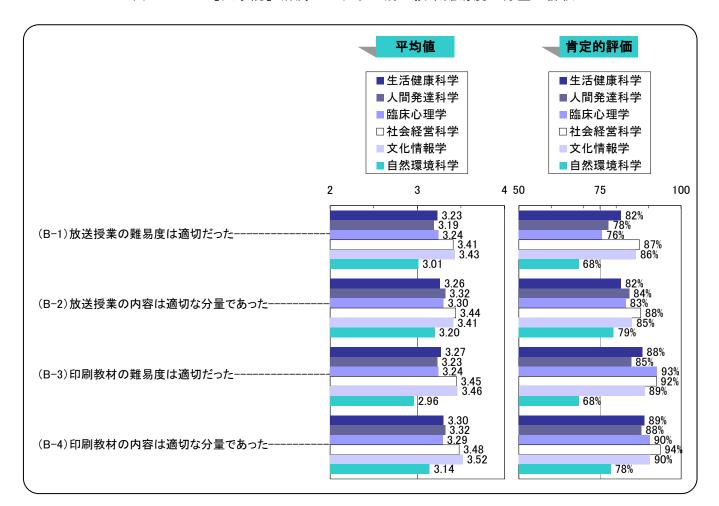
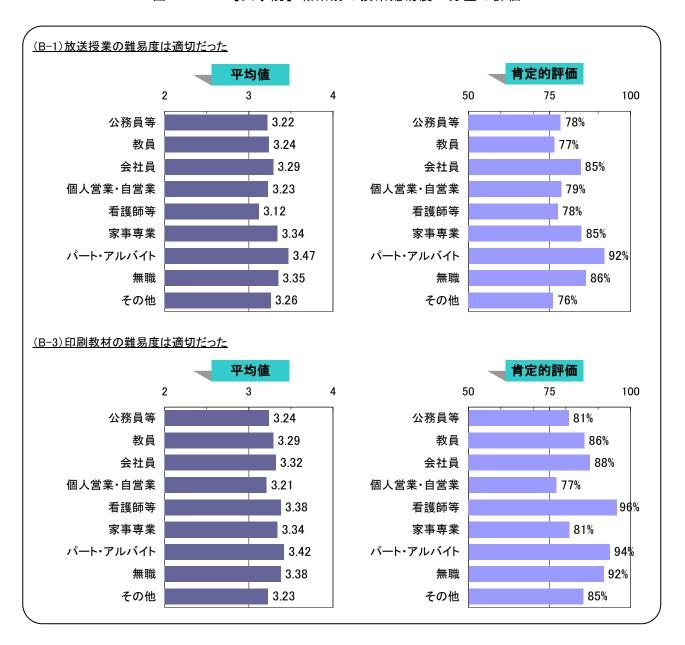


図2-74【大学院】所属プログラム別の授業難易度・分量の評価

職業別に授業の難易度・分量を見ると(次頁図2-75)、放送授業の難易度は、パート・アルバイト、会社員、家事専業、無職など放送授業の視聴度の高い層で評価が高くなっている。

印刷教材の難易度は、看護師等、パート・アルバイト、無職の評価が非常に高くなっている。

図2-75【大学院】職業別の授業難易度・分量の評価



## (3) 放送授業

ここからは放送授業について、評価項目ごとに見ていく。

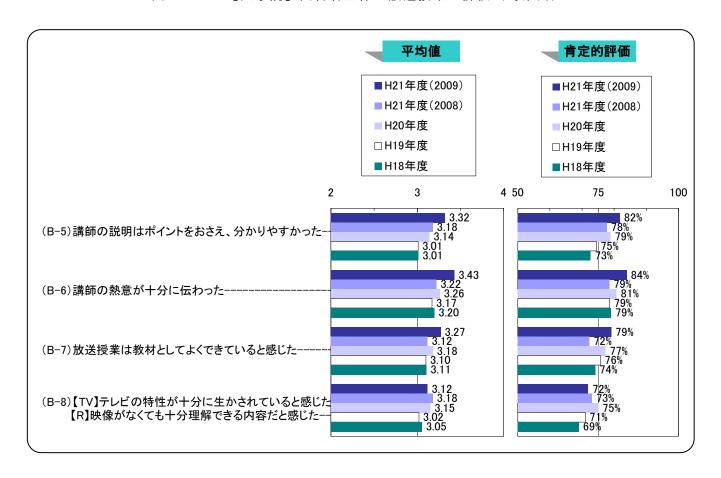
放送授業に関する評価項目を見ると(図 2-76)、放送授業の総合評価でもある(B-7) 「放送授業は教材としてよくできていると感じた」は、平均値 3.27、肯定的評価 79%と比較的高くなっている。また (B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」が最も評価が高く、平均値 3.43、肯定的評価 84%となっており、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」も平均値 3.32、肯定的評価 82%と高くなっている。一方、(B-8)「【TV】 テレビの特性が十分に生かされていると感じた/【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」は、平均値 3.12、肯定的評価 72%にとどまっている。

平均值 肯定的評価 3 4 50 75 100 (B-5)講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった-3.32 82% 3.43 84% (B-6)講師の熱意が十分に伝わった---3.27 79% (B-7)放送授業は教材としてよくできていると感じた-(B-8)【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた 72% 3.12 【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた-

図2-76【大学院】回答者全体の放送授業の評価

放送授業の評価を時系列で見ると(図 2-77)、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」と(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」は、本調査(2009年新規開設科目)において、評価が上がり、それに伴い、(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」も評価が上がっている。しかし、(B-8)「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた/【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」は、評価があまり向上しておらず、さらなる工夫が必要である。

図2-77【大学院】回答者全体の放送授業の評価(時系列)



メディア別に放送授業の評価を見ると(図2-78)、テレビ科目はいずれの項目も高い評価を得ているものの、ラジオ科目はテレビ科目に比べ評価が低くなっている。特に (B-8)「【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」の評価が低く、ラジオ科目の最大の改善ポイントと言える。

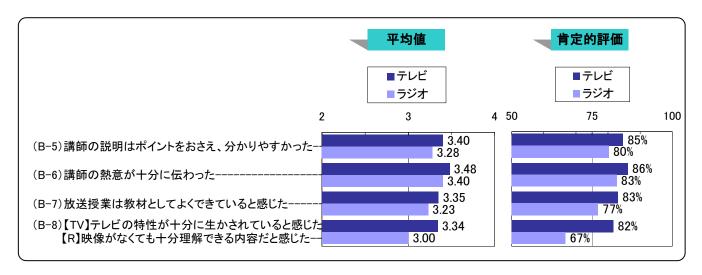
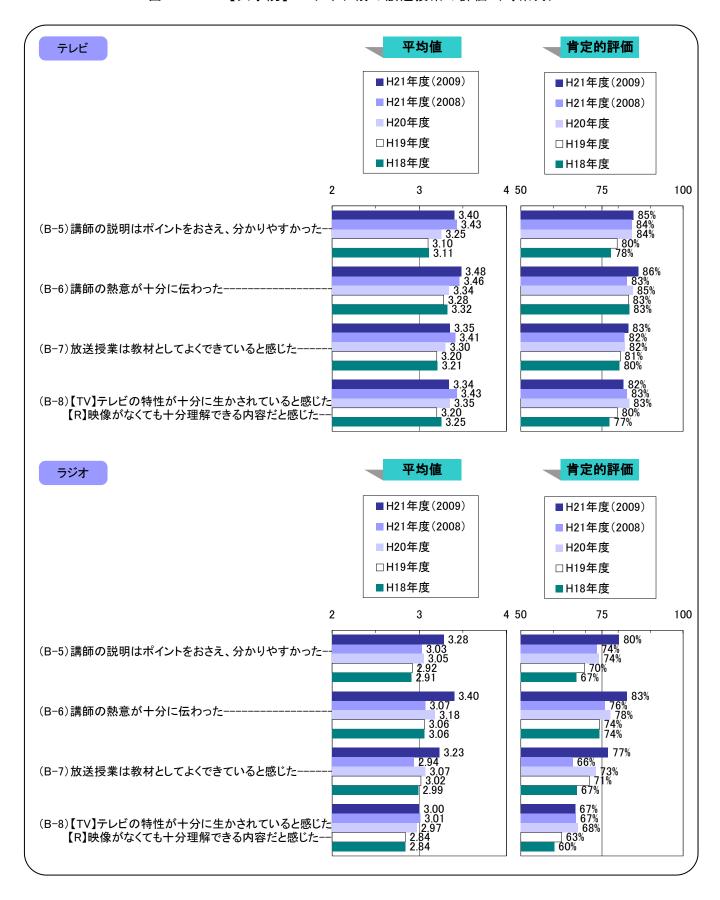


図2-78【大学院】メディア別の放送授業の評価

メディア別の放送授業の評価を時系列で見ると(次頁図2-79)、テレビ科目は、平均値では僅かずつではあるが評価が上昇傾向にあるが、肯定的評価では平成20年度調査(2007年新規開設科目)以降、やや伸び悩んでいる。

ラジオ科目は、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」、(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」、(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」は、本調査(2009年度新規開設科目)で大きく評価が上昇している。しかし(B-8)「【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」は、平成20年度調査(2007年新規開設科目)以降、評価が低いまま、ほぼ横ばい状態である。内容が高度であればあるほど音声だけの説明では限度があると言えるが、改善の努力を止めるべきではなかろう。

図2-79【大学院】メディア別の放送授業の評価 (時系列)

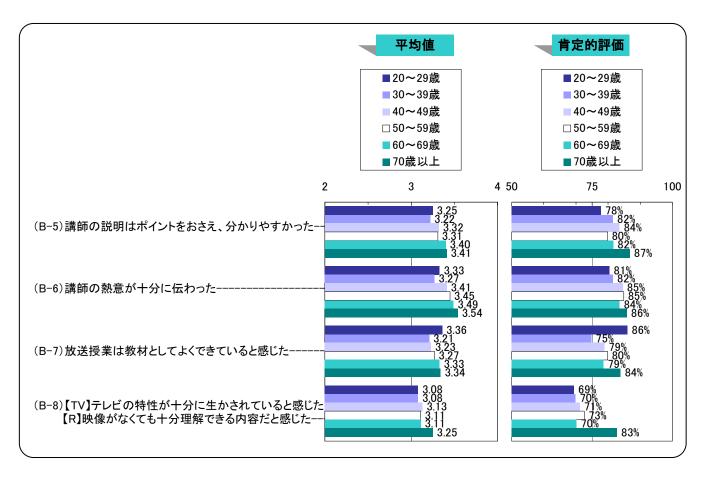


年齢階層別に放送授業の評価を見ると(図 2-80)、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」と (B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」は、年配層ほど評価が高くなっている。

総合評価である(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」は、20歳代および年配層で評価が高い。

(B-8)「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた/【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」は、70歳以上だけ評価が高くなっているが、それ以外の年齢階層はほとんど差が見られない。

図2-80【大学院】年齢階層別の放送授業の評価



所属プログラム別に放送授業の評価を見ると(図 2-81)、総合評価の(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」は、「社会経営科学」と「文化情報学」の評価が高く、「自然環境科学」の評価が低い。(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」と (B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」も同様の結果となっている。

(B-8)「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた/【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」は、「臨床心理学」と「社会経営科学」の評価が高く、その他のプログラムはいずれも評価が低い。

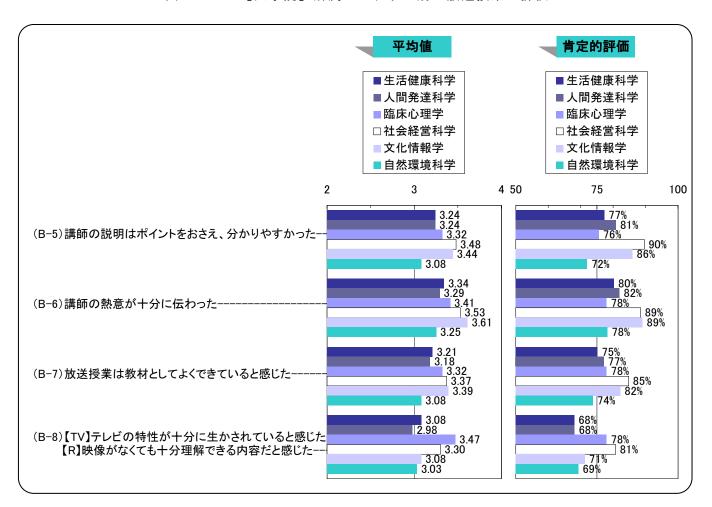


図2-81【大学院】所属プログラム別の放送授業の評価

職業別に放送授業の評価を見ると(図2-82)、総合評価の(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」は、平均値では差は少ないものの、肯定的評価では家事専業、無職、パート・アルバイト、公務員等、個人営業・自営業の評価がやや高い。なお、全体評価の高い看護師等だが、放送授業の各項目の評価は低くなっている。

図2-82【大学院】職業別の放送授業の評価



## (4) 印刷教材

ここからは印刷教材について、評価項目ごとに見ていく。

印刷教材の評価項目では(図 2-83)、いずれも高い評価を得ている。総合評価としての(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」は平均値 3.34、肯定的評価 87% と高くなっている。

評価項目の中では、(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ内容の理解に役立った」の評価が他の項目より低く、さらに図表・写真の有効活用が必要であろう。

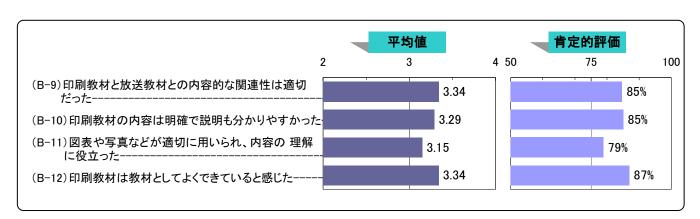
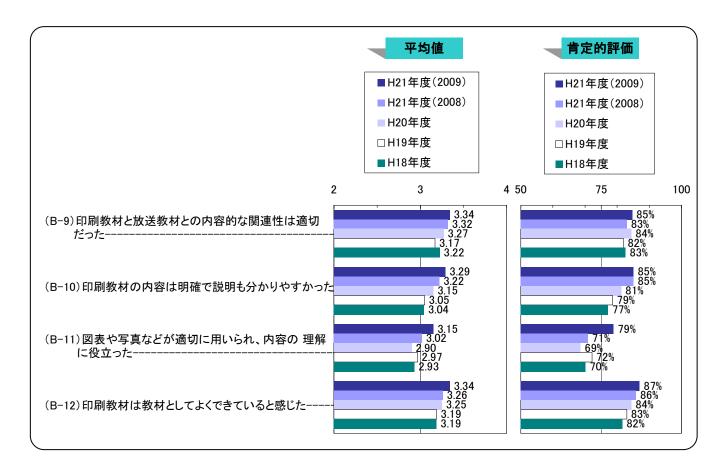


図2-83【大学院】回答者全体の印刷教材の評価

印刷教材の評価を時系列で見ると(図2-84)、いずれの項目も評価が上昇傾向にある。(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ内容の理解に役立った」も本調査(2009年新規開設科目)では、比較的評価が高くなってきている。

図2-84【大学院】回答者全体の印刷教材の評価 (時系列)



印刷教材の評価をメディア別に見ると(図2-85)、総合評価の(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」では、テレビ科目とラジオ科目の評価差はあまりない。

(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ内容の理解に役立った」はテレビ科目に比べ、ラジオ科目の評価が低くなっている。映像のないラジオの放送授業を補完するために、テレビ科目以上に図表や写真などを活用することが必要であろう。

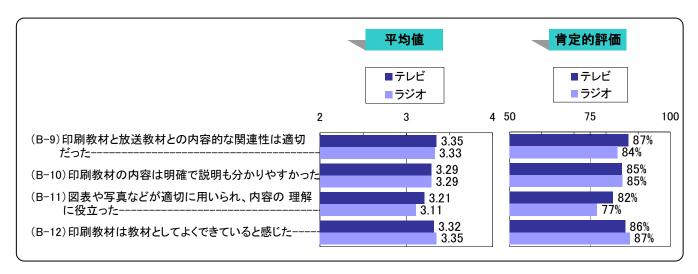
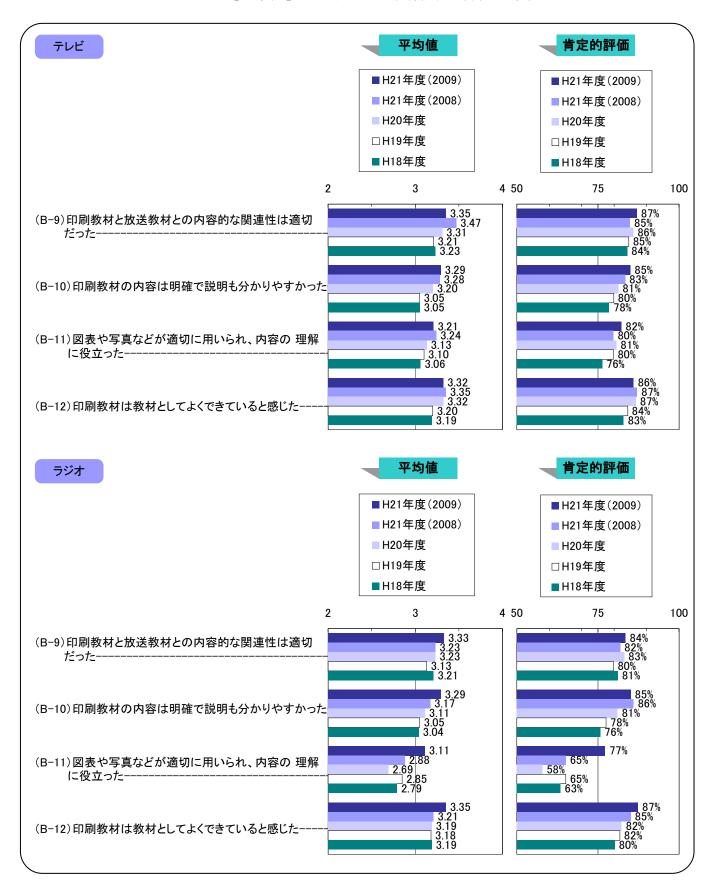


図2-85【大学院】メディア別の印刷教材の評価

メディア別の印刷教材の評価を時系列で見ると(次頁図2-86)、テレビ科目、ラジオ科目とも、評価は年々上昇傾向にある。特に評価が低かったラジオ科目の(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ内容の理解に役立った」は、今年度調査(2009年新規開設科目)において大きく評価が上がっている。

図2-86【大学院】メディア別の印刷教材の評価(時系列)

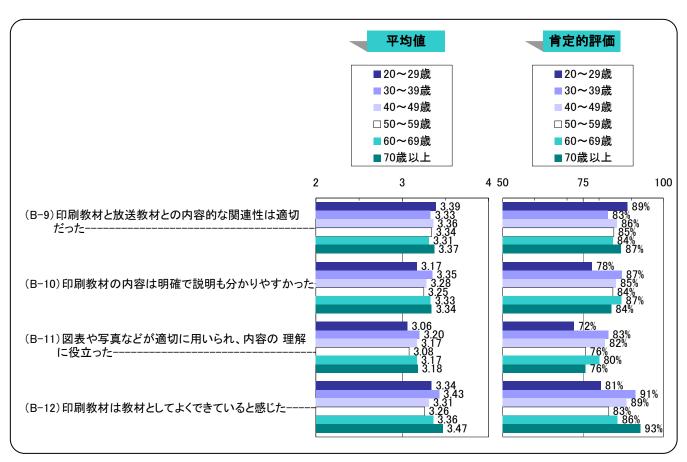


年齢階層別に印刷教材の評価を見ると(図 2-87)、総合評価の(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」は、30 歳代と 70 歳以上の評価が非常に高くなっている。

(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」と (B-11)「図表や写真などが適切に用いられ内容の理解に役立った」は、20歳代の評価が低いのが特徴である。

(B-9)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」は、年齢階層間の評価差が比較的少ない。

図2-87【大学院】年齢階層別の印刷教材の評価



所属プログラム別に印刷教材の評価を見ると(図 2-88)、総合評価の(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」は、「社会経営科学」と「文化情報学」の評価が非常に高く、「自然環境科学」の評価が他のプログラムに比べ低くなっている。「社会経営科学」と「文化情報学」は、特に (B-9) 「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」と (B-10) 「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」の評価が高く、「自然環境科学」は、(B-10) 「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」の評価が低いのが、その要因と考えられる。

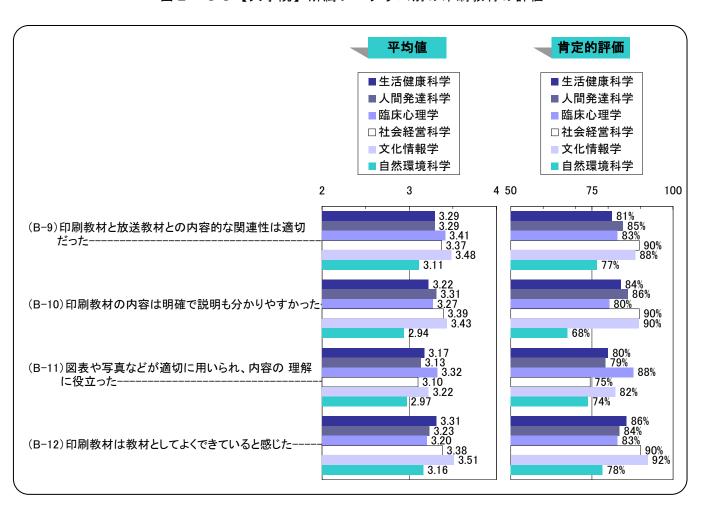


図2-88【大学院】所属プログラム別の印刷教材の評価

職業別に印刷教材の評価を見ると(次頁図 2-89)、総合評価の(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」は、看護師等、家事専業、パート・アルバイト、無職などの評価が非常に高くなっている。総合評価が特に高い看護師等とパート・アルバイトは、(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」、及び (B-11)「図表や写真などが適切に用いられ内容の理解に役立った」の評価が高い。

図2-89【大学院】職業別の印刷教材の評価



### (5) 通信指導・単位認定試験

最後に通信指導・単位認定試験の評価について、項目ごとに見ていく。

通信指導については(図2-90)、(B-13)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」が平均値3.34、肯定的評価85%、(B-14)「通信指導は学習内容の理解に役立った」が平均値3.35、肯定的評価85%と、いずれも高い評価を得ている。

単位認定試験についても (B-15)「単位認定試験の問題は科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった」が平均値 3.24、肯定的評価 78%と比較的評価が高くなっている。

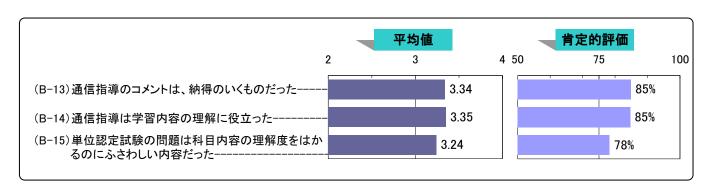
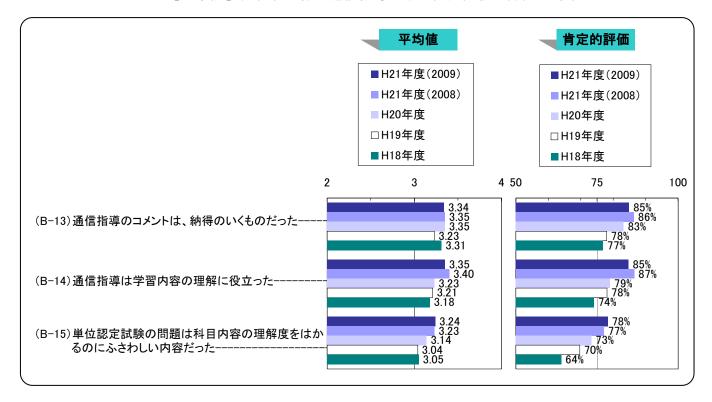


図2-90【大学院】回答者全体の通信指導・単位認定試験の評価

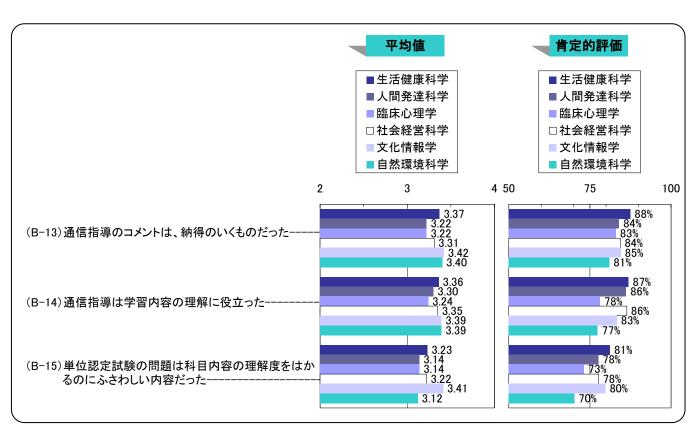
通信指導・単位認定試験の評価を時系列で見ると(次頁図2-91)、(B-13)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」は、平均値ではあまり大きな変化ないものの、肯定的評価では徐々に評価が上がっている。(B-14)「通信指導は学習内容の理解に役立った」と(B-15)「単位認定試験の問題は科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった」は、年々評価が向上しており、改善の効果が現れていると言えよう。

図2-91【大学院】回答者全体の通信指導・単位認定試験の評価 (時系列)



所属プログラム別に通信指導・単位認定試験の評価を見ると(図2-92)、通信指導は、平均値では評価差は小さいが、肯定的評価ではやや差が大きくなっている。単位認定試験は、「生活健康科学」と「文化情報学」の評価がやや高く、「自然環境科学」の評価が低い。

図2-92【大学院】所属プログラム別の通信指導・単位認定試験の評価



ここでは、学部の場合と同様に、総合評価と各個別評価との関係を、相関係数を用いてみていく(相関係数の意味と見方については、65頁を参照されたい)。

表 2 - 5 は、放送授業の各評価項目と(A-2)「放送授業を十分に視聴した」(放送授業への取組姿勢)及び(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」(放送授業の総合評価)の相関係数である。

	(A2)放送授 業を十分に視 聴した	(B7)放送授 業は教材とし てよくできてい ると感じた
(A2)放送授業を十分に視聴した	1.000	0.370
(B1) 放送授業の難易度は適切だった	0.420	0.575
(B2) 放送授業の内容は適切な分量であった	0.433	0.592
(B5)講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	0.425	0.745
(B6)講師の熱意が十分に伝わった	0.449	0.702
(B7)放送授業は教材としてよくできていると感じた	0.370	1.000
(B8)【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた 【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた	0.329	0.612

表2-5 【大学院】放送授業と各項目との単相関係数

これを見ると、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」(放送授業への取組姿勢)と(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」(放送授業の総合評価)の相関係数は0.370と、緩やかな相関が見られる。つまり放送授業の視聴度合いと放送授業の評価は、決して強くはないが、やや関連性があると言ってよい。

また (A-2)「放送授業を十分に視聴した」(放送授業への取組姿勢)と放送授業の各評価項目の間では、(B-8)「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた/【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」を除いて、いずれも相関係数 0.400 以上と相関が見られる。放送授業の取組姿勢のよい人は放送授業の評価がよく、逆に放送授業の評価がよいと取組姿勢もよくなることが推測される。

一方、(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」(放送授業の総合評価) と放送授業の各評価項目との間では、いずれも強い相関が見られ、特に (B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」が相関係数 0.745、(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」が相関係数 0.702 と、相関が強くなっている。したがって、総合評価を高める上では、学部と同様、いずれの評価項目もよく改善することが重要であるが、特に講師の説明の分かりやすさや講師の熱意が大切だと言える。

次に、印刷教材の各評価項目と、(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」(印刷教材への 取組姿勢)及び(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」(印刷教材の 総合評価)の相関係数を見たのが表2-6である。

表 2 - 6 【大学院】印刷教材と各項目との単相関係数

	(A3)印刷教 材を熱心に学 習した	(B12)印刷教 材は教材とし てよくできてい ると感じた
(A3)印刷教材を熱心に学習した	1.000	0.310
(B3)印刷教材の難易度は適切だった	0.360	0.576
(B4)印刷教材の内容は適切な分量であった	0.326	0.571
(B9) 印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった	0.286	0.554
(B10)印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	0.337	0.728
(B11)図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った	0.268	0.698
(B12)印刷教材は教材としてよくできていると感じた	0.310	1.000

まず(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」(印刷教材への取組姿勢)と、(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」(印刷教材の総合評価)および印刷教材の各評価項目との間には、あまり相関は見られない。

一方、(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」(印刷教材の総合評価) と印刷教材の各評価項目とでは相関が強く、特に (B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」は相関係数 0.728、(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ内容の理解に役立った」が 0.698 と相関が強くなっている。そのため印刷教材の総合評価を高めるためには、いずれの評価項目もよく改善すると同時に、特に説明の分かりやすさと図表や写真を有効利用に注力することが重要と言える。

最後に(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)」、(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」及び(B-20)「この科目の内容には全体として満足している(満足度)」と各評価項目の相関係数を見たのが次頁表 2-7である。

表2-7 【大学院】取組姿勢・全体評価と各項目との単相関係数

		(A1)全体とし て、この科目 の学習に熱心 に取り組んだ (熱心度)	(B19)この科 目の内容を全 体としてよく理 解できた (理解度)	
取	(A1)全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)	1.000	0.430	0.388
組 姿	(A2)放送授業を十分に視聴した	0.520	0.252	0.212
勢	(A3) 印刷教材を熱心に学習した	0.705	0.388	0.335
授業	(B1)放送授業の難易度は適切だった	0.339	0.513	0.520
の 量易	(B2)放送授業の内容は適切な分量であった	0.297	0.426	0.493
<sup>墨</sup> 易 度	(B3)印刷教材の難易度は適切だった	0.349	0.564	0.582
· 分	(B4)印刷教材の内容は適切な分量であった	0.303	0.517	0.569
	(B5)講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	0.318	0.511	0.556
放送	(B6)講師の熱意が十分に伝わった	0.296	0.416	0.492
授 業	(B7)放送授業は教材としてよくできていると感じた	0.274	0.461	0.556
	(B8)【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた 【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた	0.244	0.399	0.441
	(B9)印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった	0.297	0.426	0.481
印刷	(B10)印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	0.304	0.579	0.614
教 材	(B11)図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った	0.277	0.470	0.508
	(B12)印刷教材は教材としてよくできていると感じた	0.298	0.535	0.658
位認定試:通信指導・	(B13)通信指導のコメントは、納得のいくものだった	0.208	0.366	0.462
記 定 課	(B14)通信指導は学習内容の理解に役立った	0.272	0.440	0.515
験単	(B15)単位認定試験の問題は科目内容の理解度をはかるのに ふさわしい内容だった	0.299	0.463	0.544
	(B16)授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った	0.320	0.515	0.575
全	(B17)学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	0.392	0.595	0.718
全 体 評	(B18)新しい知識が身につき視野が広がった	0.395	0.527	0.647
価	(B19)この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)	0.430	1.000	0.722
	(B20)この科目の内容には全体として満足している(満足度)	0.388	0.722	1.000

まず、全体的な熱心度(取組姿勢)と科目の理解度、満足度との関係を見ると、熱心度は理解度と 0.430、満足度と 0.388 の相関係数であり、熱心度と理解度・満足度との間には緩やかな相関が見て取れる。また理解度と満足度の相関係数は 0.722 と強い相関が見られ、理解度が高いと満足度も高いと言える。

(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)」と各評価項目の相関を見ると、(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」が相関係数 0.705 と強い相関が見られ

が、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は相関係数 0.520 となっており、印刷教材中心の学習実態が反映されている。さらに全体評価の各評価項目とも緩やかな相関が見られる。

(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」は、取組姿勢以外の各評価項目と相関が見られる。理解度は、放送授業や印刷教材の難易度・分かりやすさ、授業内容が興味や関心の高まるものであったかどうか、新しい知識が身につき視野が広がるものであったかどうかなど、さまざまな項目が要因となっている状況が窺える。さらに、(B-20)「この科目の内容には全体として満足している(満足度)」も取組姿勢以外の各評価項目と相関が見られ、満足度を高める上でいずれの評価項目も影響していることが分かる。なかでも特に相関が強いのは、(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」、(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」、(B-17)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」、(B-18)「新しい知識が身につき視野が広がった」である。科目の満足度を高める上で、印刷教材の分かりやすさ、興味・関心のもてる授業内容、視野が広がるような知識の習得などが特に重要なポイントと言える。

# Ⅲ. 自由記述のまとめ

### Ⅲ-1. 総括

自由記述については膨大な量の回答が寄せられており、全ての回答を原文のまま主任講師に提供している。個々の自由記述意見を熟読するだけでも有益な情報を得ることができるが、ここではさらに学生の意見の全体像を把握するため、自由記述意見の分類・集約を行なった。集約方法は、外国語及びコース(プログラム)ごとに、この科目を受講して①「よかった点」及び②「気になった点」を、その意見内容によって分類整理し、さらにそこから「改善点の提案」をまとめた。

まず学部を集約した結果を概観すると、よかった点としては、

- ・ 今まで知らなかった知識が身についた
- ・ テーマについて考えるきっかけになった、さらに勉強するきっかけになった
- ・ 今後の人生・生活に役立つ
- ・ 仕事・社会活動に役立つ
- ・ 基礎的な知識が得られた、概要が分かった
- ・ 視野が広がった、視点が変わった
- ・ テーマについて興味が深まった
- ・ これまで持っていた知識の整理・深耕に役立った

### 等といった意見が多く見られた。

その他、放送授業のよかった点としては、「講師が熱心だった」「講師の話し方よかった、分かりやすかった」「講師以外の人の話も聞けた」「映像で理解しやすかった」「理解しやすい授業だった」等の意見が多い。

印刷教材については「理解しやすい内容だった」「図表・写真等があり理解しやすかった」「練習問題・課題が役に立った」「内容が充実していた」等の意見が多い。

### 一方、科目内容で気になった点としては、

- ・ 内容が難しい、もっと分かりやすい説明をしてほしい
- ・ 放送授業と印刷教材の内容が異なる
- ・ 分量が多すぎる
- ・ 内容に不足な点、もっと知りたいことがあった
- ・ 内容・範囲が広すぎる、テーマを絞って欲しい
- 具体例・事例を増やして欲しい
- ・ 内容が浅い、もっと詳しい内容にして欲しい
- ・ もっと詳しい説明・解説をして欲しい

等、難易度、分量、内容や説明の不足、内容の広さ、事例不足に関する不満が多かった。

放送授業で気になった点では

- ・ テレビ科目は映像を生かした内容にして欲しい
- ・ テレビ科目にして欲しい
- ・ ポイントが分かりにくい
- ・ 印刷教材を読むだけの授業はやめて欲しい
- ・ 講師の話し方がよくない
- 講義のスピードが速すぎる
- ・ 複数の講師で統一性に欠ける

印刷教材で気になった点は、

- ・ 図表・写真を掲載して欲しい
- ・ 文章表現が分かりにくい、まわりくどい
- ・ もっと詳しい説明・解説をして欲しい
- ・説明が分かりにくい
- ・ 練習問題やその解説を増やして欲しい
- 誤字がある

等が多く見られた。ポイントは理解のしやすさ、話し方、説明方法と言えよう。しかしこれはコース(プログラム)ごとにみた内容であり、さらに個々の科目ごとにどのような意見が多いのかを検討し、今後、その科目に合ったレベルや授業方法の改善に結びつけていくべきであろう。

次に、大学院の集約した結果を見ると、よかった点としては、

- ・ 今まで知らなかった知識が身についた
- ・ 視野が広がった、視点が変わった
- ・ テーマについての興味が深まった
- ・ 仕事・社会活動に役立つ
- ・ 今後の人生・生活に役立つ
- テーマについて考えるきっかけになった、さらに勉強するきっかけになった
- ・ これまで持っていた知識の整理・深耕に役立った

### 等が多い。

一方、授業内容で気になった点としては、

- ・ 内容が難しい、もっと分かりやすい説明をしてほしい
- ・ 具体例・事例を増やして欲しい
- ・ 内容に不足な点、もっと知りたいことがあった
- ・ 内容・範囲が広すぎる、テーマを絞って欲しい
- 内容がばらついている、まとまりがない

また、放送授業で気になった点は

- ・ テレビ科目にして欲しい
- ・ 印刷教材を読むだけの授業はやめて欲しい
- ・ テレビ科目は映像を生かした内容にして欲しい
- ・ 複数の講師で統一性に欠ける

さらに印刷教材で気になった点は、

- ・ 図表・写真を掲載して欲しい
- ・ 練習問題を入れてほしい、増やしてほしい
- ・ 文章表現が分かりにくい、まわりくどい

等が多く見られた。全体としては、学部と同じような意見が多くなっているが、プログラムや科目による差が大きいので、やはり科目ごとの検討が必要である。

## 【学部】「外国語」科目

## よかった点 (単位;人)

科目全般		
意 見	テレビ ラジオ	合計
再学習に役に立った	18	18
理解・知識が深まった	7	7
文法が学べた	6	6
無理なく学べた・理解しやすかった	5	5
学習意欲が湧いた、興味が深まった	4	4
楽しく学べた	4	4
基礎を学ぶことができた	3	3
その他	3	3

印刷教材		
意 見	テレビ ラジオ	合計
CDが役立つ	3	3
内容が良い、分かりやすい	1	1
コラムがよかった	1	1

単位認定試験		
意 見	テレビ ラジオ	合計
単位がとれた	1	1
持ち込み可がよかった	1	1

放送授業		
意見	テレビ ラジオ	合計
講師の話し方がよかった	5	5
つまづき/うなづきコーナーが良かった	5	5
解説が分かりやすかった	3	3
講師が良い	2	2
楽しく受講できた	2	2
その他	5	5

- ●難解な部分の説明を工夫し、学習ポイントを明確にする
- ●授業の進行スピードが早くなりすぎないようにする
- ●ラジオ科目をテレビ科目に変更する
- ●例文を増やす
- ●単位認定試験は、理解度・学習度合いをはかる試験として適切な分量・難易度にする

## 【学部】「外国語」科目

## 気になった点

(単位;人)

科目全般		
意 見	テレビ ラジオ	合計
内容が難しい	2	2
題材が悪い、もっと身近なテーマにした 方がよい	1	1
文法説明が不十分	1	1
もっと基礎的な内容にしてほしい	1	1
内容が浅い、簡単すぎる	1	1
上級または関連する科目を開設してほしい	1	1
その他	3	3

放送授業		
意 見	テレビ ラジオ	合計
進行スピードが速い、早口すぎる	4	4
テレビ科目にしてほしい	3	3
講義が聞きづらい	1	1

印刷教材		
意見	テレビ ラジオ	合計
例文を多くして欲しい	3	3
CDの内容が不十分	1	1
分かりにくい・解説が不十分	1	1
補完教材を加えて欲しい	1	1

単位認定試験		
意 見	テレビ ラジオ	合計
物足りない、簡単すぎて試験として不適 格	7	7

### 【学部】「外国語」科目

#### よかった点

- 基礎を再学習できればと思いこの科目を受講したところ、まさに最適な内容で非常に役に立った。
- 英語をずいぶん勉強していなかったので、わかりにくいかと思っていたが、今までわからなかった (知らなかった)ことも知ることができた。ボリュームもちょうどよくまた勉強できてよかったと 思った。
- 英語の文法が学べて良かった。
- 40 年ぶりの英語ということであったが分り易くて良かったと思う。
- 学生の頃、あまり好きでなかった文法でしたが、分かり易く説明されていて改めてきちんとさらに 勉強してみたいと思うようになった。
- 基本的なものが整理されて、学びやすかった。オシャレに粋にと言う内容で洗練された内容で楽しく学べた。
- 基礎からの学習として、とてもわかりやすく、ためになった。次の学習へのステップとして大いに 役立つと感じた。
- はじめて放送大学で学ぶにあたって英語の再復習をしたいと思い選んだところ会話の内容が新鮮で。先生の丁寧な講義(速度、声の質がわかりやすい)内容で生徒を導くご指導で感謝でいっぱいです。良い印象に残りました。
- 講師のお二人の授業はわかりやすく声も感じもよくて楽しい授業でつまづき/うなずきコーナー のお話も興味深く、失敗談を聞いてやる気が出たりしました。学生時代に学んだことを復習、再認 識出来ためになりました。忘れていたことを思い出しました。
- CD が添付されていたので助かりました。

- 徹底的に低いレベルで終始してもらえる方が、学習する側にとってはありがたいです。網羅的にならないよう、高校の内容まで踏み込まないようにしてもらえる方が、ありがたいです。高レベルの教材は市販本にも多くあるので。
- テンポが早くてラジオのせいもあり録音して集中をかなりしないと授業についていけない事があった。もう少しゆっくりの進行であるとやりやすい気がした。
- ラジオではなくテレビ放送に是非してほしいです。講師の先生の表情を見て学ぶのは、単に音声だけ聞くのと比して、効果がちがうと思います。
- 例文の量がもう少し多いとよいと思った。
- 基礎とはいえ、試験問題簡単すぎる気がします。

## 【学部】「基礎科目」

よかった点

(単位;人)

科目全般			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
今まで知らなかった知識が身についた	99	30	129
テーマについて考える、さらに勉強するきっかけになった	20	11	31
テーマについての興味が深まった	20		20
今後の人生・生活に役立つ	10	9	19
これまで持っていた知識の整理・深耕に役立った	5	9	14
視野が広がった、視点が変わった	4	8	12
仕事・社会活動に役立つ	5	3	8
今後の学習に役に立つ	4	3	7
内容が充実していた、幅広い内容だった	3	4	7
楽しく学べた	2	4	6
知りたかったことを学ぶことができた	4		4
体系的(総合的)に学べた、よくまとまっ ていた	3	1	4
身近な生活に関わる内容だった	3		3
具体例・事例があった	1	2	3
社会に対する理解が深まった		3	3
これまで興味のあった分野を学べた	2		2
基礎的な知識を得られた、概要が分かった	1	1	2
学ぶ、知る楽しみを覚えた	1	1	2
その他	4	4	8

放送授業			
<b>IX</b>			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
複数の講師による各専門分野からの講 義であった	1	4	5
講師が熱心だった、熱意が伝わった	4		4
講師に親しみがもてた	4		4
実際の物や場面・現場を見ることができた	3		3
理解しやすい授業だった	3		3
講師以外の人の話も聞けた	1	1	2
講師の話し方がよかった、分かりやす かった	1		1
講義の内容がよかった	1		1
インターネットで受講できた		1	1
楽しく受講できた		1	1

印刷教材			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
内容が充実していた	1	1	2
練習問題・課題が役に立った		2	2
理解しやすい内容だった	1		1
図表・写真等があり理解しやすかった	1		1

通信指導		
意 見	テレビ ラジオ	合計
添削、コメントをしてもらえた	1	1

単位認定試験		
意見	テレビ ラジオ	合計
単位がとれた	2	2
問題を持ち帰れるのが良かった	1	1

- ●難解な部分の説明を工夫し、学習ポイントを明確にする
- ●内容が広範囲すぎないようにする、テーマを絞る
- ●科目案内で授業内容を誤解のないよう、分りやすく説明する
- ●専門用語の解説を詳しくする
- ●分かりにくい箇所ついて詳しい説明・解説をする
- ●具体例、事例を増やす
- ●内容が浅くなりすぎないようにする
- ●テレビ科目は映像を生かした内容にする
- ●理解しやすい放送授業・印刷教材となるよう工夫する
- ●印刷教材は、図表や写真を増やす

## 【学部】「基礎科目」

## 気になった点

その他

科目全般			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
内容が難しい、もっと分かりやすい説明 <u>を</u> して欲しい	21	5	26
内容に不足な点がある、もっと知りたい ことがあった	11	3	14
分量が多すぎる	7	1	8
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞って 欲しい	4	3	7
期待する内容、科目案内とは違っていた	1	5	6
用語が分からない、解説をしてほしい	4	1	5
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	4		4
具体例・事例を増やして欲しい	2	2	4
内容が浅い、もっと詳しい内容にして欲しい	1	3	4
内容がばらついている、まとまりがない	1	2	3
不要に感じる部分がある	1	2	3
放送授業と印刷教材の関連が分かりに くい	1	2	3
内容を分割すべき	2		2
今後に向けた解決策などもいれてほしい	1	1	2

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
テレビ科目なのに映像を生かした内容に なっていない	6		6
説明が分かりにくい	1	3	4
テレビ科目にして欲しい		3	3
講師の話が聞きづらい	2		2
複数の講師のため統一性・連携に欠ける	1	1	2
講師の話し方がよくない	1	1	2
ポイントが分かりにくい		2	2
印刷教材を読んでいるだけである	1		1
面白みがない	1		1
講師の話し方が早口すぎる		1	1
時間が不足している		1	1

(単位;人)	
--------	--

印刷教材			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
図表・写真を掲載して欲しい	6	2	8
カラー印刷にして欲しい	3		3
放送授業の資料やデータが載せて欲し い	2		2
分かりにくい	1	1	2
まとめや学習のポイントが欲しい	1		1
もっと見やすくしてほしい	1		1
文字や図表が小さい	1		1
難しい漢字に振り仮名が欲しい	1		1
文章表現が分かりにくい、まわりくどい		1	1
もっと詳しい説明・解説をしてほしい		1	1
資料・データが古い、改訂版を出して欲 しい		1	1

単位認定試験	į	
意見	テレビ ラジオ	合計
難しかった	4	4
教材等持ち込み可にして欲しい	4	4

14

### 【学部】「基礎科目」

#### よかった点

- 新しい知識を身に付けることが出来て大変嬉しかった。
- 多様な科目が含まれており、自分が何に興味をもてるか、又は、興味をもてないかを実感すること が出来た。今後の学習の方向性を考える参考になった。
- 漠然としていた漢字という言葉に対しての思いがアジアでの漢字の使われ方と、その変遷を知ることにより、より具体的な興味がもてたこと。
- 日常の生活や常識、目標に役立てる事ができ、大変有り難く思います。
- 今まで履修した基礎的な科目の復習になり、これから履修したい専門科目の準備にも役立った。
- 入学してはじめて選んだ科目ですので、参考文献なども入手できるものはできるだけ読みました。 自分の視野が開けた感じがします。
- 後半の読書の技術、社会調査の技法、論文やプレゼンについて等がすぐに職場等で活かせる知識 だったので良かった。
- 社会を科学的な目で横断的に見ることを実践的に学べた事で、今後深く学習研究する時に大変役立 つ科目でした。キーワードも役に立った。
- 多くの先生から授業をうけられて、幅広い考えに接することがよかった。
- ●最初は教材のページが多いと思いましたが読んでいく内に内容が大変親切に書かれてあり、興味が増してきました。もっと勉強していかなければと教えられた点が多くありました。

- 一般科目としてはとにかく難しいという印象でした。それを理解する事が勉強(学習)だと思いますが、とにかく難解でした。
- 将来に向けての展望に関する部分が少なかった。もう少し紙面を増やして記述しても良いのではないかと感じた。
- 学習内容がやや多すぎるように感じました。
- 範囲が広すぎてすべて薄い知識で終了した感じがある。もう少し項目を減らして丁寧に学習させて 欲しかった。
- 授業科目案内と内容がより文字から読取れる(もっと実践的な内容と理解してしまった)様期待します。専門的な用語の解説が欲しい(事前学習で概要を理解したい)
- 知識のない所から始めたため、用語・人物名等がゴチャゴチャしてしまい分かりづらかった。
- 現代中国における簡体字についてもっと詳しく講義されたい。日中における漢字簡略化についての 考え方の相違を詳述されたい。
- もう少し項目別に関連する市民の具体的で身近な社会実践活動事例を紹介しておいてもらいたい。 関心があれば自分で調べて見ることも出来る。
- 講師の説明が単調すぎる。テレビ科目であるならば、もっと映像に工夫をして欲しい。
- 画面によく出てきた時代年表を教材にも書き入れてほしかった。

## 【学部】「生活と福祉コース」科目

よかった点

(単位;人)

科目全般			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
今まで知らなかった知識が身についた	100	21	121
今後の人生・生活に役立つ	46	2	48
身近な生活に関わる内容だった	17	2	19
テーマについて考える、さらに勉強するきっかけになった	14	3	17
視野が広がった、視点が変わった	11	3	14
仕事・社会活動に役立つ	8	3	11
テーマについての興味が深まった	8	1	9
基礎的な知識を得られた、概要が分かった	5	2	7
内容が充実していた、幅広い内容だった	4	1	5
これまで持っていた知識の整理・深耕に 役立った	1	4	5
いろいろな視点から多角的に学べた	3	1	4
資格取得に役立った	1	3	4
最新の情報や研究が学べた	1	3	4
具体例・事例があった	3		3
体系的(総合的)に学べた、よくまとまっ ていた	2	1	3
受講してよかった	2	1	3
楽しく学べた	2		2
その他	4	2	6

放送授業			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
講師以外の人の話も聞けた	4		4
理解しやすい授業だった	3	1	4
実際の物や場面・現場を見ることができた	2		2
楽しく受講できた	2		2
講義の内容がよかった	2		2
講師の話し方がよかった、分かりやす かった	1		1
映像で理解しやすかった	1		1
インターネットで受講できた	1		1
講師が熱心だった、熱意が伝わった	1		1

印刷教材		
意 見	テレビ ラジオ	合計
理解しやすい内容だった	3	3
図表・写真等があり理解しやすかった	1	1
内容が充実していた	1	1
練習問題・課題が役に立った	1	1

単位認定試験			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
単位がとれた	1	1	2
持ち込み可が良かった	1		1

- ●難解な部分の説明を工夫し、学習ポイントを明確にする
- ●具体例、事例を増やす
- ●専門用語の解説を詳しくする
- ●科目案内で授業内容を誤解のないよう、分りやすく説明する
- ●今後に向けた解決策についても取り入れる
- ●内容が浅くなりすぎないようにする
- ●テレビ科目は映像を生かした内容にする
- ●ポイントを明確にする
- ●印刷教材は、図表や写真を増やす
- ●単位認定試験は、理解度・学習度合いをはかる試験として適切な分量・難易度にする

# 【学部】「生活と福祉コース」科目

	(単位;人)

科目全般			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
内容が難しい、もっと分かりやすい説明 <u>を</u> して欲しい	15	4	19
内容に不足な点がある、もっと知りたい <u>ことがあった</u>	11	1	12
具体例・事例を増やして欲しい	6		6
用語が分からない、解説をしてほしい	6		6
期待する内容、科目案内とは違っていた	3		3
今後に向けた解決策などもいれてほしい	3		3
内容が浅い、もっと詳しい内容にして欲しい	2	1	3
現在の課題・問題点も取り入れて欲しい	2	1	3
もっと専門的にしてほしい	2		2
もっと理論的内容にしてほしい	2		2
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	2		2
分量が多すぎる	1	1	2
最新の情報や研究を知りたかった	1	1	2
その他	14	1	15

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
テレビ科目なのに映像を生かした内容に なっていない	5		5
ポイントが分かりにくい	1	3	4
講師の話し方がよくない	3		3
講師の話が聞きづらい	2	1	3
複数の講師のため統一性・連携に欠ける	2		2
印刷教材を読んでいるだけである	1	1	2
テレビ科目にして欲しい		2	2
原稿を棒読みしている、会話が不自然な 感じ	1		1
講義のスピードが速すぎる	1		1
講師の話し方が早口すぎる	1		1

印刷教材			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
図表・写真を掲載して欲しい	5	2	7
分かりにくい	3		3
文章表現が分かりにくい、まわりくどい	2		2
資料・データが古い、改訂版を出して欲 <u>しい</u>	1	1	2
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	1		1
誤字がある	1		1
もっと見やすくしてほしい		1	1

通信指導		
意 見	テレビ ラジオ	合計
問題文の文章表現が悪い	1	1

単位認定試験			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
難しかった	6	3	9
解答と解説が欲しい	2	1	3
授業や教材の内容と異なる	2		2
理解度や学習度合を図る内容になっていない	2		2
問題文の文章表現が悪い	1		1
問題数が少ない		1	1
通信指導の内容とかけ離れている	-	1	1

### 【学部】「生活と福祉コース」科目

### よかった点

- このような領域の学問があることを初めて知り、15 章のどれもおぼろげに理解していたことをき ちんと文章で表現されてよく理解できました。9章のサイエンスショップについては、かつてイギ リスに住んでいた時、ワークショップと言う言葉を良く耳にしましたが具体的にはどんなものなの か良くわからなかったのですが、今回の学習で少し分かった気がします。
- 生活をする上でちょっとした知識により、よりレベルアップした生活が出来ると感じた。
- 生活の中にも科学が活かされていることが分かり、日々の家事が面白くなった。
- 何気ない日常が学んでみれば様々な専門的な事柄と深く関わり営まれていることを知り、深く知ってみたいという思いになったことは大変良かったと思っております。
- 学生時代に習った事とは、又違った視点を持てた。法律の改正などで知らない部分もあり、勉強に なった。
- 担当している実習指導で障害者を法の上からも理解出来、アドバイスするのに役立った。障害者の 視点から問題を提示している点で分かりやすかった。
- 日本だけでなく、海外(英国)の住まいの取り組みが紹介されていて興味が持てた。
- 障がいについて、理解を深め、障がいを持つ人々の力になりたいと思い、このテーマを学習することにしました。概要について何となくわかったので、自分のできる事をすすんで行っていきたいと思います。
- 障害の種類によって、どんな不便があるか生の声で知ることができて、とてもいい経験になりました。
- 私は将来、家を建てたいと思っていました。だからこの科目を受講して「こういうことが失敗予防になるんだなあ」と感じることができた。印刷教材や授業(放送授業)は比較的、「覚えておくとよいこと」がわかった。(ポイントや何をしたらよいかなど。)

- よく分からない専門的な内容もあり、放送授業でもっと分かりやすく説明していただければと思います。余程読み込んでいないと理解できない部分があった。
- 住まいの防犯対策(具体的な事例、最新の対策等)についても取り上げてほしいと思います。省エ ネ住宅(エコハウス)についても同様。
- 身近な生活知の例をもっと取り上げ、科学的に正しい例、間違えてる例を論じて欲しかった。
- 専門的すぎ、よく理解できない内容や言葉があった。(言葉の説明があったらいいのにと思った。)
- 生活や科学についての知識をもっと詳しく学習できると思って受講しましたが、特に科学が希望通りならず残念でした。
- 動歯事件の記事から問題を明らかにし、将来のビジョンと今の現状を明らかにすべきだと思う。海外のよい例などもたくさん紹介してほしいと思った。
- 放送授業ですが、講師の説明の時、顔ばかりで気になりました。もう少しグラフを映すとか写真を 写すとかして欲しいです。
- 何を覚えればいいかもう少しまとめて欲しい。
- 基礎の分かる様にもう少し図が欲しかった。文章だけでイメージがしにくい。
- インタビューという放送授業から単位認定試験は難しく分かりづらいと思いました。学力優秀の方にはとても魅力的な授業なのかと思いますが私には教材と授業が関連し、単位認定試験にも関連されることが必要であると仕事をしながら学習していく上で感じております。

## 【学部】「心理と教育コース」科目

よかった点 (単位;人)

科目全般		
意 見 テレ	ビ ラジオ	合計
今まで知らなかった知識が身についた	86	86
仕事・社会活動に役立つ	27	27
今後の人生・生活に役立つ	27	27
テーマについて考える、さらに勉強するきっかけになった	21	21
具体例・事例があった	17	17
基礎的な知識を得られた、概要が分かった	15	15
テーマについての興味が深まった	13	13
視野が広がった、視点が変わった	12	12
受講してよかった	8	8
これまで持っていた知識の整理・深耕に	7	7
役立った		
資格取得に役立った	6	6
内容が充実していた、幅広い内容だった	6	6
知りたかったことを学ぶことができた	6	6
体系的(総合的)に学べた、よくまとまっ ていた	5	5
理解しやすい内容だった	5	5
いろいろな視点から多角的に学べた	5	5
他の科目の学習に役立つ	4	4
今後の学習に役に立つ	3	3
楽しく学べた	2	2
学ぶ、知る楽しみを覚えた	2	2
理論的に学ぶことできた	2	2
その他	3	3

放送授業		
意 見	テレビ ラジオ	合計
講師の話し方がよかった、分かりやす かった	9	9
講師以外の人の話も聞けた	7	7
理解しやすい授業だった	6	6
講師が熱心だった、熱意が伝わった	6	6
講義の内容がよかった	5	5
複数の講師による各専門分野から講義であった	4	4
講師の私見・考え方も聞けた	3	3
一人の講師で講義に一貫性があった	2	2
インターネットで受講できた	1	1
楽しく受講できた	1	1

印刷教材		
意 見	テレビ ラジオ	合計
理解しやすい内容だった	6	6
図表・写真等があり理解しやすかった	3	3
内容が充実していた	1	1
キーワード・ポイント等が役に立った	1	1

通信指導		
意 見	テレビ ラジオ	合計
丁寧な指導だった	1	1

		単位認定試験		
	意	見	テレビ ラジオ	合計
単位がとれた			1	1

- ●難解な部分の説明を工夫し、学習ポイントを明確にする
- ●具体例や事例を増やす
- ●放送授業では印刷教材との関連を明確に説明する
- ●内容が浅くなりすぎないようにする
- ●ラジオ科目をテレビ科目に変更する
- ●ポイントを明確にする
- ●印刷教材は、図表や写真を増やす
- ●印刷教材の文章表現を理解しやすい言い回しにする
- ●単位認定試験は、授業や教材に沿ったものから出題する
- ●単位認定試験は、理解度・学習度合いをはかる試験として適切な分量・難易度にする

## 【学部】「心理と教育コース」科目

## 気になった点

(単位;人)

科目全般		
意 見	テレビ ラジオ	合計
内容が難しい、もっと分かりやすい説明 をして欲しい	14	14
具体例・事例を増やして欲しい	12	12
内容に不足な点がある、もっと知りたいことがあった	11	11
放送授業と印刷教材の内容が異なる	8	8
内容が浅い、もっと詳しい内容にして欲しい	7	7
他の科目と内容が重複する	4	4
もっと専門的にしてほしい	3	3
用語が分からない、解説をしてほしい	3	3
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞って 欲しい	2	2
不要に感じる部分がある	2	2
放送授業と印刷教材の関連が分かりに くい	2	2
上級または関連する科目を開設して欲し い	2	2
その他	8	8

放送授業		
意 見	テレビ ラジオ	合計
テレビ科目にして欲しい	20	20
ポイントが分かりにくい	4	4
印刷教材を読んでいるだけである	3	3
講師の話が聞きづらい	3	3
面白みがない	3	3
複数の講師のため統一性・連携に欠ける	2	2
講師の話し方がよくない	2	2
講義のスピードが速すぎる	2	2
その他	5	5

印刷教材				
意 見	テレビ ラジオ	合計		
図表・写真を掲載して欲しい	7	7		
文章表現が分かりにくい、まわりくどい	6	6		
横書きにしてほしい	4	4		
まとめや学習のポイントが欲しい	3	3		
分かりにくい	2	2		
補完教材を加えて欲しい	2	2		
誤字がある	2	2		
その他	5	5		

通信指導		
意見	テレビ ラジオ	合計
難しかった	1	1
理解度や学習度合を図る内容になっていない	1	1
授業や教材の内容と異なる	1	1

単位認定試験		
意 見	テレビ ラジオ	合計
授業や教材の内容と異なる	6	6
理解度や学習度合を図る内容になって	6	6
いない		
難しかった	4	4
物足りない、易しすぎて試験として不適 格	3	3
問題数が少ない	2	2
通信指導の内容とかけ離れている	2	2
解答と解説が欲しい	2	2
教材等持ち込み可にして欲しい	1	1
内容に偏りがある	1	1

### 【学部】「心理と教育コース」科目

#### よかった点

- 新たな知識が増え、今後の仕事、人間関係等など様々な場面において、この知識がいかされると確信して居ります。有難う御座いました。
- 専門学校の教員をしています。20 代初め、24、25 歳の学生達と話していても(授業や重要なこと) 意味が通じないところを多く感じていましたが、この授業で習った事を次に活かせることが多いと 思いました。
- 年齢を問わず生涯学習していく上で、学習の進め方「やる気」のメカニズム等、参考になりました。 自分の子どもは成人していますが、現在の自分にも祖母として孫と接する時にも大いに役立つ内容 でした。
- 自分の仕事に関わるものと思い受講したがとても興味深く学習させていただき、日常の色々な場面においても考えさせられる内容でした。色々な面での環境が変化する一方、人間として普遍的な部分と関わることへの興味を一層持つことになり今後もより深く学んでいきたいと思う。
- 印刷教材にも、また放送授業により、いくつかの事例が紹介されていて、理解を深めるのに役に立ちました。(カウンセリング関係の理解)
- 今まであまり興味の無かった教育分野の視点から心理学を概観できたのでよかった。(本科目は、 認定心理士対象科目であること、試験日が土・日であったため選択しました。)
- 学習が足りず良く理解していないが、受講したことにより、道徳について関心が持てるようになった事。
- 既に受講した他の心理学科目にはなかった哲学的な考え方にふれ、視野が広がると共に、興味深く 学習を進められた。
- 放送授業、講師の方の声のトーン、話されるスピード(速さ)が聞きやすく、教材の 15 回の内容は豊かなものを感じました。
- 図式化はとてもわかりやすく整理され理解しやすかった。文章がとてもわかりやすく噛み砕いて書いてあり頭に入り易かった。

- 表面的な内容は理解できるのですが、内容が深くケースバイケースでもあり、多岐に渡る知識を必要とするので、本当の意味での知識となりうるのは基礎的な学習(心理関係)が修了していることが必須であると思いました。
- もう少し具体的な内容がほしい気がしました。
- 章の内容によってはもっと深く掘り下げてほしかった所もあった。一般的な情報で終わっているも のもあったので、様々な角度から思春期、青年期をとらえた視点を勉強したくなった。
- 印刷教材と放送教材ではそれぞれ独立したような所(章)もあり、良いのか悪いのかが分からないが、 戸惑った。
- 少々やさしすぎる内容だった気がします。単位を取得するには丁度良いですが、もう少し内容が濃くても良いと思います。
- 解説の中で図についての説明や、表についての説明など映像がない分、(絵など)見ていてもわかり づらいところもあった。想像力だけでも限界があるので、心理学の分野は映像があると理解しやす いなと感じました。
- 文章のみの教科書より、図表などを少し入れて視覚情報として入ってくると印象に残るし理解も深まると思う。
- 教材の文章が冗長でポイントが分かり難い。全体の流れがつかめなかった。
- 学習内容と単位認定試験が、ちぐはぐな感じで内容を理解していても、分かりにくいものだった。 あとからもう一度やり直そうとしても解答も無く困った。
- 他の科目に比べて難しかった。試験のひっかけが多かったように思う。通信指導は簡単だったのに ギャップがあった。

## 【学部】「社会と産業コース」科目

### よかった点

	(単位;人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
今まで知らなかった知識が身についた	210	65	275
仕事・社会活動に役立つ	41	4	45
テーマについて考える、さらに勉強するきっかけになった	27	9	36
基礎的な知識を得られた、概要が分かった	26	7	33
視野が広がった、視点が変わった	27	1	28
具体例・事例があった	14	9	23
テーマについての興味が深まった	15	7	22
今後の人生・生活に役立つ	12	4	16
体系的(総合的)に学べた、よくまとまっていた	13	1	14
身近な生活に関わる内容だった	12	2	14
これまで持っていた知識の整理・深耕に役立った	8	6	14
最新の情報や研究が学べた	11	2	13
楽しく学べた	6	1	7
理解しやすい内容だった	4	3	7
現在の課題や問題点を学べた	4	2	6
資格取得に役立った	5		5
いろいろな視点から多角的に学べた	3	2	5
他の科目の学習に役立つ	4		4
受講してよかった	1	2	3
内容が充実していた、幅広い内容だった	1	2	3
知りたかったことを学ぶことができた	1	1	2
その他	7	1	8

11 W 17 Mr			
放送授業			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
講師が熱心だった、熱意が伝わった	8	2	10
講師の話し方がよかった、分かりやす かった	6	4	10
理解しやすい授業だった	5	4	9
講師以外の人の話も聞けた	4	5	9
講義の内容がよかった	4	3	7
実際の物や場面・現場を見ることができた	6		6
映像で理解しやすかった	3		3
図表があり理解しやすかった	3		3
楽しく受講できた	2	1	3
講師の私見・考え方も聞けた	1	2	3
複数の講師による各専門分野から講義であった	1	2	3
その他	3	1	4

印刷教材			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
練習問題・課題が役に立った	5	1	6
図表・写真等があり理解しやすかった	4	1	5
内容が充実していた	3	2	5
理解しやすい内容だった	1	4	5
放送授業と印刷教材が異なる内容だった	3		3

通信指導		
意 見	テレビ ラジオ	合計
手書きのコメントをもらえた	1	1
コメントが良かった	1	1
記述式なのが良かった	1	1

単位認定試験		
意 見	テレビ ラジオ	合計
単位がとれた	2	2
試験内容が適切だった	2	2
通信指導の内容から出題されて良かった	1	1

- ●放送授業では印刷教材との関連を明確に説明する
- ●難解な部分の説明を工夫し、学習ポイントを明確にする
- ●内容が浅くなりすぎないようにする
- ●具体例、事例を増やす
- ●分かりにくい箇所ついて詳しい説明・解説をする
- ●授業で採り上げる素材・テーマを工夫し、興味を持たせる
- ●テレビ科目は映像を生かした内容にする
- ●放送授業で印刷教材を朗読するだけの授業はしない
- ●ラジオ科目をテレビ科目に変更する
- ●印刷教材は、図表や写真を増やす

## 【学部】「社会と産業コース」科目

	(単位;人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
放送授業と印刷教材の内容が異なる	41	7	48
内容が難しい、もっと分かりやすい説明 をして欲しい	34	13	47
内容に不足な点がある、もっと知りたい ことがあった	24	5	29
内容が浅い、もっと詳しい内容にして欲しい	15	5	20
具体例・事例を増やして欲しい	14	1	15
放送授業と印刷教材の関連が分かりに くい	8	3	11
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	6	4	10
もっと生活や実務に即したものにして欲しい	9		9
分量が多すぎる	3	4	7
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞って 欲しい	6		6
今後に向けた解決策などもいれてほしい	5		5
放送授業と印刷教材の内容が同じである	4	1	5
内容に偏りがある	4	1	5
期待する内容、科目案内とは違っていた	3		3
事前に必要な基礎知識・入門書等を教 えて欲しい	3		3
現在の課題・問題点も取り入れて欲しい	2	1	3
用語が分からない、解説をしてほしい	1	2	3
他の科目と内容が重複する	1	2	3
最新の情報や研究を知りたかった	2		2
重複がある	2		2
不要に感じる部分がある	1	1	2
内容を分割すべき	1	1	2
上級または関連する科目を開設して欲しい	1	1	2
その他	20	10	30

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
テレビ科目なのに映像を生かした内容に なっていない	13	1	14
講師の話し方がよくない	4	7	11
テレビ科目にして欲しい		10	10
印刷教材を読んでいるだけである	6	3	9
講義のスピードが速すぎる	6		6
複数の講師のため統一性・連携に欠ける	4		4
現場や講師以外の人の話も聞きたい	3	1	4
ポイントが分かりにくい	3		3
講師の話し方が早口すぎる	3		3
面白みがない	3		3
原稿を棒読みしている、会話が不自然な 感じ	2		2
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	2		2
インタビュー・座談会の時間が長すぎる	2		2
DVDが欲しい	1	1	2
その他	6	2	8

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
図表・写真を掲載して欲しい	7	6	13
分かりにくい	6	4	10
誤字がある	5		5
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	3	1	4
文章表現が分かりにくい、まわりくどい	2	2	4
補完教材を加えて欲しい	3		3
練習問題の解答例・解説が欲しい	2	1	3
もっと見やすくしてほしい	2	1	3
まとめや学習のポイントが欲しい		3	3
構成がよくない	2		2
カラー印刷にして欲しい	2		2
放送授業の資料やデータが載せて欲しい	2		2
その他	4	2	6

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
記述式にして欲しい	2	1	3
問題の解答例・解説が欲しい	2		2
コメントが不満である	1		1
難しかった	1		1
もっとコメントしてほしい	1		1
記述の字数制限に幅を持たせて欲しい	1		1

単位認定試験			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
問題数が多い、時間が足りない	6		6
授業や教材の内容と異なる	3	1	4
解答と解説が欲しい	2	1	3
難しかった	2		2
問題数が少ない	2		2
物足りない、易しすぎて試験として不適 格	2		2
問題文の文章表現が悪い	2		2
記述の字数制限に幅を持たせて欲しい	2		2
理解度や学習度合を図る内容になっていない	1	1	2
その他	3	3	6

### 【学部】「社会と産業コース」科目

#### よかった点

- 私達は今、民主主義を享受している訳であるが、先人達の血と汗の結晶であると深くその偉大さを 理解できた。人間の自由と平等を大切に思う考え方は後世にも引き継いでいく事が、今の我々の役 目と認識する事ができた。
- 普段の業務に近い内容であったため、アカデミックな視点での考察ができた為、より業務への考えが深まった。
- 今までは経済を広く見回してなんとなくわかった気でいたが、深く掘り下げて考えると分からない ことだらけであったことを実感し、更なる学習の必要性に気付かされた。
- だいたいの概要がわかった気がします。これを元にして自分でもう少し掘り下げて勉強したいと思います。
- 視野が広くなり、社会のしくみが、完全ではないが理解することができました。
- 毎回のように特定の企業を事例として取り上げていただき、実践的知識の習得に役立ち感謝しています。
- 身近な環境問題への取り組みの状況や環境法体系整備への考え方の変化などについて、分かり易く 説明され、関心を持ち、高めて行きたいと思うようになった。
- 非常に私にとって興味深く、難しい授業でしたが、技術者だけでなく一般に生活する中でもとても 役立つ知識が得られました。
- 講師の意気込みが強く感じられる。
- 提出不要の練習問題(確認課題)があった点。

- 放送教材と印刷教材が対応していないこと、更に残念なのは学期途中に対応表が送付され、その中でこの対応の不整合が教育効果を考えてのことと強弁されている点です。もし、放送教材と印刷教材が対応していないことに教育効果があるなら、放送大学の全科目でそうすべきです。教授と学生が対面していないことを考えると、放送と印刷教材は対応すべきと考えます。正直、対応表を頂いた後、この授業を続けるか迷いました。
- 難しい。別の科目を取ってからでないとわからない部分多いのかもしれない。
- 正社員と非正社員の仕事の違いや待遇の違いについてもっと詳しく知りたいと思う。同一の仕事を していても大きな差があるように思われる。皆、同じ待遇で働きたいのではないか?
- 全体的に内容が薄く思えました。教養学部でどのような背景の学生が履修するかわからないのでレベルを落としめにするのはやむを得ないかもしれませんが。
- 実務・ケーススタディをもっと取上げて欲しい。
- 放送授業の順序と印刷教材の内容の順序が違っていました。違いに関しては問題ないと思いますが、 放送授業で各回が始まる時に、「今回の行為は印刷教材の第何節の~を参考にして下さい」とのコメントを入れて欲しい。
- グラフの数式をもう少し詳しく教えていただきたかった。数学の勉強不足で、自分の責任ではあるのですが。
- この科目に限らず、テレビという特性がまるで衆議院議員地方区の政見放送のように、講師の顔の アップが放送時間の 50%以上というのはいかがなものか。もっとテレビの特性を十二分に活かし た授業を制作することが望まれます。
- 一方的に聞くので、メリハリがあるともっと聞きやすいと思う。例えば、今まで受けてきて印象に 残っている質問とかブレイクがあると親しみもわく。
- 印刷教材にもう少し画像や写真等がとり入れられていれば、より理解を深めるのに役立つのではないかと思う。

## 【学部】「人間と文化コース」科目

よかった点

(単位;人)

科目全般			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
今まで知らなかった知識が身についた	144	322	466
テーマについて考える、さらに勉強するきっかけになった	22	57	79
テーマについての興味が深まった	23	50	73
基礎的な知識を得られた、概要が分かった た	8	23	31
視野が広がった、視点が変わった	11	19	30
これまで持っていた知識の整理・深耕に 役立った	7	22	29
楽しく学べた	10	18	28
体系的(総合的)に学べた、よくまとまっ ていた	4	17	21
今後の学習に役に立つ	4	15	19
理解しやすい内容だった	2	17	19
受講してよかった	5	9	14
今後の人生・生活に役立つ	2	9	11
内容が充実していた、幅広い内容だった	2	9	11
仕事・社会活動に役立つ	3	7	10
学ぶ、知る楽しみを覚えた	3	7	10
知りたかったことを学ぶことができた	4	4	8
最新の情報や研究が学べた	3	3	6
他の科目の学習に役立つ	1	4	5
いろいろな視点から多角的に学べた	2	2	4
身近な生活に関わる内容だった		3	3
これまで興味のあった分野を学べた	2		2
具体例・事例があった	1	1	2
その他	5	11	16

Le ave to allo			
放送授業			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
講師の話し方がよかった、分かりやす かった	3	23	26
講義の内容がよかった	4	12	16
講師が熱心だった、熱意が伝わった	4	8	12
実際の物や場面・現場を見ることができた	10		10
理解しやすい授業だった		6	6
映像で理解しやすかった	3		3
複数の講師による各専門分野からの講 義であった	2	1	3
講師の私見・考え方も聞けた	2		2
楽しく受講できた	1	1	2
インターネットで受講できた		2	2
その他	1	1	2

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
理解しやすい内容だった	2	16	18
練習問題・課題が役に立った	2	16	18
内容が充実していた	3	14	17
練習問題の解答例・解説が役に立った		7	7
キーワード・ポイント等が役に立った		2	2
その他	1	1	2

17 17 16 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14		
通信指導		
意見	テレビ ラジオ	合計
記述式なのが良かった	3	3
添削、コメントをしてもらえた	2	2

単位認定試験			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
記述式なのがよかった	4	3	7
単位がとれた		3	3
持ち込み可が良かった		2	2

- ●難解な部分の説明を工夫し、学習ポイントを明確にする
- ●内容が広範囲すぎないようにする、テーマを絞る
- ●内容が浅くなりすぎないようにする
- ●放送授業では印刷教材との関連を明確に説明する
- ●専門用語の解説を詳しくする
- ●ラジオ科目をテレビ科目に変更する
- ●放送授業で印刷教材を朗読するだけの授業はしない
- ●印刷教材は、図表や写真を増やす
- ●印刷教材の解説を充実させる
- ●単位認定試験は、理解度・学習度合いをはかる試験として適切な分量・難易度にする

# 【学部】「人間と文化コース」科目

気になった点

(単位;人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容が難しい、もっと分かりやすい説明 をして欲しい	15	52	67
内容に不足な点がある、もっと知りたいことがあった	16	34	50
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞って 欲しい	8	12	20
内容が浅い、もっと詳しい内容にして欲 しい	4	15	19
分量が多すぎる	4	11	15
内容を分割すべき	6	7	13
放送授業と印刷教材の内容が異なる	3	9	12
用語が分からない、解説をしてほしい	2	10	12
放送授業と印刷教材の内容が同じである	2	10	12
内容に偏りがある	5	6	11
期待する内容、科目案内とは違っていた	4	6	10
上級または関連する科目を開設して欲しい	1	9	10
具体例・事例を増やして欲しい		6	6
放送授業と印刷教材の関連が分かりに くい	4	1	5
もっと生活や実務に即したものにして欲しい	1	3	4
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	1	3	4
参考文献を紹介して欲しい		4	4
簡潔に説明してほしい	1	2	3
質問や相談がしたい	1	2	3
もっと実践的な内容にしてほしい	1	1	2
他の科目と内容が重複する	1	1	2
分量を多くして欲しい		2	2
面接授業を実施してほしい	1	2	3
その他	12	22	34

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
テレビ科目にして欲しい		37	37
印刷教材を読んでいるだけである	7	14	21
テレビ科目なのに映像を生かした内容に なっていない	13		13
講師の話し方がよくない	3	5	8
複数の講師のため統一性・連携に欠ける	5	2	7
面白みがない	3	4	7
時間が不足している	1	5	6
講義のスピードが速すぎる	1	4	5
ポイントが分かりにくい	1	2	3
インタビュー・座談会の時間が長すぎる	2		2
DVDが欲しい	1	1	2
講師の話し方が早口すぎる	1	1	2
現場や講師以外の人の話も聞きたい	1	1	2
その他	4	2	6

印刷教材			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
図表・写真を掲載して欲しい	12	28	40
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	5	9	14
文章表現が分かりにくい、まわりくどい	5	8	13
分かりにくい	3	6	9
補完教材を加えて欲しい	1	3	4
索引が欲しい		4	4
カラー印刷にして欲しい	2	1	3
もっと見やすくしてほしい		3	3
難しい漢字に振り仮名が欲しい		3	3
まとめや学習のポイントが欲しい	1	1	2
誤字がある	1	1	2
資料・データが古い、改訂版を出して欲 しい	1	1	2
構成がよくない		2	2
練習問題を入れて欲しい、増やして欲しい		2	2
その他	2	3	5

通信指導			
意 見	テレビラ	ラジオ	合計
選択式にしてほしい	1	1	2
難しかった		2	2
内容に偏りがある	1		1
記述式にして欲しい		1	1
問題文の文章表現が悪い		1	1

単位認定試験			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
問題数が多い、時間が足りない	20	2	22
難しかった	7	7	14
理解度や学習度合を図る内容になっていない	2	10	12
物足りない、易しすぎて試験として不適 格		9	9
問題文の文章表現が悪い	3	3	6
解答と解説が欲しい	2	3	5
通信指導と同じ試験形式にしてほしい	1	3	4
授業や教材の内容と異なる	2	1	3
選択式にしてほしい	2	1	3
判定結果だけでなく採点内容を知りたい	2		2
その他	2	3	5

## 【学部】「人間と文化コース」科目

#### よかった点

- 若い頃から歴史好きでいろいろな概説書を読み漁っていたが、今回の受講で自身の知見がかなり 偏っている点を痛感した。
- 古代の人々に対して、関心が深まりもっとしっかり学習したいと思うようになりました。年表のようなものを自分で作ってみたらよいのだと思っています。
- 中学、高校で習ったこと以上の踏み込みがあり、更に深く知りたいという興味が湧いた。
- 日本文学全般について理解する為の概要が多少なりともつかめたと思う。
- 単に知識が増えただけでなく、日々の生活における視野が広がったように思われます。
- 自分にとってはよい復習になった。忘れていたことを思い出したり確認できたりしたこと。
- 好きな科目だったので学習意欲がわき楽しく学べる。史実を知ることの面白さ興味が湧いた。
- これまでにあまり学ぶ機会の多くなかった近現代史を体系的に学習出来たこと。
- 講師の方の朗読が素晴らしかった。一般的にラジオ科目は印刷教材をそのまま読んでいるだけとい う印象を持っているがこの科目はプラスアルファの部分が多かった。
- 予備知識がほとんどない分野でしたが印刷教材を通読すると、とても良くわかる作りになっていた ので、とても良かったです。

- 内容が難解であり、なじみにくく、理解が困難でした。そのため、記憶する事も充分に出来ず、本 当に難解な科目であると感じました。再試験までにはもっと理解出来るよう努力したいと思ってい ますが、再度放送授業を受講していても、理解が深まらず努力が足りないのかと振り返っています。
- 日本との関係に関連する部分をもう少し充実してほしい。
- 自分としては、あまりにも長い歴史の為なかなかすべてを覚える事ができず大変でした。もう少し 時代をわけるか、簡素化した内容だと助かります。
- 内容が平易すぎ、専門科目には相応しくないと思った。視点は目新しいが内容は一般教養の範囲内 と思う。基礎科目にすればもっと沢山の人にも受講してもらえるし、内容もその方向へ向いている。
- 15 回の授業では、内容が多くて、学びきれない点があった。ページ数の多い印刷教材と、TV の内容量が沢山で大変だった。
- ラジオ放送だったため、テレビで映像などを取り入れて行うともっと分かり易かったのではないかと思います。「感じる」ということで視覚を通じて行うことも1つではないかと感じました。
- 放送授業はほとんど印刷教材の朗読でした。もう少しアドリブというか、講師の力点が判るような話し方にして欲しいと思います。
- 是非「年表」をつけていただきたいと思います。「流れ」を理解するためによろしくお願いします。
- ◆ 教科書の内容をもっと充実させて欲しい。図表も多く放送授業に一部かぶらせて、その他関連する 内容を増やすとか。
- 単位認定テストで、理解度を図るためとはいえ 400 字以内で述べる設問が 3 間は少し多すぎではないでしょうか。

## 【学部】「自然と環境コース」科目

よかった点

(単位;人)

意見	テレビ		
7E 7C	ノレし	ラジオ	合計
今まで知らなかった知識が身についた	205	27	232
テーマについて考える、さらに勉強する きっかけになった	32	2	34
基礎的な知識を得られた、概要が分かった	24	2	26
テーマについての興味が深まった	21	1	22
これまで持っていた知識の整理・深耕に 役立った	20	2	22
視野が広がった、視点が変わった	19	3	22
理解しやすい内容だった	17	3	20
最新の情報や研究が学べた	11		11
楽しく学べた	10		10
体系的(総合的)に学べた、よくまとまっ ていた	9	1	10
他の科目の学習に役立つ	6	1	7
知りたかったことを学ぶことができた	6	1	7
内容が充実していた、幅広い内容だった	5	1	6
仕事・社会活動に役立つ	4	1	5
今後の学習に役に立つ	3	1	4
具体例・事例があった	1	3	4
学ぶ、知る楽しみを覚えた	3		3
理論的に学ぶことできた	3		3
これまで興味のあった分野を学べた	3		3
受講してよかった	2		2
その他	14	3	17

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
理解しやすい授業だった	20	3	23
講師の話し方がよかった、分かりやす かった	8	4	12
映像で理解しやすかった	11		11
実際の物や場面・現場を見ることができた	7		7
実験がよかった	7		7
講師が熱心だった、熱意が伝わった	6	1	7
インターネットで受講できた	2	1	3
楽しく受講できた	2		2
講師に親しみがもてた	1		1
複数の講師による各専門分野からの講義であった	1		1

印刷教材			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
理解しやすい内容だった	8	1	9
練習問題・課題が役に立った	4		4
内容が充実していた	2	1	3
図表・写真等があり理解しやすかった	2		2
練習問題の解答例・解説が役に立った	1		1

通信指導		
意 見	テレビ ラジオ	合計
丁寧な指導だった	1	1

単位認定試験		
意 見	テレビ ラジオ	合計
単位がとれた	4	4
試験内容が適切だった	1	1

- ●難解な部分の説明を工夫し、学習ポイントを明確にする
- ●分かりにくい箇所ついて詳しい説明・解説をする
- ●具体例、事例を増やす
- ●内容が浅くなりすぎないようにする
- ●専門用語の解説を詳しくする
- ●ラジオ科目をテレビ科目に変更する
- ●テレビ科目は映像を生かした内容にする
- ●授業の進行スピードが早くなりすぎないようにする
- ●複数の講師による授業では、講義内容・方法の連携・統一をはかる
- ●練習問題とその解答・解説を多く取り入れる

## 【学部】「自然と環境コース」科目

## 気になった点

(単位;人)

科目全般			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
内容が難しい、もっと分かりやすい説明 をして欲しい	69	11	80
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	22	3	25
内容に不足な点がある、もっと知りたいことがあった	17	3	20
内容を分割すべき	12		12
具体例・事例を増やして欲しい	11		11
上級または関連する科目を開設して欲しい	8	1	9
内容が浅い、もっと詳しい内容にして欲しい	7	2	9
分量が多すぎる	8		8
用語が分からない、解説をしてほしい	7		7
事前に必要な基礎知識・入門書等を教 えて欲しい	5		5
他の科目と内容が重複する	2	3	5
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞って 欲しい	4		4
他の科目との関連を考慮して欲しい	3	1	4
期待する内容、科目案内とは違っていた	3		3
もっと専門的にしてほしい	2	1	3
参考文献を紹介して欲しい	2	1	3
放送授業と印刷教材の関連が分かりに くい	2		2
放送授業と印刷教材の内容が異なる	2		2
質問や相談がしたい	1	1	2
その他	22	2	24

放送授業			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
テレビ科目にして欲しい	1	11	12
テレビ科目なのに映像を生かした内容に なっていない	10		10
講義のスピードが速すぎる	9		9
複数の講師のため統一性·連携に欠ける	9		9
時間が不足している	7		7
講師の話し方が早口すぎる	6		6
講師の話し方がよくない	5		5
講師の相手がよくない	4		4
講師の話が聞きづらい	3		3
DVDが欲しい	3		3
説明が分かりにくい	3		3
対話形式の授業でない方が良い	3		3
その他	2		2

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
練習問題の解答例・解説が欲しい	11	1	12
図表・写真を掲載して欲しい	6	3	9
練習問題を入れて欲しい、増やして欲しい	5	3	8
誤字がある	4	4	8
練習問題が難しい、本文と関連がない	7		7
分かりにくい	6	1	7
カラー印刷にして欲しい	5		5
まとめや学習のポイントが欲しい	4		4
索引が欲しい	4		4
図表や写真が見にくい・不鮮明	4		4
文章表現が分かりにくい、まわりくどい	3		3
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	3		3
放送授業の資料やデータが載せて欲しい	3		3
補完教材を加えて欲しい	2	1	3
参考資料等を掲載して欲しい	1	1	2
その他	2		2

7. 后长***		
通信指導		
意 見	テレビ ラジオ	合計
課題を増やした方がよい	2	2
もっとコメントしてほしい	2	2
記述式にして欲しい	2	2
難しかった	1	1
易しすぎる	1	1
問題の解答例・解説が欲しい	1	1
授業や教材の内容と異なる	1	1
理解度や学習度合を図る内容になっていない	1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
物足りない、易しすぎて試験として不適 格	8		8
理解度や学習度合を図る内容になって いない	4	1	5
難しかった	4		4
解答と解説が欲しい	4		4
教材等持ち込み可にして欲しい	2		2
問題数が少ない	2		2
問題文の文章表現が悪い	2		2
授業や教材の内容と異なる	1		1
記述式にして欲しい	1		1
選択式にしてほしい	1		1

### 【学部】「自然と環境コース」科目

#### よかった点

- もともと関心があり、一般教養書(ex、新書の類)で理解しようとしましたが、不十分で疑問ばかりが残りましたが、本講義で疑問点は解消いたしました。
- この科目は入門のそのまた入門と思われるような、全く知識のなかった私でも、入りやすい内容であった。とても気を良くして、本格的に勉強したいと思い、問題集を購入して現在も取り組んでいます。ありがとうございました。
- 野草などに興味を持ったのがきっかけでこの授業を受けてみようと思ったが、植物についての基礎 的な知識が身につき、一層自然を楽しめるようになった。
- ◆ 今まで知らなかった分野についてある程度理解できたので、これから関連分野について関心をもつことができる。
- 知っている事柄については、知識を体系的に整理出来、また、知らない事柄については、最先端に 近い知識や考え方を知る事が出来た。
- 物事等を平面的にとらえがちでしたが、少しは立体的に考えられるようになった気が致します。
- 基本的なレベルから取り上げており、そのレベルから徐々に上げていくことで理解のし易いものだった。
- 放送授業、印刷教材共に分かりやすかった。質問への回答も迅速で丁寧であった。
- 教師の話し方がハッキリしていて良かった。
- 印刷教材が分かり易く、抽象的で難解な理論の理解に向けて親切に書かれていた。

- 自分にとっては難解な学科だったので感じる事はもっと分かりやすくしてほしいと思います。
- ●理論とそれを基礎付ける実験事実とのつながりについてより詳細な解説があれば、さらに良いものとなると感じる。
- もう少し食物としての植物を知りたかったし、地域性による進化の違いなどあると、視野が広がったと思います。
- 内容がとても盛沢山で放送授業 45 分ではとても盛り切れないのではないかと思います。内容を 1 と 2 とに分けて頂き、1 年かけてじっくりやって頂けないかと思います。
- 非常に難解である。年寄りにでも理解出来るような例(具体的な)を挙げながら進めて欲しい。
- 今後もこれに続く第二段、第三段の科目を設けてもらいたい。
- 基礎的なことが中心だっただめ、もっと発展的な内容にしても良いと思う。
- 1~2ヶ所テキストの数式展開がどうしてそうなるのか理解できない場所があり、(多分、本人の数学力の不足の為に)"ラジオ放送"よりできれば"TV"で学べたほうが嬉しいのにな・・・と。
- 放送授業に動画を多く入れて欲しい。印刷教材と同じような画像では・・・と思う。
- 豊富に用意されている演習問題、演習問題解答有難うございます。通信指導の添付の自習型問題、 解答及び丁寧な解説有難うございます。演習はどうすれば解答に至るか分からない事があります。 自習問題ほど丁寧で無くとも、解き方考え方を添えて頂ければ、大変有り難いと思います。

# 【学部】「夏季集中」科目

よかった点 (単位:人)

科目全般		
意 見	テレビ ラジオ	合計
今まで知らなかった知識が身についた	153	153
仕事・社会活動に役立つ	30	30
テーマについて考える、さらに勉強する きっかけになった	26	26
具体例・事例があった	14	14
基礎的な知識を得られた、概要が分かった た	11	11
視野が広がった、視点が変わった	8	8
今後の人生・生活に役立つ	8	8
これまで持っていた知識の整理・深耕に役立った	6	6
テーマについての興味が深まった	6	6
資格取得に役立った	5	5
理解しやすい内容だった	4	4
体系的(総合的)に学べた、よくまとまっ ていた	3	3
楽しく学べた	3	3
他の科目の学習に役立つ	2	2
学ぶ、知る楽しみを覚えた	2	2
その他	9	9

放送授業		
意見	テレビ ラジオ	合計
講師の話し方がよかった、分かりやす かった	6	6
インターネットで受講できた	4	4
理解しやすい授業だった	3	3
講師が熱心だった、熱意が伝わった	3	3
講師に親しみがもてた	1	1
講義の内容がよかった	1	1

印刷教材		
意見	テレビ ラジオ	合計
理解しやすい内容だった	3	3
内容が充実していた	3	3
図表・写真等があり理解しやすかった	2	2
練習問題・課題が役に立った	2	2
練習問題の解答例・解説が役に立った	2	2

通信指導		
意 見	テレビ ラジオ	合計
コメントが良かった	5	5
記述式なのが良かった	4	4
添削、コメントをしてもらえた	3	3

単位認定試験		
	テレビ ラジオ	合計
問題を持ち帰れるのが良かった	2	2
単位がとれた	1	1

### 主な改善点の提案《次項「気になった点」より》

- ●放送授業では印刷教材の内容だけでなく、教材以外も取り入れる
- ●難解な部分の説明を工夫し、学習ポイントを明確にする
- ●専門用語の解説を詳しくする
- ●ラジオ科目をテレビ科目に変更する
- ●放送授業で印刷教材を朗読するだけの授業はしない
- ●授業の進行スピードが早くなりすぎないようにする
- ●印刷教材は、図表や写真を増やす
- ●理解しやすい放送授業・印刷教材となるよう工夫する
- ●通信指導は、今後の学習の役に立つコメントを行う
- ●単位認定試験は、理解度・学習度合いをはかる試験として適切な分量・難易度にする

# 【学部】「夏季集中」科目

# 気になった点

(単位;人)

科目全般		
意 見	テレビ ラジオ	合計
放送授業と印刷教材の内容が同じであ る	5	5
他の科目と内容が重複する	4	4
内容が難しい、もっと分かりやすい説明をして欲しい	3	3
用語が分からない、解説をしてほしい	3	3
内容に不足な点がある、もっと知りたいことがあった	2	2
分量が多すぎる	2	2
今後に向けた解決策などもいれてほしい	2	2
もっと実践的な内容にしてほしい	2	2
質問や相談がしたい	2	2
放送授業と印刷教材の内容が異なる	2	2
その他	21	21

放送授業		
意見	テレビ ラジオ	合計
テレビ科目にして欲しい	20	20
印刷教材を読んでいるだけである	6	6
講義のスピードが速すぎる	3	3
講師の話が聞きづらい	2	2
講師の話し方がよくない	2	2
説明が分かりにくい	1	1
面白みがない	1	1
講義のテンポが良くない	1	1

印刷教材		
意見	テレビ ラジオ	合計
図表・写真を掲載して欲しい	6	6
分かりにくい	3	3
文章表現が分かりにくい、まわりくどい	1	1
構成がよくない	1	1
資料・データが古い、改訂版を出して欲 しい	1	1
もっと見やすくしてほしい	1	1
放送授業の資料やデータが載せて欲しい	1	1

通信指導		
意 見	テレビ ラジオ	合計
コメントが不満である	13	13
難しかった	2	2
問題文の文章表現が悪い	2	2
課題を増やした方がよい	1	1
もっとコメントしてほしい	1	1
選択式にしてほしい	1	1
内容に偏りがある	1	1
記述の字数制限に幅を持たせて欲しい	1	1

単位認定試験			
意 見	テレビ ラジオ	合計	
難しかった	6	6	
授業や教材の内容と異なる	1	1	
問題数が少ない	1	1	
問題数が多い、時間が足りない	1	1	
通信指導の内容とかけ離れている	1	1	
通信指導と同じ試験形式にしてほしい	1	1	
内容に偏りがある	1	1	

#### 【学部】「夏季集中」科目

#### よかった点

- 自分では気付くことが出来なかったことが学ぶことによって、気付く事が出来たことは大きな財産 になりました。
- 教育現場で日々実践していることが、発展させていくとどんな形態をとれるのか。理想的な学校像を思い描きその為に必要な多くの手だて(ヒント)を得ることができた。
- なかなか、本(市販の)では、わからないこと、実感が湧かないことがあったが、放送を聴き、テキストで学ぶことで自分ならこうしてみたい、やってみたいという思いがすごく沸いてきて本当に良かった。
- 放送教材は具体的な例が紹介されていてすぐにでも学校で般化できそうだ(簡単にはいかないが)と感じることができた。
- 学校教育における学校図書館の位置、あり方を基本から学ぶことができました。
- 身近でない分野だったので、自分に知識が身に付くことによって視野が広がったと思います。
- 以前から学びたいと思っていた分野だったので大いに今後に生かせる内容を修得できて満足しています。
- 学校図書館を運営することについて各章も熟読して考え知識を整理することができた。
- 印刷教材に書かれている事以上のお話をして下さる事もあり、印刷教材に思わず書き込んでしまう フレーズも多くありました。「ただ教科書を読む」だけのテレビ講座でないところが特に良かった です。
- 印刷教材はポイント押さえてあり取り組みやすかった。

- DVD 視聴といっても音声のみ、テキスト(印刷教材)を中心になぞるだけの講義だったように感じました。限られた時間の中でみな臨んでいると思うので、重複しないような工夫が求められると思います。
- 他の科目と内容的に重複している部分もありましたが、それぞれの科目に必要なら仕方ないかなとは思いました。ただ、「ここは他の科目でも触れている」等のコメントがあると、頭が整理しやすいと思います。
- 全体を通して何が一番重要なのか、よくわからなかった。
- 言語は普段あまり使わないものが多い為、言葉を理解するのに苦労した。例えば、退行が赤ちゃん 返りというように例をあげて説明してもらえると理解しやすく、頭に入っていきやすいと思った。 この科目は特殊なので特に思いました。
- ラジオ科目しかなかったのであまり集中できなかった。テレビだと画面を見ながら、飽きずに集中できると思う。今回殆んど印刷教材だけで勉強しました。
- ラジオに関して、テキストの朗読のように感じた。
- 放送授業は 45 分の為、ポイントをおさえた説明は分かりやすかったが、もう少しスローペースで 学習できれば良いと思った。早い為聞き取れない時があったので毎回テープに録音し学習をした。
- テキストのなかに写真や図表などをより多く取り入れ、理解し易いものを作る工夫をしてもらいたい。
- 通信指導のコメントがあまりにも酷評だったので、やる気が失せました。出題意図を勘違いしたことについて、「勉強不足で資格をとるのは恥ずべきこと」と書かれました。勉強は十分したつもりです。顔が見えない一方通行の通信講座であるゆえに、もう少し配慮が欲しいと思いました。
- 単位認定試験が難しかった。少し簡単にと思いつつ自分の勉強がたらなかったのだと反省します。

# 【大学院】「生活健康科学プログラム」科目

よかった点 (単位;人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
今まで知らなかった知識が身についた	31	81	112
テーマについて考える、さらに勉強する きっかけになった	7	26	33
今後の人生・生活に役立つ	12	20	32
仕事・社会活動に役立つ	5	16	21
これまで持っていた知識の整理・深耕に役立った	8	12	20
視野が広がった、視点が変わった	2	10	12
テーマについての興味が深まった	3	7	10
今後の学習・研究に役にたつ		6	6
最新の情報や研究が学べた	2	3	5
基礎的な知識を得られた、概要が分かった	2	2	4
理解しやすい内容だった		3	3
現在の課題や問題点を学べた		3	3
内容が充実していた、幅広い内容だった	1	1	2
具体例・事例があった		2	2
他の科目の学習に役立つ		2	2
楽しく学べた		2	2
これまで興味のあった分野を学べた		2	2
体系的(総合的)に学べた、よくまとまっていた		2	2
その他	1	2	3

放送授業		
意見	テレビ ラジオ	合計
複数の専門家の講義を聞けた	1 1	2
講師が熱心だった、熱意が伝わった	1	1
講義の内容がよかった	1	1
講師以外の人の話も聞けた	1	1
講師の話し方がよかった、分かりやす かった	1	1

印刷教材			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
理解しやすい内容だった	1	1	2
図表・写真等があり理解しやすかった		1	1
キーワード・ポイント等が役に立った		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
単位がとれた	1	2	3
持ち込み可がよかった	1		1

### 主な改善点の提案《次項「気になった点」より》

- ●難解な部分の説明を工夫し、学習ポイントを明確にする
- ●内容が浅くなりすぎないようにする
- ●科目案内で授業内容を誤解のないよう、分りやすく説明する
- ●分かりにくい箇所ついて詳しい説明・解説をする
- ●内容が広範囲すぎないようにする、テーマを絞る
- ●放送授業では印刷教材の内容だけでなく、教材以外も取り入れる
- ●内容や解釈・説において一方に偏らない
- ●ラジオ科目をテレビ科目に変更する
- ●複数の講師による授業では、講義内容・方法の連携・統一をはかる
- ●印刷教材は、図表や写真を増やす

# 【大学院】「生活健康科学プログラム」科目

気になった点

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容が難しい、もっと分かりやすい説明 をして欲しい	13	8	21
内容に不足な点がある、もっと知りたい ことがあった	2	12	14
内容が浅い、もっと詳しい内容にして欲 <u>しい</u>	1	4	5
期待する内容、科目案内とは違っていた	2	2	4
分量が多すぎる	2	1	3
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	2	1	3
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞って 欲しい	1	2	3
放送授業と印刷教材の内容が同じである	1	2	3
内容に偏りがある		3	3
もっと生活や実務に即したものにして欲しい	1	1	2
参考文献を紹介して欲しい	1	1	2
もっと専門的にしてほしい		2	2
具体例・事例を増やして欲しい		2	2
内容がばらついている、まとまりがない		2	2
その他	5	10	15

放送授業			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
テレビ科目にして欲しい	1	7	8
複数の講師のため統一性・連携に欠ける	1	3	4
テレビ科目なのに映像を生かした内容に なっていない	2		2
講義のスピードが速すぎる	1	1	2
印刷教材を読んでいるだけである	1		1
原稿を棒読みしている、会話が不自然な 感じ		1	1
講師の話が聞きづらい		1	1
ポイントが分かりにくい		1	1
もっと詳しい説明・解説をしてほしい		1	1

印刷教材		
意 見	テレビ ラジオ	合計
図表・写真を掲載して欲しい	2	2
資料・データが古い、改訂版を出して欲 しい	2	2
分かりにくい	1	1
複数の筆者による執筆で統一性に欠ける、重複がある	1	1
補完教材を加えて欲しい	1	1
練習問題の解答例・解説が欲しい	1	1

(単位;人)

通信指導			
意 見	テレビラ	ジオ	合計
選択式にしてほしい	1	1	2
もっとコメントしてほしい		1	1

単位認定試験		
意 見	テレビ ラジオ	合計
難しかった	1	1
問題数が少ない	1	1
通信指導の内容とかけ離れている	1	1
通信指導の内容と同じである	1	1
理解度や学習度合を図る内容になっていない	1	1
選択式にしてほしい	1	1
問題文の文章表現が悪い	1	1

### 【大学院】「生活健康科学プログラム」科目

#### よかった点

- 一人の生活者として、日常にかかわる様々なことについて、新しい発見があった。今後の自分自身の生活についても、大変役に立ちました。
- 生活の質の向上について考える機会となった。また、自立と共生について改めて学べた。
- 毎日の生活に役立つ科目でした。興味のある内容について詳しく知る事ができた。
- 日々の仕事では、つい目先のことに流されてしまうので、深く考える点で役立った。
- ◆ 今までの知識の整理と再発見(新しい内容、分野等)が出来て良かったです。
- 生活という広い視野に立ちながら、その中から健康を理解するという考え方を持てたことは、よ かったと思っている。
- 看護の基本的概念と看護の現場での倫理的問題の考え方がよく理解でき、看護倫理の分野に興味を 持ちました。
- このところ母の介護(看護)のため、医療関係の方と話す機会が多い生活をしています。この科目を受講して、医療者側の問題を理解する助けになりました。また、引用(参考)文献は次の学習の参考になります。
- 看護系のいろいろな先生の話が聞け、大変参考になりました。
- 教科書は大変良く出来ていると思いました。それに呼応して、理解するのが大変だった。

- 一部で化学式を多用しているが、まとめた表現がとれると更に良くなろう。細かい化学構造は学習ということでは知らなくても良い。実際に対象として扱う必要が生じたら、知る必要があるでしょうけれど。
- 現在、充分研究されていない分野 (アジリティ、バランス感覚) についても簡潔に言及があっても よいと感じた。
- いろいろな事を3章位で学ばなければならないので、内容がどうしても広く浅い感じがしました。 (生活の質の部分以外)。
- 化学式が多すぎる。科目名と案内を考えれば、小生の様な素人からみると求めたい事が合致していない。前年比的考え方が強すぎるのでは?
- 難しい内容だったので、もう少し内容量を減らすとより十分な学習ができたと思います。
- 高齢者に特有な疾患と注意点は病態生理をくわしく説明してほしい。生涯リハビリテーションと連動した運動、スポーツの視点もほしい。
- 内容が広い領域にまたがっていたので、やや盛りたくさんの感想を受けた。生活習慣病予防の視点に絞り、生体内における学校とのかかわりについて限定してほしかった。
- 教材どおりの授業がほとんどだったと思います。教材を予習していると、もう少し教材と違う部分や+αというのがあればと思います。同じだと、放送も流して聞いてしまうこともあり、もう少し楽しみがあるとうれしいです。
- 私は受講科目を決めるときに、それがテレビ科目かどうかを判断材料の一つにしている。それは映像の持つ情報量及びインパクトの大きさに期待するからである。その観点から、さらに映像情報を充実して欲しい。
- もう少しイラストや図表があれば、ラジオ科目として、より良い教材になると感じました。

# 【大学院】「人間発達科学プログラム」科目

#### よかった点

(単位;人)

科目全般			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
今まで知らなかった知識が身についた	18	35	53
仕事・社会活動に役立つ	13	4	17
テーマについて考える、さらに勉強するきっかけになった	4	12	16
テーマについての興味が深まった	4	6	10
基礎的な知識を得られた、概要が分かった	1	9	10
これまで持っていた知識の整理・深耕に役立った	2	7	9
視野が広がった、視点が変わった	1	7	8
今後の学習・研究に役にたつ	1	5	6
具体例・事例があった	3	2	5
今後の人生・生活に役立つ	1	3	4
理解しやすい内容だった	1	2	3
楽しく学べた		3	3
現在の課題や問題点を学べた	2		2
体系的(総合的)に学べた、よくまとまっ ていた		2	2
その他		5	5

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
講師以外の人の話も聞けた	8		8
実際の物や場面・現場を見ることができた	4		4
講師が熱心だった、熱意が伝わった	2	1	3
理解しやすい授業だった	1	1	2
映像で理解しやすかった	1		1
講師に親しみがもてた	1		1
対話形式の授業がよかった		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
理解しやすい内容だった	1	5	6
内容が充実していた	2		2
図表・写真等があり理解しやすかった		2	2
練習問題・課題が役に立った		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
持ち込み可がよかった		2	2
問題を持ち帰れたのがよかった	1		1
単位がとれた		1	1

# 主な改善点の提案《「気になった点」より》

- ●難解な部分の説明を工夫し、学習ポイントを明確にする
- ●具体例、事例を増やす
- ●放送授業では印刷教材の内容だけでなく、教材以外も取り入れる
- ●内容が浅くなりすぎないようにする
- ●現在の課題や問題点、最新の情報についても取り入れる
- ●放送授業では印刷教材との関連を明確に説明する
- ●ラジオ科目をテレビ科目に変更する
- ●放送授業で印刷教材を朗読するだけの授業はしない
- ●練習問題とその解答・解説を多く取り入れる

# 【大学院】「人間発達科学プログラム」科目

	(単位;人)

科目全般			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
内容が難しい、もっと分かりやすい説明 をして欲しい		9	9
具体例・事例を増やして欲しい	4	3	7
放送授業と印刷教材の内容が同じであ る		5	5
内容が浅い、もっと詳しい内容にして欲しい	2	2	4
内容に不足な点がある、もっと知りたいことがあった	1	3	4
現在の課題・問題点も取り入れて欲しい	3		3
放送授業と印刷教材の関連が分かりに くい	2	1	3
期待する内容、科目案内とは違っていた	1	1	2
内容がおもしろくない	1	1	2
もっと生活や実務に即したものにして欲しい		2	2
もっと詳しい説明・解説をしてほしい		2	2
不要に感じる部分がある		2	2
その他	1	6	7

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
テレビ科目にして欲しい		12	12
印刷教材を読んでいるだけである		5	5
テレビ科目なのに映像を生かした内容に なっていない	2		2
原稿を棒読みしている、会話が不自然な 感じ		1	1
複数の講師による議論が分かりにくい		1	1
講師の話し方がよくない		1	1
DVDが欲しい		1	1
説明が分かりにくい		1	1
放送時間帯がよくない		1	1

CO 17/1-1-1			
印刷教材			
意 見	テレビ ラジ	オ	合計
練習問題を入れて欲しい、増やして欲しい		4	4
練習問題の解答例・解説が欲しい		2	2
まとめや学習のポイントが欲しい		2	2
資料・データが古い、改訂版を出して欲 しい	1		1
もっと詳しい説明・解説をしてほしい		1	1
参考資料等を掲載して欲しい		1	1

通信指導		
意 見	テレビ ラジオ	合計
問題の解答例・解説が欲しい	1	1
易しすぎる	1	1

単位認定試験			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
理解度や学習度合を図る内容になっていない	2		2
解答と解説が欲しい	2		2
難しかった	1	1	2
問題数が多い、時間が足りない		2	2
通信指導と同じ試験形式にしてほしい		2	2
教材等持ち込み可にして欲しい	1		1

### 【大学院】「人間発達科学プログラム」科目

#### よかった点

- 発達が人間の生涯にわたる継続的な過程だということがよく理解できた点。
- 教育にかかわる仕事をしていますが、自分の仕事内容を多面的にとらえる事ができたのがよかった と思います。主に理論的な面で。
- これから先に取り組みたいと思っていた内容が、具体的な例で挙げられていたこと。参考にできる ように、これからも勉強を続けたい。
- スクールカウンセラーにあまり興味がない人でも、興味を持って学ぶことができた。
- 統計について基礎から学びたかったので、全くわからないところから積み重ねるのに、わかりやすかったです。
- 体験的に理解している卑近な事実を、改めて整理した形で認識することができた。
- 幼稚園教諭を続ける上で、人間の生涯にわたる変化の過程をおって学ぶことの大切さを再認識しながら興味深く臨むことが出来た。社会人として働きながら大学院で学ぶ目的である視野を広げるという点でも充分満足できた。
- 心理学の研究、臨床心理学の研究をする為には避けて通れない、客観的な事実・データの解析法を 学ぶ大きな糸口になったこと。参考文献をたくさん紹介してあり、いくつもの参考書を購入するな どして、"この科目"の理解を深めたいと自らが意識的に努力したこと。大学院に進みたいと考え ているので、そのための必須条件として修得したいと考えたこと。
- 現場の声がとりあげられており、未知のことを知ることができました。
- 他の参考書よりもずっとわかりやすく解説されていた点。入門書として最適。大学院教師をしている妻が、自分のゼミ生向けに利用していました。

- 全体的に難しく、理解するのが大変だった。統計の基礎を理解していないと理解できない点も多い。
- 表面的な話になりがちなのは、やむをえないが、人生後半部分の具体例がもっとほしかった。
- 印刷教材と放送がまったく同じで、聞くことの意味に疑問を感じた。理解を深める為には、違った 角度からの説明であった方が良かったかと思う。
- 「研究」するに至らなかった。更に細分化した分析、応用があれば良かった。
- 老人期の健康問題に関する章が欲しかった。
- 本音にせまる部分を多くすると興味深い。アンケート結果や聞き取り調査など。学校でカウンセラーは感謝されているのか etc。
- 印刷教材と放送内容が少々順が違う時があり、放送を聞きながら文字が追いづらかった。
- 細かい表の数値の計算方法について、ラジオでは分かり辛く、印刷教材を見ることが多かったが、 印刷教材の説明も理解するのに苦労した。計算していく過程が映像としてあると、理解が容易にな ると思う。
- 講師が教材を一字一句読む講義は、不誠実でアンプロフェッショナルである。他科目でも目にあまるケース多々ある。改善を求めたい。
- 練習問題を更に多く掲載して、演習の形式に発展させてほしい。

# 【大学院】「臨床心理学プログラム」科目

よかった点

(単位;人)

科目全般		
意見	テレビ ラジオ	合計
今まで知らなかった知識が身についた	13	13
テーマについて考える、さらに勉強するきっかけになった	7	7
テーマについての興味が深まった	3	3
視野が広がった、視点が変わった	3	3
基礎的な知識を得られた、概要が分かった	3	3
具体例・事例があった	2	2
理解しやすい内容だった	2	2
今後の学習・研究に役にたつ	2	2
その他	3	3

11		
放送授業		
意見	テレビ ラジオ	合計
映像で理解しやすかった	1	1
実際の物や場面・現場を見ることができた	1	1
講師が熱心だった、熱意が伝わった	1	1
楽しく受講できた	1	1

印刷教材		
意見	テレビ ラジオ	合計
内容が充実していた	1	1

# 主な改善点の提案《次項「気になった点」より》

- ●難解な部分の説明を工夫し、学習ポイントを明確にする
- ●具体例、事例を増やす
- ●内容が広範囲すぎないようにする、テーマを絞る
- ●現在の課題や問題点、最新の情報についても取り入れる
- ●科目案内で授業内容を誤解のないよう、分りやすく説明する

### 気になった点

(単位;人)

科目全般		
意見	テレビ ラジオ	合計
内容が難しい、もっと分かりやすい説明 をして欲しい	3	3
具体例・事例を増やして欲しい	2	2
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞って 欲しい	2	2
内容に不足な点がある、もっと知りたいことがあった	2	2
最新の情報や研究を知りたかった	2	2
期待する内容、科目案内とは違っていた	2	2
もっと生活や実務に即したものにして欲しい	1	1
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	1	1
内容がばらついている、まとまりがない	1	1
その他	2	2
·		

放送授業		
意 見	テレビ ラジオ	合計
印刷教材を読んでいるだけである	1	1
複数の講師のため統一性・連携に欠ける	1	1
講師の話し方がよくない	1	1
講師の話し方が早口すぎる	1	1

印刷教材		
意 見	テレビ ラジオ	合計
練習問題の解答例・解説が欲しい	1	1
文字や図表が小さい	1	1

通信指導		
意 見	テレビ ラジオ	合計
問題文の文章表現が悪い	1	1

単位認定試験		
意 見	テレビ ラジオ	合計
問題数が多い、時間が足りない	1	1
理解度や学習度合を図る内容になって いない	1	1
選択式にしてほしい	1	1
問題文の文章表現が悪い	1	1

#### 【大学院】「臨床心理学プログラム」科目

#### よかった点

- 心理学が社会学とのインターフェイスにおいて、社会心理学という広がりを持った点が理解出来た。 心理学が社会に貢献している面を知ることが出来た。
- エスノグラフィの項が大変考えさせられ、フィールドワークの参考になった。
- 社会心理学に期待していた内容以上に、大きな視点に興味を持てた。服従の心理研究からちょうど時期的にも戦争という問題にも広がり、自分の時間がもう少し取れたら、深く追求してゆきたい課題となった。
- 臨床を学び、現場で働いている中で、迷い悩むことがありましたが、社会心理学特論を受講することで新たな視点を持つことができたと思います。特に自分にとって関心の高かったテーマは、集団、文化、ポジティブ心理学、犯罪、非行の社会心理学です。教科書のまえがきに挙げられていた「しかし、真実はともかく、現実は混沌の中にある。」という言葉を胸に、更に学習を進めていきたいと思います。ありがとうございました。
- 社会心理学については殆ど知識 0 の状態で学んだので「社会心理学とは」という概論と必要性がよくわかった。
- 実際の研究成果や方法が含まれており、興味深く学習できた。
- 学部の社会心理学を受けていなくても内容についていける構成になっているところ。
- フィールドワークの章が興味深かった。臨床心理を学ぶのに役に立つと思った。

- フィールドワークについて、よく分かったが文化的な違いがありすぎて、なかなか理解出来ない部分もあった。研究の新しいものも知りたかった。(我が国内での)
- 7 章、14 章を分章して研究例をもっと多く紹介してほしい (より有益なので)。各章毎に設けられている研究課題についても、通信指導の自習型問題の解答、解説のような、何か照合できるものがあればよいと思いました。
- 社会心理学は 15 回の短期間では学びきれるものでなく、もう少し分散して授業を受けたかった。 大きな社会と小さな社会の範囲が広すぎて、内容が浅いものに感じている。
- フィールド社会心理学に力点を置いた教材であったけれども、もう少し多様性があれば良かったように思います。
- トピックはアフリカの民族や東北の少し古めの話が多かったように思う。もう少し新鮮な話題があった方がよいと思う。
- ◆ 社会心理学というより、文化人類学に近いと思った。数年前、放送大学で社会心理学の科目を受講したが、方向性の違いに非常にとまどった。大学での社会心理学をふまえた内容の授業を作れないだろうか。

# 【大学院】「社会経営科学プログラム」科目

よかった点

(単位;人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
今まで知らなかった知識が身についた	51	35	86
仕事・社会活動に役立つ	8	8	16
視野が広がった、視点が変わった	9	2	11
具体例・事例があった	10		10
テーマについて考える、さらに勉強するきっかけになった	9	1	10
これまで持っていた知識の整理・深耕に 役立った	3	7	10
現在の課題や問題点を学べた	8		8
理解しやすい内容だった	7	1	8
今後の学習・研究に役にたつ	5	2	7
基礎的な知識を得られた、概要が分かった	2	5	7
最新の情報や研究が学べた	6		6
テーマについての興味が深まった	5	1	6
体系的(総合的)に学べた、よくまとまっ ていた	4		4
内容が充実していた、幅広い内容だった	2	2	4
これまで興味のあった分野を学べた	2	1	3
その他	4	1	5

放送授業			
<b>IX</b>			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
講師以外の人の話も聞けた	5	14	19
講師の話し方がよかった、分かりやす かった	5		5
理解しやすい授業だった	4	1	5
映像で理解しやすかった	4		4
講義の内容がよかった	1	2	3
複数の専門家の講義を聞けた		3	3
実際の物や場面・現場を見ることができた	2		2
講師が熱心だった、熱意が伝わった	2		2
インターネットで受講できた	1		1
対話形式の授業がよかった		1	1

印刷教材		
意見	テレビ ラジオ	合計
内容が充実していた	2	2
理解しやすい内容だった	1	1
引用・参考文献があった、よかった	1	1

		通信指導		
意	見		テレビ ラジオ	合計
丁寧な指導だった			1	1

# 主な改善点の提案《次項「気になった点」より》

- ●難解な部分の説明を工夫し、学習ポイントを明確にする
- ●内容がばらつかないように、統一的テーマによる体系的な内容にする
- ●分かりにくい箇所ついて詳しい説明・解説をする
- ●放送授業では印刷教材との関連を明確に説明する
- ●現在の課題や問題点、最新の情報についても取り入れる
- ●具体例、事例を増やす
- ●テレビ科目は映像を生かした内容にする
- ●印刷教材は、図表や写真を増やす

# 【大学院】「社会経営科学プログラム」科目

田	<i>1</i> +-	1 )

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容が難しい、もっと分かりやすい説明 をして欲しい	7	1	8
内容がばらついている、まとまりがない	2	4	6
内容に不足な点がある、もっと知りたい ことがあった	4	1	5
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	3	2	5
放送授業と印刷教材の内容が異なる	2	3	5
最新の情報や研究を知りたかった	3	1	4
具体例・事例を増やして欲しい	2	2	4
もっと実践的な内容にしてほしい	1	3	4
上級または関連する科目を開設して欲しい	1	3	4
参考文献を紹介して欲しい	2	1	3
もっと生活や実務に即したものにして欲しい	2		2
今後に向けた解決策などもいれてほしい	2		2
事前に必要な基礎知識・入門書等を教 えて欲しい	2		2
用語が分からない、解説をしてほしい	1	1	2
放送授業と印刷教材の関連が分かりに くい	1	1	2
他の科目との関連を考慮して欲しい	1	1	2
取上げられた本が絶版である、見つからない		2	2
その他	5	6	11

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
テレビ科目なのに映像を生かした内容に なっていない	3		3
講義のスピードが速すぎる	3		3
印刷教材を読んでいるだけである	1	1	2
複数の講師のため統一性・連携に欠ける	1	1	2
対話形式の授業にして欲しい	1	1	2
テレビ科目にして欲しい		2	2
DVDが欲しい	1		1
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	1		1
現場や講師以外の人の話も聞きたい		1	1

印刷教材			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
図表・写真を掲載して欲しい	3	3	6
資料・データが古い、改訂版を出して欲 しい	4		4
分かりにくい	2		2
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	1	1	2
構成がよくない	1		1
練習問題を入れて欲しい、増やして欲しい	1		1
補完教材を加えて欲しい	1		1
まとめや学習のポイントが欲しい	1		1
参考資料等を掲載して欲しい	1		1
誤字がある	1	_	1
放送授業の資料やデータが載せて欲しい	1		1

通信指導		
意 見	テレビ ラジオ	合計
問題の解答例・解説が欲しい	1	1
記述式にして欲しい	1	1

単位認定試験			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
物足りない、易しすぎて試験として不適 格		3	3
難しかった	1		1
記述式にして欲しい	1		1
解答と解説が欲しい	1		1
内容に偏りがある	1		1
教材等持ち込み可にして欲しい		1	1
問題数が少ない		1	1
選択式にしてほしい		1	1

#### 【大学院】「社会経営科学プログラム」科目

#### よかった点

- 率直に今までには気づかない知識の幅を広げる事が出来、大変満足しています。
- 時間的余裕がなかったため、単位認定試験に十全の準備が出来なかったのは残念であったが、実務 を俯瞰的、学問的に見ることが出来るようになり、自分の職務の全体的位置関係を把握するのに役立った。
- 経済関係の科目の受講が少なかったので、視野が広かった。
- 身近な例を取り上げ、それらを簡潔にまとめてあり、難しい概念の理解の手助けとなった。
- 市場にまかせておけば総て効率的でかつパレート最適に機能すると思っていた部分がありました。 しかし、市場にも失敗があり、又、政府にも失敗が有る。このような時、どう対処すべきか等、考 えることが出来ました。
- 修士論文を作成するにあたり、参考となる点がたくさん含まれていた。また、関連分野の知識を整理するのに役立った。
- 途上国の発展の歴史的背景、そこから浮かびあがる現在の問題点などが、視覚的に理解できたこと。
- 基礎論理と応用編がうまくリンクしており、全体的に分り易く説明しています。
- ゲスト講師をまねいて放送授業をして頂いたことにより、いろいろな角度・視点から学習すること ができ、良かったと思います。
- Technical Termに英語表記がされていたことは、英文で文献を読む上で役に立つものと思います。 更に各章ごとに「注」が付記されていたのは、内容理解に役立った。

- 少々専門的な話もあり、難易度の高いところもあった。
- それぞれの研究の立場からの講義であったが、1 つの科目として行う事は興味深かったが、全体としての統一した目的が意義をいま一歩見出せなかった。全てではないが、関連科目の寄せ集めの感も否定できない。主題に関する双方のアプローチの違いの意味と課題をより深く考察できる為の工夫が必要と感じた。
- 時間に限りがあるため、講義でふれてほしいテーマ(印刷教材にはあり)でも、素通りしてしまう 箇所があり、残念だった。
- 9章~15章の応用編について。応用編のため平易に説明していますが、少し深堀り、論理的説明を加えた方がよいと思いますが。
- 日米欧の取締役会改革については、放送教材と印刷教材の間で相違があり、後者について理解しに くいところがあった。
- 古い経済政策のビデオのままのところがあったが、新しい経済の動きに対しそのままでもよかった のか?と思った。
- 放送授業で、もう少し事例研究を取り入れて欲しかった。参考書籍、資料の入手などの情報が、もっと欲しかった。
- 実践的な部分にも、もっと触れた方が良いと考えます。一般的な日本企業にあっては、ガバナンスの態様は、各社マチマチ。一方、現今の厳しい経営環境下、どの会社も一様によりスピーディで効率的な経営を模索している。この状況を踏まえた講義を考えるべきと思う。例えば、コーポレートガバナンスの短期的及び中長期的な経営効果(マイナス面を含め)について・・・・等。
- 唯一お願いしたいのは、テレビ放送の特性を生かしてほしいということです。現在のものは、次々と講師が画面でお話する型が多い。たとえば、もう少し自治体の現場の場面を写すとか、図表をもう少し多く投影するとかをお願いしたい。
- テレビ科目であるが、印刷教材にも写真や図、絵が含まれていると、より印象に残る学習ができると思う。

# 【大学院】「文化情報学プログラム」科目

よかった点 (単位;人)

科目全般		
意見	テレビ ラジオ	合計
今まで知らなかった知識が身についた	115	115
視野が広がった、視点が変わった	25	25
テーマについての興味が深まった	24	24
テーマについて考える、さらに勉強するきっかけになった	23	23
今後の学習・研究に役にたつ	11	11
基礎的な知識を得られた、概要が分かった	7	7
内容が充実していた、幅広い内容だった	7	7
楽しく学べた	6	6
体系的(総合的)に学べた、よくまとまっていた	5	5
仕事・社会活動に役立つ	5	5
今後の人生・生活に役立つ	4	4
理解しやすい内容だった	4	4
具体例・事例があった	3	3
現在の課題や問題点を学べた	3	3
これまで興味のあった分野を学べた	3	3
その他	7	7

放送授業		
意見	テレビ ラジオ	合計
複数の専門家の講義を聞けた	7	7
講師の話し方がよかった、分かりやす かった	5	5
楽しく受講できた	5	5
理解しやすい授業だった	2	2
インターネットで受講できた	2	2
講義の内容がよかった	2	2
対話形式の授業がよかった	1	1
講師が熱心だった、熱意が伝わった	1	1

印刷教材		
意見	テレビ ラジオ	수計
図表・写真等があり理解しやすかった	2	2
引用・参考文献があった、よかった	2	2
理解しやすい内容だった	1	1
内容が充実していた	1	1

通信指導		
意見	テレビ ラジオ	合計
丁寧な指導だった	3	3

単位認定試験		
意見	テレビ ラジオ	合計
単位がとれた	1	1
試験内容が適切だった	1	1

# 主な改善点の提案《次項「気になった点」より》

- ●内容が広範囲すぎないようにする、テーマを絞る
- ●難解な部分の説明を工夫し、学習ポイントを明確にする
- ●内容がばらつかないように、統一的テーマによる体系的な内容にする
- ●分かりにくい箇所ついて詳しい説明・解説をする
- ●科目案内で授業内容を誤解のないよう、分りやすく説明する
- ●ラジオ科目をテレビ科目に変更する
- ●複数の講師による授業では、講義内容・方法の連携・統一をはかる
- ●印刷教材は、図表や写真を増やす

# 【大学院】「文化情報学プログラム」科目

気になった点

(単位;人)

科目全般				
意 見	テレビ ラジオ	合計		
内容に不足な点がある、もっと知りたい ことがあった	11	11		
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞って 欲しい	10	10		
内容が難しい、もっと分かりやすい説明をして欲しい	7	7		
内容がばらついている、まとまりがない	5	5		
不要に感じる部分がある	5	5		
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	4	4		
期待する内容、科目案内とは違っていた	4	4		
放送授業と印刷教材の内容が同じであ る	3	3		
内容を分割すべき	3	3		
内容が浅い、もっと詳しい内容にして欲しい	2	2		
内容がおもしろくない	2	2		
今後に向けた解決策などもいれてほしい	2	2		
放送授業と印刷教材の関連が分かりにくい	2	2		
内容に偏りがある	2	2		
事前に必要な基礎知識・入門書等を教 えて欲しい	2	2		
その他	23	23		

放送授業		
意 見	テレビ ラジオ	合計
テレビ科目にして欲しい	25	25
複数の講師のため統一性・連携に欠ける	6	6
印刷教材を読んでいるだけである	3	3
講師の話し方がよくない	2	2
インターネットで配信して欲しい	1	1
講師の話が聞きづらい	1	1
ポイントが分かりにくい	1	1
講師の話し方が早口すぎる	1	1

印刷教材		
意 見	テレビ ラジオ	合計
図表・写真を掲載して欲しい	10	10
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	3	3
分かりにくい	2	2
カラ一印刷にして欲しい	1	1
練習問題を入れて欲しい、増やして欲しい	1	1
補完教材を加えて欲しい	1	1
まとめや学習のポイントが欲しい	1	1
索引が欲しい	1	1
誤字がある	1	1
文字や図表が小さい	1	1
図表や写真が見にくい・不鮮明	1	1

通信指導		
意 見	テレビ ラジオ	合計
易しすぎる	3	3
コメントが不満である	2	2
問題の解答例・解説が欲しい	2	2
内容に偏りがある	2	2
記述の字数制限に幅を持たせて欲しい	2	2
もっとコメントしてほしい	1	1
理解度や学習度合を図る内容になっていない	1	1

単位認定試験		
意 見	テレビ ラジオ	合計
記述の字数制限に幅を持たせて欲しい	3	3
物足りない、易しすぎて試験として不適 格	2	2
理解度や学習度合を図る内容になっていない	2	2
内容に偏りがある	2	2
難しかった	1	1

### 【大学院】「文化情報学プログラム」科目

#### よかった点

- 様々な角度から問題を取り上げ、論述が進められていく教材に、新たな発見をすることができた。
- 今迄学習して来たものの復習の様だと思っていたが、終わりに近づくにつれ、全体的に今迄と違った観察点がある事に気づかされた。
- 各章ごとにユニークなテーマで、興味をもって受講ができた。
- 人と話していて、なぜ互いに理解できるかなどということを考えたことがあっただろうか。目を開かされた。
- 自分の研究したい内容に合っていて、勉強の方向性と基礎的知識を得ることができた。掲げられている参考文献も役に立つ。
- "都市"の視点から、歴史を概観できたことは、有意義だったと思う。(今まであまり着目したことのない視点だったので)。
- 非常に奥深いテーマを持つ科目の設定を歓迎します。それに対応できるだけの学習が一学期間ではできなかったので、2 学期間を費やして、通信指導に挑みます。それだけの価値をもった「大学院」らしい科目だと思います。印刷教材と放送授業の特性を生かしている部分があるのは大変よかった。
- 自国の歴史について、機会ある度に学んでみたいと考えており、受講は楽しいものでした。又、関連する事柄にも興味を持つことが出来、広がりのある学習になった。
- 各専門分野の先生が、それぞれ異なった内容の講義が学習でき、視野が広がった。(中東、フランス、英国)。
- 系統的に理路整然とした、とても素晴らしい教材だと思いました。新しい知識が得られ、日本の都市を今迄になかった視座から学ぶことができました。図表、イラストは、理解を深めるのにとても役立ちました。

- 農業、漁業、林業、工業等の各分野の都市(地方都市を含む)の形成発展経緯も取り上げてほしかった。例 産業都市の形成(京浜工業地帯の推移等)分野別の都市論もほしかった。近世における江戸、京都、大阪の各都市の役割、特長等関連づける項目もほしかった。
- テーマが大きく、多岐に渡っていたため、どうしても分散的になり、一つのテーマにしぼってゆっくりじっくり学習できなかった。単位認定試験では、どの問を選択しようか迷いが生じ、結局時間不足になり、思うように表現できず、せっかく頑張って取り組んできたことが生かされず、残念に思った。つまり、テーマが欲張り過ぎの感があります。
- 毎回、自分の専門分野とは違う内容とテーマであったので、学習する努力が大変だった。文化や言語についての基礎知識が必要と感じた。
- 三つの視点から構成されていたが、そのために少し散漫な印象を持った。もう少し言語学の専門的な事柄を的を絞って取り上げた方がよいのではないかと思った。
- 動送教材中のモールス信号の聴解練習は、教材の理解に役立っていたのだろうか。学習中の気分転換にもならず、必要ないと思った。
- 城下町の構造を学ぶにあたり、もっと詳しく述べていただきたい。
- 前半が政治的あるいは文化的要素から語られ、後半が文化的(特に芸術的)要素から語られ、等々 「木に竹をついだ」ような統一感の無い展開だった。上述のような内容が、科目案内からはまった く判らなかった。
- 画像などもテレビ教材だともっと色々見て、内容を深めることができたのではないでしょうか。
- 内容としては各講師の得意分野の組合せでできあがった科目であり、まだそれぞれの分野内容の関連については共通性が希薄のようにも感じた。この点では、まだ出来たばかりの科目分野であるとも思った。
- テキストや講義を通じて興味がわき、図書館や旅行会社のパンフレットなどで、写真やイラストを 観て学習をすすめた。ラジオとモノクロテキストだけではイメージできない部分もあった。

# 【大学院】「自然環境科学プログラム」科目

よかった点 (単位;人)

科目全般			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
今まで知らなかった知識が身についた	18	22	40
テーマについて考える、さらに勉強する きっかけになった	6	2	8
これまで持っていた知識の整理・深耕に 役立った	5	1	6
視野が広がった、視点が変わった	3	3	6
体系的(総合的)に学べた、よくまとまっ ていた	4		4
内容が充実していた、幅広い内容だった	1	2	3
今後の学習・研究に役にたつ	1	2	3
具体例・事例があった		3	3
テーマについての興味が深まった		3	3
仕事・社会活動に役立つ	2		2
楽しく学べた		2	2
理解しやすい内容だった		2	2
その他	4	2	6

放送授業			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
実際の物や場面・現場を見ることができた	4		4
複数の専門家の講義を聞けた	2		2
講師以外の人の話も聞けた	1	1	2
理解しやすい授業だった	1	1	2
講師の話し方がよかった、分かりやす かった	1		1
講師が熱心だった、熱意が伝わった	1		1
インターネットで受講できた		1	1

印刷教材			
意 見	テレビラ	ラジオ	合計
理解しやすい内容だった	1	1	2
内容が充実していた		2	2

通信指導		
意 見	テレビ ラジオ	合計
勉強になった、役に立った	1	1
添削、コメントをしてもらえた	1	1

### 主な改善点の提案《次項「気になった点」より》

- ●難解な部分の説明を工夫し、学習ポイントを明確にする
- ●放送授業では印刷教材との関連を明確に説明する
- ●分かりにくい箇所ついて詳しい説明・解説をする
- ●内容が広範囲すぎないようにする、テーマを絞る
- ●科目案内で授業内容を誤解のないよう、分りやすく説明する
- ●ラジオ科目をテレビ科目に変更する
- ●放送授業で印刷教材を朗読するだけの授業はしない
- ●印刷教材は、図表や写真を増やす
- ●理解しやすい放送授業・印刷教材となるよう工夫する

# 【大学院】「自然環境科学プログラム」科目

# 気になった点

(単位;人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容が難しい、もっと分かりやすい説明 をして欲しい	5	7	12
放送授業と印刷教材の内容が異なる	2	2	4
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	2		2
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞って 欲しい	1	1	2
放送授業と印刷教材の関連が分かりに くい	1	1	2
期待する内容、科目案内とは違っていた		2	2
事前に必要な基礎知識・入門書等を教 えて欲しい		2	2
その他	8	4	12

放送授業			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
テレビ科目にして欲しい		9	9
印刷教材を読んでいるだけである	1	2	3
講師の話し方がよくない	1	1	2
テレビ科目なのに映像を生かした内容に なっていない	1		1
講師の話が聞きづらい	1		1
原稿を棒読みしている、会話が不自然な 感じ		1	1
インターネットで配信して欲しい		1	1
DVDが欲しい		1	1
ポイントが分かりにくい		1	1
面白みがない		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
図表・写真を掲載して欲しい	2	3	5
分かりにくい	1	2	3
誤字がある		2	2
文字や図表が小さい	1		1
文章表現が分かりにくい、まわりくどい		1	1
まとめや学習のポイントが欲しい		1	1
もっと詳しい説明・解説をしてほしい		1	1

通信指導		
意 見	テレビ ラジオ	合計
難しかった	1	1
問題の解答例・解説が欲しい	1	1
問題文の文章表現が悪い	1	1

単位認定試験		
意 見	テレビ ラジオ	合計
授業や教材の内容と異なる	2	2
難しかった	1	1
物足りない、易しすぎて試験として不適 格	1	1
内容に偏りがある	1	1

#### 【大学院】「自然環境科学プログラム」科目

#### よかった点

- 化学の知識に疎かったが、本科目を通じて化学の知識が深まり、しかも現実社会の中でどのように それが活かされているかが理解できた。
- 環境問題を身近な生活面より考えることができ、今すぐできる事が多い事を感じた。
- 今までの知識を掘り下げる事ができた。
- 数学のさまざまな応用を具体的に知ることができて、自分の学問的視野が広がりました。特に医学 に関するモデルは、とても興味深かったです。
- 仕事で環境管理にも取り組んで来たが、より詳しくかつ系統的に勉強できた。
- 小生、工学部の出身であるが、情報系については初学者。新しい分野として学習するのに非常に良く出来た内容であった。
- 数学が様々な分野に対してどのように応用されているかを知った。自らの研究を進める上でも、応 用できる部分はあると感じた。
- 研究テーマに関連した内容も含まれ、興味深く受講しました。
- インフルエンザ、源氏物語の解析等、数理科学の応用例と手法について知る事ができた。
- 環境を分析し測定するところが、実際の現場の映像を通じて理解を深めることができた点がよかったと思いました。
- ●最初は全くわからなかったが、何回も教材を読むうちに理解できるようになった。教材はよくできていると思った。

- 専門的な内容について、理解しにくいところがあった。基礎をしっかり学ぶことと、応用まで幅広 く学ぶことがうまく両立していないようだった。
- 放送教材と印刷教材の一致(放送では印刷教材に全く無いことを説明されたことが幾度かあった)。
- ■環境分析の放送授業で計測・分析現場での映像やコメントが多く、参考になったが、計測・分析用機器の原理・機能について詳しい解説をしてほしかった。
- 扱う範囲が広すぎて、すべての分野に興味を持てない人も多いのではないかと感じた。
- 印刷教材と放送教材がずれていたところがあり、何をしていたかわからず、とまどう。別々のことをあつかわず、内容が一致し、印刷は補助的な使用としてほしい。
- 講義の説明文を読んだだけでは、この講義を受けるのに必要とされそうな数学の知識レベルが事前に分からなかった。講義で触れている分野が広い割りに、それぞれの分野でそれなりの深いレベルの数学のかなり専門的知識が前提となる内容であったため、受講を始めてから少し後悔した。数学の専門家向けの授業のようであると思った。私にとっては、事前知識不足でやや高度過ぎる内容と思えた。
- 式の導き方が話の流れだけでは理解できない部分がありました。できればテレビ授業に変えてほしいです。
- テキスト棒読みの放送が一部あった。
- もっと図とか式を入れて、わかりやすくしてほしい。もっと例題を入れて、例題をときながら理解 できるようにしてほしい。
- テレビの放送授業は、とてもわかり易かったが、印刷教材の内容は、それに比べて少々難しいよう に感じた。

### 平成21年度学生による授業評価集計結果の概要について

#### 1. 調査の概要

(1)調査目的 自己点検・評価の一環として、本学学生の授業に関する理解の状況等を把握することにより、本学

における教育内容及び方法の改善に資すること

(2)調査方法 郵送法による質問紙調査

(3)調査対象 ①対象科目 【学部】

K J FFA									
	基礎科目	生活と福祉	発達と教育	社会と経済	産業と技術	人間の探究	自然の理解	夏季集中	計
H17(試行)	-( -)	10(39)	10(39)	9(42)	24(35)	27(82)	29(49)	-( -)	109(286)
H18	-( -)	4(39)	5(39)	10(42)	0(36)	11(81)	4(49)	-( -)	34(286)
H19	0(14)	8(39)	11(39)	5(41)	8(35)	19(74)	, ,	-( -)	57(284)
H20	14(22)	9(38)	9(39)	9(40)	5(31)	12(49)	7(37)	-( -)	65(256)
H21(2008)	9(23)	9(31)	11(33)	11(31)	9(23)	14(51)	8(25)	0(6)	71(223)
	基礎科目	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	自然と環境		夏季集中	計
H21(2009)	4(4)	4(4)	5(5)	11(11)	9(9)	9(9)		4(4)	46(46)

※()内の数値は専攻(コース)ごとの全開設科目数

※平成21年度は、2008年新規開設科目と2009年新規開設科目の両方を実施

### 【大学院】

		文化	政策経営	教育開発	臨床心理	計	
	文化情報	環境システム	以來程告	教月册光	はいる	ΑI	
H18	7(16)	6(13)	4(17)	2(15)	2(6)	21(67)	
H19	6(17)	5(13)	7(17)	6(14)	2(6)	26(67)	
H20	4(17)	1(13)	3(18)	4(14)	3(13)	15(75)	
H21(2008)	2(	21)	3(13)	1(11)	1(7)	7(52)	
	生活健康 科学	人間発達 科学	臨床心理 学	社会経営 科学	文化情報 学	自然環境 科学	計
H21(2009)	5(5)	3(3)	1(1)	4(4)	3(3)	3(3)	19(19)

※大学院の調査は平成18年度より実施

※()内の数値はプログラム・群ごとの全開設科目数

※平成21年度は、2008年新規開設科目と2009年新規開設科目の両方を実施

②対象者 平成21年度第1学期履修登録者

※対象科目の全登録者から学部科目250人、大学院科目200人を無作為抽出

※登録者数が上記の人数未満の科目は全数

※1人当たり最大3科目まで

(4)調査時期 質問紙配付: 10月23日(平成21年度第1学期単位認定試験終了後)

質問紙締切: 11月17日 調査結果の集計: 12月

#### 2. 集計結果

#### (1)回収状況

		標本数(人)			標本数(人) 有効回答数(人)			人)		回収率	
	全体	学部	大学院	全体	学部	大学院	全体	学部	大学院		
H17(試行)	21,619	21,619	-	8,937	8,937	-	41.5%	41.5%	-		
H18	11,429	8,008	3,421	4,667	3,078	1,589	40.8%	38.4%	46.4%		
H19	18,047	13,837	4,210	7,053	5,132	1,921	39.1%	37.1%	45.6%		
H20	17,960	15,853	2,107	6,809	5,860	949	37.9%	37.0%	45.0%		
H21(2008)	18,609	17,671	938	5,897	5,543	354	31.7%	31.4%	37.7%		
H21(2009)	13,708	10,882	2,826	5,020	3,836	1,184	36.6%	35.3%	41.9%		

# (2)回答者の属性

【学部】

		全科履修生 異科履修生 科目							利日屋終生
	生活と福祉	発達と教育	社会と経済	産業と技術	人間の探究	自然の理解	計	选件限修工	行口腹形工
H17(試行)	12.6%	12.0%	9.2%	10.7%	19.0%	11.7%	75.2%	16.2%	6.9%
H18	13.6%	15.3%	16.3%	3.0%	18.4%	4.7%	71.4%	18.9%	6.7%
H19	15.6%	18.6%	9.3%	7.4%	15.8%	6.1%	72.8%	16.8%	7.0%
H20	17.6%	17.3%	11.0%	6.6%	15.2%	7.1%	74.8%	16.9%	5.8%
	新コース所属全科履修生								
	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	自然と環境				
H21(2008)	7.6%	9.8%	12.5%	11.3%	4.5%				
1121(2000)				全科履修生			全科履修	選科履修生	対日陽終生
	生活と福祉	発達と教育	社会と経済	産業と技術	人間の探究	自然の理解	生(計)	应行股份工	行口很多工
	4.8%	6.4%	5.5%	3.0%	6.9%	2.3%	74.5%	16.3%	7.4%
			ス所属全科						
	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	自然と環境				
H21(2009)	8.4%	6.9%	9.2%	11.7%	5.5%				
HZ1(2009)			日専攻所属	全科履修生	Ė		全科履修	選科履修生	封日屋旅生
	生活と福祉	発達と教育	社会と経済	産業と技術	人間の探究	自然の理解	生(計)	选件限修工	行口腹形工
	5.0%	4.2%	3.1%	2.9%	6.9%	3.1%	66.7%	19.5%	12.1%

	性	別	年齢別						
	男	女	19歳以下	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上
H17(試行)	51.9%	44.4%	0.7%	14.1%	19.4%	17.0%	20.2%	19.3%	7.7%
H18	42.9%	51.5%	0.6%	11.2%	19.5%	20.0%	20.0%	18.6%	8.2%
H19	42.1%	55.7%	0.4%	11.4%	20.5%	20.7%	20.8%	16.4%	7.8%
H20	44.9%	53.3%	0.5%	9.9%	17.4%	19.8%	20.5%	21.6%	9.3%
H21(2008)	47.4%	49.3%	0.4%	10.2%	16.7%	18.9%	18.8%	23.3%	11.0%
H21(2009)	47.6%	49.0%	0.4%	8.2%	16.0%	20.6%	18.5%	24.3%	11.5%

<sup>※</sup>無記入のものがあるため内訳の合計は100%にはならない

# (2)回答者の属性

【大学院】

			修士会	<b>è科生</b>			修士選科生	修士科目生
	政策経営	政策経営	政策経営	教育開発	臨床心理	計		1961年日王
H18	11.0%	10.0%	6.2%	2.0%	1.8%	31.0%	52.4%	13.1%
H19	8.2%	9.3%	9.1%	3.5%	1.7%	31.8%	52.3%	13.4%
H20	7.9%	4.3%	5.7%	3.8%	2.6%	24.3%	59.9%	14.0%
		新ブ	ログラム所	「属修士全 <sup>注</sup>	科生			
	生活健康 科学	人間発達 科学	臨床心理 学	社会経営 科学	文化情報 学	自然環境 科学		
1104(0000)	1.7%	1.7%	1.4%	4.0%	2.5%	4.8%		
H21(2008)		旧プログラ	ラム所属修	士全科生	校士人科			
	総合 文化情報	文化環境システム	政策経営	教育開発	臨床心理	修士全科 生(計)	修士選科生	修士科目生
	2.8%	1.1%	2.5%	1.1%	0.3%	24.0%	49.7%	24.3%
		新ブ	ログラム所	属修士全	科生			
	生活健康 科学	人間発達 科学	臨床心理 学	社会経営 科学	文化情報 学	自然環境 科学		
(0000)	6.0%	2.2%	1.0%	4.2%	4.3%	2.2%		
H21(2008)		旧プログラ	ラム所属修	士全科生		佐上人科		
<u>-</u>	総合 文化情報	文化 環境システム	政策経営	教育開発	臨床心理	修士全科 生(計)	修士選科生	修士科目生
	2.3%	3.5%	3.4%	1.1%	0.4%	30.7%	59.0%	8.9%

	性	別			年齢	<b>冷別</b>		
	男	女	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上
H18	56.7%	36.1%	4.8%	18.1%	27.1%	22.8%	15.9%	9.4%
H19	57.9%	38.9%	3.6%	19.1%	27.6%	25.0%	15.9%	6.5%
H20	58.3%	39.6%	3.1%	17.9%	24.6%	25.5%	17.5%	10.2%
H21(2008)	63.8%	33.9%	12.4%	15.0%	25.7%	24.0%	14.1%	7.3%
H21(2009)	60.8%	35.4%	3.0%	13.8%	25.2%	26.9%	22.1%	8.4%

<sup>※</sup>無記入のものがあるため内訳の合計は100%にはならない

### 付録)平成21年度学生による授業評価集計結果の概要等について

### (3)評価結果(4段階評価における評点平均)

# 【学部】

### ①項目別の状況

	<u> </u>		組姿	勢	授業	評価	全体	難易	度・ク	分量	放	送授	業	印	刷教	材	通信指導	<b>夢・単位記</b>	思定試験	全	体評·	価
		全体	ΤV	R	全体	ΤV	R	全体	T۷	R	全体	T۷	R	全体	۲V	R	全体	ΤV	R	全体	TV	R
H2	1(2008)	3.15	3.19	3.13	3.19	3.20	3.17	3.18	3.17	3.19	3.18	3.24	3.11	3.17	3.19	3.15	3.22	3.20	3.23	3.19	3.19	3.19
H2	1(2009)	3.22	3.21	3.22	3.22	3.20	3.24	3.20	3.18	3.22	3.20	3.22	3.18	3.18	3.17	3.20	3.25	3.19	3.31	3.25	3.22	3.28

#### ②【B-20】満足度の専攻別等の状況

			13 13 42 DINO								
		全体	メディ	ア別				専攻別			
		全対象科目	TV	R	基礎科目	生活と福祉	発達と教育	社会と経済	産業と技術	人間の探究	自然の理解
Hź	21(2008)	3.17(3.82~2.50)	3.17	3.17	3.03	3.14	3.24	3.24	3.20	3.25	2.96
		全体	メディ	ア別				コース別			
		全対象科目	TV	R	基礎科目	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	自然と環境	夏季集中
H	21(2009)	3.23(3.72~2.57)	3.18	3.27	3.34	3.22	3.31	3.16	3.27	3.13	3.19

# ※()内の値は「最高値~最低値」

	性	別				年齢別			
	男	女	19歳以下	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上
H21(2008)	3.17	3.16	2.71	3.05	3.11	3.17	3.17	3.23	3.26
H21(2009)	3.18	3.27	2.94	3.13	3.25	3.18	3.23	3.24	3.33

<sup>※</sup>平成21年度より調査票の質問項目を一部変更したため、平成20年度以前は掲載していない

#### 【大学院】

#### ①項目別の状況

		取	組姿	勢	授業	評価	全体	難易	度・	分量	放	送授	業	FT.	刷教	材	通信指	芽・単位語	8定試験	全	:体評	価
		全体	T۷	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	T۷	R	全体	ΤV	R	全体	T۷	R	全体	TV	R
H2	21(2008)	3.26	3.37	3.20	3.26	3.36	3.20	3.30	3.34	3.28	3.18	3.43	3.01	3.21	3.34	3.12	3.33	3.32	3.33	3.31	3.36	3.28
H2	21(2009)	3.30	3.31	3.29	3.32	3.34	3.31	3.33	3.33	3.32	3.29	3.39	3.23	3.28	3.29	3.27	3.31	3.30	3.32	3.37	3.35	3.39

#### ②【B-20】満足度の専攻別等の状況

	全体	<b>√</b> ≓.	 ′ア別			1グラム(群	)別		
	_,,	<i>Y</i>	נים ל	総合	文化	办生经学	松田谷体	陪庄心理	
	全対象科目	TV	R	文化情報	環境システム	以來社占	<b>教月册</b> 无	臨床心理	
H21(2008)	$3.30(3.49 \sim 3.06)$	3.35	3.27	-	3.25	3.41	3.36	3.06	
	全体	メディ	ア別			プログ	ラム別		
	全対象科目	TV	R	生活健康 科学	人間発達 科学	臨床心理	社会経営科学	文化情報	自然環境 科学
	/					<b>+</b>		<b>+</b>	
H21(2009)	$3.37(3.56 \sim 3.02)$	3.34	3.38	3.37	3.28	3.02	3.47	3.44	3.25

<sup>※()</sup>内の値は「最高値~最低値」

	性	別			年齢	<b>冷別</b>		
	男	女	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上
H21(2008)	3.32	3.30	3.25	3.23	3.26	3.45	3.35	3.20
H21(2009)	3.38	3.34	3.44	3.41	3.40	3.32	3.36	3.34

<sup>※</sup>平成21年度より調査票の質問項目を一部変更したため、平成20年度以前は掲載していない

# (参考)集計方法について

各質問項目について、「あてはまる」、「ややあてはまる」、「あまりあてはまらない」、「あてはまらない」の回答をそれぞれ4、3、2、1の4段階の数値をあて、平均値を出して集計している。

コース・ブログラム別 平成21年度学生による授業評価の調査結果一覧【2009年度新規開設科目】(単純集計)

	▣	回収状況	<b></b>		取組。	取組み姿勢			華	難易度·分量	計			ħ	放送授業	业业			щ	印刷教材			通信指	信指導·単位	位認定試験	试験			全体評価	本価		散4	授業にか 4 を 5 年 4 4	全体(A1-
	調査対 象者数 [	回答者数	如回収率	4-1	A-2	A-3	項目平均	B-1	B-2	B-3	B-4	項目平均	B-5	B-6	B-7	B-8	項目平均	B-9	B-10	B-11	B-12	項目	B-13	B-14 B	B-15 J	項目平均	B-16 E	B-17 E	B-18 E	B-19 E	B-20	項目 (8		B20)の 平均
全科目平均	10,882	3,836	35.3%	3.33	2.94	3.38	3.22	3.18	3.19	3.19	3.24	3.20	3.19	3.32	3.17	3.12	3.20	3.25	3.19	3.06	3.23	3.18	3.29	3.32	3.14	3.25	3.20	3.29	3.43	3.11	3.23	3.25	3.22	3.22
科目最高值				3.65	3.32	3.68	3.55	3.68	3.59	3.56	3.56	3.60	3.77	3.73	3.69	3.62	3.70	3.75	3.74	3.50	3.63	3.54	3.69	3.72	3.55	3.65	3.59	3.73	3.73	3.66	3.72	3.69	3.64	3.63
科目最低值			-	3.01	1.97	2.93	2.79	2.45	2.66	2.44	2.82	2.60	2.62	2.65	2.66	2.56	2.66	2.05	2.65	2.37	2.65	2.53	2.85	2.86	2.76	2.88	2.81	2.79	3.03	2.41	2.57	2.74	2.78	2.82
テレビ科目(TV)平均	5,481	1,927	35.2%	3.31	3.01	3.31	3.21	3.16	3.19	3.14	3.21	3.18	3.18	3.33	3.17	3.19	3.22	3.21	3.13	3.14	3.19	3.17	3.23	3.25	3.10	3.19	3.15	3.27	3.44	3.06	3.18	3.22	3.20	3.20
ラジオ科目(R)平均	5,401	1,909	35.3%	3.34	2.87	3.44	3.22	3.19	3.19	3.23	3.27	3.22	3.20	3.31	3.16	3.05	3.18	3.29	3.24	2.98	3.27	3.20	3.34	3.39	3.19	3.31	3.24	3.31	3.43	3.17	3.27	3.28	3.24	3.23
基礎科目」項目平均	1,000	283	38.3%	3.24	3.03	3.30	3.19	3.29	3.30	3.21	3.24	3.26	3.35	3.47	3.35	3.29	3.37	3.37	3.25	3.21	3.34	3.29	3.43	3.39	3.26	3.36	3.20	3.37	3.44	3.19	3.34	3.31	3.31	3.30
「生活と福祉」科目平均	1,000	338	33.8%	3.24	2.66	3.43	3.11	3.10	3.17	3.24	3.32	3.21	3.10	3.20	3.09	3.11	3.13	3.16	3.21	3.17	3.28	3.21	3.33	3.37	3.16	3.29	3.23	3.26	3.47	3.14	3.22	3.26	3.22	3.20
-心理と教育」科目平均	1,250	371	29.7%	3.34	2.91	3.46	3.24	3.26	3.32	3.25	3.37	3.30	3.28	3.40	3.30	3.17	3.29	3.30	3.29	3.08	3.29	3.24	3.39	3.42	3.18	3.33	3.27	3.33	3.42	3.21	3.31	3.31	3.29	3.28
社会と産業」項目平均	2,489	782	31.4%	3.30	2.93	3.31	3.18	3.15	3.14	3.15	3.22	3.17	3.11	3.25	3.06	3.04	3.12	3.11	3.14	3.03	3.16	3.11	3.21	3.22	3.11	3.18	3.16	3.22	3.39	3.09	3.16	3.20	3.16	3.16
「人間と文化」項目平均	2,250	974	43.3%	3.39	3.01	3.43	3.28	3.25	3.25	3.25	3.26	3.25	3.28	3.39	3.21	3.14	3.26	3.35	3.23	2.96	3.25	3.20	3.37	3.39	3.12	3.29	3.24	3.35	3.49	3.18	3.27	3.31	3.26	3.26
'自然と環境」科目平均	1,893	613	32.4%	3.32	3.06	3.25	3.21	3.08	3.15	3.04	3.15	3.11	3.17	3.39	3.21	3.22	3.25	3.29	3.07	3.11	3.14	3.15	3.16	3.23	3.10	3.16	3.11	3.28	3.37	2.93	3.13	3.16	3.17	3.17
夏季集中」科目平均	1,000	375	37.5%	3.38	2.74	3.53	3.22	3.06	2.97	3.20	3.16	3.10	3.00	3.03	2.95	2.84	2.96	3.13	3.19	3.06	3.24	3.16	3.17	3.29	3.18	3.21	3.20	3.21	3.46	3.11	3.19	3.23	3.13	3.14

计能

		回収状況		_	取組み姿勢	-			難易度·分量	· 分量			_	放送授業	<b>**</b>	ļ		ш	印刷教材	_	I	通信指導·	導·単化	単位認定試験	盤!	l	₩	全体評価	L	1	授業にかかる評価	li.k
調査対 回答者数 象者数	~	数回	回収率	A-1	A-2 A	A-3 項	項目 平均 B-	B-1 B-2	-2 B-3	3 B-4	- 項目 平均	B-5	B-6	B-7	B-8	項田	B-9	B-10	B-11	B-12	祖 四 口 口	B-13 E	B-14 B	B-15 項	項目 平均 B-	B-16 B-1	7 B-1	18 B-1	19 B-20	0 項目	(B1-B20) の平均	B20/07 中村
2,826		1,184	41.9%	3.42	3.03 3	3.45 3.	3.30	3.29 3.34	34 3.31	3.37	7 3.33	3.32	3.43	3.27	3.12	3.29	3.34	3.29	3.15	3.34	3.28	3.34	3.35	3.24 3.	31	3.31 3.4	41 3.53	3 3.25	5 3.37	3.37	3.32	3.32
	1		ı	3.58	3.37 3	3.65 3.	3.49 3.	3.56 3.53	53 3.61	3.63	3 3.56	3.71	3.78	3.57	3.52	3.60	3.53	3.59	3.42	3.65	3.54	3.56	3.55	3.51 3.	24	3.49 3.70	3.78	8 3.55	5 3.56	3.57	3.54	3.53
			ı	3.25	2.69 3	3.15 3.	3.12 2.8	2.87 3.11	11 2.77	3.00	0 2.94	2.90	3.00	2.80	2.55	2.84	2.97	2.80	2.77	3.03	2.89	3.14	3.14	2.97 3	3.11 3	3.05 3.16	3.38	8 2.86	6 3.02	3.13	3.02	3.04
,005	-50	414	41.2%	3.40	3.12 3	3.41 3.	3.31 3.3	3.31 3.38	38 3.30	3.34	4 3.33	3.40	3.48	3.35	3.34	3.39	3.35	3.29	3.21	3.32	3.29	3.34	3.34	3.22 3	3.30 3	3.29 3.4	40 3.52	2 3.22	2 3.34	3.35	3.34	3.33
,821	Ξ.	, 0//	42.3%	3.43	2.97 3	3.48 3.	3.29 3.	3.27 3.31	31 3.32	3.39	9 3.32	3.28	3.40	3.23	3.00	3.23	3.33	3.29	3.11	3.35	3.27	3.34	3.36	3.25 3.	32	3.32 3.42	3.54	4 3.27	7 3.38	3.39	3.31	3.31
7	177	335 4	43.5%	3.39	2.88 3	3.40 3.	3.22 3.3	3.23 3.26	26 3.27	3.30	0 3.27	3.24	3.34	3.21	3.08	3.22	3.29	3.22	3.17	3.31	3.25	3.37	3.36	3.23 3.	32	3.33 3.38	38 3.49	9 3.26	6 3.37	7 3.37	3.29	3.28
	534	188	35.2%	3.39	2.94 3	3.46 3.	3.26 3.	3.19 3.32	32 3.23	3 3.32	2 3.27	3.24	3.29	3.18	2.98	3.17	3.29	3.31	3.13	3.23	3.24	3.22	3.30	3.14 3.	22	3.30 3.31	8	.46 3.20	0 3.28	3 3.31	3.25	3.25
_	142	4	28.9%	3.25	2.95 3	3.39 3.	3.20	3.24 3.30	30 3.24	3.29	9 3.27	3.32	3.41	3.32	3.47	3.38	3.41	3.27	3.32	3.20	3.30	3.22	3.24	3.14 3.	20	3.18 3.31	3.49	9 2.93	3 3.02	3.19	3.27	3.26
	547	251	45.9%	3.49	3.23 3	3.49 3.	3.40 3.	3.41 3.44	44 3.45	15 3.48	3.45	3.48	3.53	3.37	3.30	3.42	3.37	3.39	3.10	3.38	3.31	3.31	3.35	3.22 3.	59	3.35 3.48	3.53	3 3.40	0 3.47	3.45	3.39	3.39
	540	7 258	47.8%	3.50	3.11 3	3.55 3.	3.39 3.	3.43 3.41	41 3.46	3.52	2 3.46	3.44	3.61	3.39	3.08	3.38	3.48	3.43	3.22	3.51	3.41	3.42	3.39	3.41 3.	141	3.34 3.5	.53 3.6	.66 3.31	1 3.44	3.46	3.42	3.42
	292	Ξ	38.0%	3.32	2.96 3	3.29 3.	3.19 3.0	3.01 3.20	20 2.96	3.1	4 3.08	3.08	3.25	3.08	3.03	3.11	3.11	2.94	2.97	3.16	3.05	3.40	3.39	3.12 3.	30	3.14 3.31	31 3.49	9 2.97	7 3.25	3.23	3.15	3.16

(注)平均評点は、調査票の選択肢 「あてはまる: 4点」「ややあてはまる;3点」「あまりあてはまらない:2点」「あてはまらない:1点」として算出した。

科目No.

まり

あてはまら

ない

てはまら

な

# 2009年度学生による授業評価調査票 (学部)

※質問項目については、学部、大学院共通

あてはまる

やあては

まる

次の科	$\Box$	17 01	, -	ナッケケ	<u>ڪ</u>	/	ナッナ	
-√X (/ ) 7	Ħ	ルニーフレ	1 (	お谷	z	<	17 2	· / \_

科目名	110,1111,1111,1111
科目コード	

- I. この授業科目を学習して、あなたはどのような印象や感想をお持ちになりましたか。次のA及びBの各項目について、それぞれ1つだけ該当する番号に○をつけてください。
  - (この面が済みましたら、裏面にもお答えください。)
  - (注)通信指導を提出していない方、単位認定試験を受験していない方について も、回答できる範囲でお答えください。

#### A. 授業評価をしていただく前に、あなたの授業への取組みについてお尋ねします。

71. 12.	和一個としても行っている。			י	
A-1	全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ。	4	3	2	1
A-2	放送授業を十分に視聴した。	4	3	2	1
A-3	印刷教材を熱心に学習した。	4	3	2	1

- A-4 単位認定のための学習方法について、次の1~3の該当する番号に○をつけてください。
  - 1. ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ。
  - 2. ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ。
  - 3. 放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ。

### B. 以下のアンケートにお答えください。

<授業の難易度・分量>					
B-1 放送授業の難易度は適切だった。	4	3	2	1	
B-2 放送授業の内容は適切な分量であった。	4	3	2	1	
B-3 印刷教材の難易度は適切だった。	4	3	2	1	
B-4 印刷教材の内容は適切な分量であった。	4	3	2	1	
<放送授業>					
B-5 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった。	4	3	2	1	
B-6 講師の熱意が十分に伝わった。	4	3	2	1	
B-7 放送授業は教材としてよくできていると感じた。	4	3	2	1	
B-8 (テレビ科目についてのみお答えください)					
テレビの特性が十分に生かされていると感じた。	4	3	2	1	
(ラジオ科目についてのみお答えください)	1 4	3	4	1	
映像がなくても十分理解できる内容だと感じた。					
<印刷教材>					
B-9 印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった。	4	3	2	1	
B-10 印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった。	4	3	2	1	
B-11 図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った。	4	3	2	1	
B-12 印刷教材は教材としてよくできていると感じた。	4	3	2	1	
<通信指導・単位認定試験>					
B-13 通信指導のコメントは、納得のいくものだった。	4	3	2	1	
B-14 通信指導は学習内容の理解に役立った。	4	3	2	1	
B-15 単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった。	4	3	2	1	
<全体評価>					
B-16 授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った。	4	3	2	1	
B-17 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった。	4	3	2	1	
B-18 新しい知識が身につき視野が広がった。	4	3	2	1	
B-19 この科目の内容を全体としてよく理解できた。	4	3	2	1	
B-20 この科目の内容には全体として満足している。	4	3	2	1	

裏面に続きます。

# 付録)平成21年度学生による授業評価集計結果の概要等について

Ⅱ. 次の点について、ご自由にお書きください。

(1) <u>この科目</u> を受講してよかったと思う点をお書きください。
(2) <u>この科目</u> を受講して改善すべきだと感じた点をお書きください。
(3) <u>この科目に限らず</u> 、本学の教育内容や教育方法等についてご意見やご感想があれば、 どんなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。

- Ⅲ. <u>この科目の</u>通信指導と単位認定試験についてお答えください。(該当する番号に〇を付けてください。)
  - 1. 通信指導を提出し、単位認定試験を受験した。
  - 2. 通信指導を提出したが、単位認定試験は受験しなかった。
  - 3. 通信指導を提出しなかった。
- Ⅳ. あなたご自身についてお答えください。(該当する番号にそれぞれ〇を付けてください。)

(1) 学生種別	〔全科履修生 新コース所属の方〕
	1. 生活と福祉 2. 心理と教育 3. 社会と産業 4. 人間と文化 5. 自然と環境
	〔全科履修生 旧専攻所属の方〕
	6. 生活と福祉 7. 発達と教育 8. 社会と経済 9. 産業と技術 10. 人間の探究
	11. 自然の理解
	[選科履修生·科目履修生] 12. 選科履修生 13. 科目履修生
(2) 性別	1. 男性 2. 女性
(3) 年齢	1. 19歳以下 2. 20~29歳 3. 30~39歳 4. 40~49歳
	5. 50~59歳 6. 60~69歳 7. 70歳以上
(4) 職業	1. 公務員等 2. 教員 3. 会社員 4. 個人営業・自営業
	5. 農業等 6. 看護師等 7. 家事専業 8. パート・アルバイト
	9. 他大学等の学生 10. 無職 11. その他 ( )

どうもありがとうございました。

